

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-6))」

2. 日時：令和5年1月20日(金) 10時00分～10時50分  
15時30分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他21名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力土木建築センター

土木建築設備グループ 部長

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

四国電力株式会社 原子力部 サイクル技術グループ 副リーダー

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

東電設計株式会社 建築本部 建築解析評価部

特殊解析グループ グループマネージャー 他2名

#### 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

#### 6. その他

提出資料

「外部衝撃関係の要求で新規に設置または改造した設備」

「再処理施設 耐震計算書の修正対応について」

#### 参考

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年

12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 令和5年1月17日

「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

| 時間      | 自動文字起こし結果   |
|---------|---|
| 0:00:02 | ここはしました。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。                      |
| 0:00:07 | 本日のヒアリングは令和4年、  |
| 0:00:11 | 令和4年12月26日、   |
| 0:00:13 | 26日に申請があった設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。           |
| 0:00:20 | 山崎規制庁側の出席者を紹介します。   |
| 0:00:23 | あと本庁会議室からタジリ、シミズ、その他WEBからコサクオオオカカミデ。                      |
| 0:00:30 | 以上になります。それではキチツ等、原燃側の出席者の紹介と後それぞれの役割についてと説明をお願いします。       |
| 0:00:39 | はい。   |
| 0:00:41 | 日本原燃東京ですけれども、   |
| 0:00:43 | サトウイシハラセガワ、この3名は事務局として、他条文への展開事項の確認のために参加しております。          |
| 0:00:52 | 続いてシノザキチダアカマツでございます。                                      |
| 0:00:57 | こちらの溢水と火災の上で、担当となっております今日説明のメインを貼る人間達となります、六ヶ所側紹介をお願いします。 |
| 0:01:09 | はい。六ヶ所事務局中浜です。六ヶ所が3ヶ所でございます。                              |
| 0:01:14 | 火災溢水取りまとめで今、  |
| 0:01:17 | 一斉担当でヤマモトホリウチ   |
| 0:01:21 | 河川担当でもって、   |
| 0:01:24 | して事務局からタカハシフジノナカハマとなります。                                  |
| 0:01:34 | 当資料、本日の資料の紹介をお願いします。                                      |
| 0:01:40 | はい。すいません。六ヶ所事務局中浜です。                                      |
| 0:01:44 | 本日ご確認いただきます資料でございますけれども、                                  |
| 0:01:48 | 内部抗争並びに溢水及び化学薬品の漏えいの要求に係る設備についてというもののご説明を差し上げます。          |
| 0:02:03 | はい。   |
| 0:02:05 | それでは、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:02:07 | 説明に入らせていただきます。はい。お願いします。規制庁の谷です。江藤。本日今説明あったように基本的にはタジリについてという資料がなされていて、きちんと示しをしていただく旨は構わないんですけど、                       |
| 0:02:22 | 基本的には審査会合等のヒアリングでもお伝えしてる通り、全体像があって、どう進めていくのかっていう話をやっていく中で、火災とか溢水に関しては最初のうちにやって他の所との絡みでもやりたいというような話があってということだったと思ってるので、 |
| 0:02:37 | 全体像についても簡単に触れていただいて、ここの部署でこういった説明をしていきますよっていう話で、そこと関連づける形でここを少し説明していただけると、このヒアリングの意味もわかりやすいのかなという気がするので、               |
| 0:02:49 | その点考慮して説明いただければと思いますよろしくをお願いします。   |
| 0:02:57 | はい。  |
| 0:02:57 | では、説明入らせていただきます。日本原燃の篠崎です。   |
| 0:03:03 | 令和5年1月17時、17日に提示いただきました、内部火災並びに溢水及び化学薬品の漏えいの要求を図る設備について、   |
| 0:03:13 | 説明差し上げます。詳細は割愛させていただきます、今ありましたように目的等、ポイントというところに絞って、衛藤、ご説明させていただきます。   |
| 0:03:24 | まずこの資料の目的でございますけど、今後、火災内部火災ですね、とあと、溢水、化学薬品の、   |
| 0:03:33 | 審査を進めていただくに当たりまして、まず今やってます登場人物の整理ところがございます。  |
| 0:03:43 | そこです、防護対象設備を選定して区画を設定するといったような観点で、溢水、化学薬品、内部火災については、   |
| 0:03:55 | 共通的なところがございますので、   |
| 0:03:58 | まずはそれぞれの条文ですねその違い、或いは共通するといったところを今回明確にさせていただいて、  |
| 0:04:06 | これから条文説明が始まった時にですね、後戻りがないように、どこが共通する部分かというところ。   |
| 0:04:13 | 明確にするということを目的で作らせていただいた資料でございます。   |
| 0:04:18 | 具体的に、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:04:21 | おすページ3ページに、それぞれ防護対象設備の選定の考え方、内部火災と溢水ということに並べさせていただきました。           |
| 0:04:29 | 化学薬品につきましても、溢水と同じような考え方なので、ここではちょっと比較的高火災させていただいております。            |
| 0:04:37 | 右下4ページ5ページに、防護区画の設定の考え方といったところを                                   |
| 0:04:46 | 紹介させていただいております。   |
| 0:04:49 | 5ページの一番下のところにですね①②③とありますけれども、                                     |
| 0:04:53 | 火災区域といったのは、多区画から、   |
| 0:04:59 | 火災が伝播1伝播しないように、   |
| 0:05:01 | 境界を形成する区画といったことに対しまして、  |
| 0:05:05 | 溢水で定める防護区画というのは、溢水影響評価のためにですね、部屋単位で防護区画を設定するものでございまして、            |
| 0:05:15 | 必ずしも区画を形成する扉、こういったものが、  |
| 0:05:20 | 流入してはいけないという境界にはなってございません。  |
| 0:05:23 | 逆にそういったところは、ちゃんと溢水影響評価では、溢水経路として考えますよということになってございます。              |
| 0:05:31 | そういう意味で、必ずしも中に入ってはいけないという   |
| 0:05:35 | 設定になってございませんので、火災区域と溢水防護区画がすべて一致するというわけではございません。                  |
| 0:05:42 | 一方で、両方の要求が明確するところについては、   |
| 0:05:47 | 火災区域と溢水防護区画が一致する。   |
| 0:05:51 | ところも、   |
| 0:05:53 | この①②③の、   |
| 0:05:56 | 判例を踏まえまして、  |
| 0:05:58 | 6ページ以降ですね、ある建屋高レベル廃液ガラス固化建屋を例に、                                   |
| 0:06:05 | 左側に火災区域の配置図、右側に溢水防護区画図、   |
| 0:06:10 | 比較させていただきました。   |
| 0:06:13 | このうち、先ほど言いましたように防護、溢水では防護区画は、部屋単位で区切っておりますけれども、そこが火災としてのバウンダリになる。 |
| 0:06:24 | ところにつきましては、この①といったところで共通しているところ、ここは                               |

|         |   |
|---------|---|
| 0:06:30 | 火災でも溢水でも中に被水を入れれないというところで、共通のバウンダリーとしてしているところというふうに見ていただければと思います。 |
| 0:06:37 | すいませんこの溢水防護区画数なんですけれども、   |
| 0:06:42 | 今小橋今回申請させていただきました添付書類についています。                                     |
| 0:06:48 | 防護区画図には、こういった情報、ここまで入ってございません。あれ。                                 |
| 0:06:53 | 他の防護区画はどこですよという示してる図になってございますが、                                   |
| 0:06:56 | もちろんそのその他の補足説明資料なんかも合わせますと、                                       |
| 0:07:01 | ここに書いているような情報ってのは全部網羅できているんですけども、                                 |
| 0:07:04 | やっぱりちょっとこういうサマリーですね溢水影響評価に入るための条件としてどこが境界だよと言ったのは、                |
| 0:07:11 | 図でちゃんと示さなきゃいけないなというふうに今思い直しまして、                                   |
| 0:07:14 | ちょっとこういった図を、  |
| 0:07:16 | 添付書類に入れるのか補足説明資料に入れるのかはちょっとご相談させてもらいますけれども、今後出させていただきますと思っています。   |
| 0:07:25 | で、言いたいことの結論がですね、  |
| 0:07:29 | 右下 12 ページ 13 ページ。   |
| 0:07:33 | 最終ページ。  |
| 0:07:34 | になりまして、   |
| 0:07:36 | そこの一番右の列に重複箇所の設計でございますけれども、                                       |
| 0:07:40 | 真壁貫通部シール、床ドレン逆止弁といったところにつきましては、                                   |
| 0:07:47 | 火災、   |
| 0:07:49 | 溢水量法の要求がございますので、こういったところの構造図なんかを説明させていただくときには、                    |
| 0:07:57 | 両方の観点ですね、例えば床ドレンですと、  |
| 0:08:01 | 煙も水も入ってこないような構造になってますよといったそういう両方の観点で                              |
| 0:08:07 | 説明ご確認、説明させていただきますので、ご確認いただければと思います。                               |
| 0:08:11 | はい。江藤。簡単ですけど、この資料の説明は以上になります。                                     |
| 0:08:16 | 規制庁の田尻ですと、今資料で説明があったのは、火災の区域区画と伊勢の区域区画で、同じところもあって違うところもありますそれは特徴  |

|         |   |
|---------|---|
|         | が違うんでっていう話があって同じところに関してはそれぞれ合わせて説明しますよ。   |
| 0:08:32 | 気はするんですけど、  |
| 0:08:34 | 火災も溢水もなんですけど、今まで会合資料とかも図だと思っんですけどフローが示されていて、防護対象を選んで、区域区画を決めてそこところ評価するための条件として、どういったものを考えますよっていうことだとそこに対策が絡んできてって火災だったら、                        |
| 0:08:52 | 感知消火だろうが発生防止だとか影響軽減だろうがあって、溢水だったら溢水防護対策等があってという形になっていく中で、今多分最初に区域区画の話がされたのは笠井部員もそこがまず基礎としてそこを単位で多分説明されてるからということで説明をされているのかなと思ってたんですけど、すいません。はい。 |
| 0:09:13 | コサクです。ゆっくりしゃべってくださいすみません。   |
| 0:09:17 | なぜそこを単位で説明をされようとしてるのかなというふうに思ってるんですけども、まず速攻は認識合ってるでいいですか。   |
| 0:09:24 | はい。日本原燃の篠崎です。今おっしゃられた通り、認識合ってございます。   |
| 0:09:29 | はい。規制庁館です。その上で、火災と溢水のところ別に同じところは同じで合わせてやりますよってのはそれは全然構わない話なんですけど。   |
| 0:09:40 | 少し冒頭でもお伝えしましたが、それぞれ火災と溢水今日その部分だけの議論をしても、すごい局所的な話をして終わってしまいそうな気がしますので、   |
| 0:09:53 | それぞれ分けていいとまず火災について、今後こういったタイミングで何を説明していこうとしてるのか、そこに区域がどう絡むのかを少し、  |
| 0:10:02 | いいですか。  |
| 0:10:04 | はい。日本原燃の千田でございます。まず、区域区画、そのさ、それに先立って防護対象というものがあって区域を設定し、そこに対策系を置いていくという流れで説明をさせていただきたいと。  |
| 0:10:21 | で、そのスタートになるので今日この説明をさせていただいたのですが、この後のご説明ですがまず区域に対して対策を行っていきますのでそれらの説明をしますその際にはポイントが二つあると思っております、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:10:35 | 耐震側につなげていく必要がございますので、ここに置かれるですね防護対策系の設備、感知消火について、どんなものを置くか、逆に置かない場合はなぜそれでよいかという説明をさせていただきたいと思えます。                   |
| 0:10:52 | その際は、その区域の特徴を踏まえて感知消火を置いていくんですが、感知器を置かないところがですね   |
| 0:11:00 | 設計方針等でも書かせていただいておりますが何個か条件ございますのでこれをベースに感知を、置かない場所、あとは消火もそこがベースになって、  |
| 0:11:11 | 紹介の場合はそれにプラスして火災元が少ないから、人で消せますみたいな説明をしていきますので、そういった説明を行うとさせていただきますそれによって、どんなものがあります、どんな構造ですというのを説明させていただいて、         |
| 0:11:27 | 耐震側に渡せると思っております。またもう一つ、とそちょっと前後関係がありますが、影響軽減設備のですね、1時間耐火の隔壁であったり、そういったものもございまして、                                    |
| 0:11:41 | それも実は波及影響の観点で、耐震性を示すことになりますので、そういう、それもですね、あわせて説明をさせていただきたいと考えて、   |
| 0:11:51 | おります。で、今言ったこれらは耐震だけの話ではなくて、この後の火災影響評価のインプット条件にもなりますので、それらお話をさせていただいた後に、評価という流れで、                                    |
| 0:12:05 | 進めさせていただきたいと思っております。全体の流れとしては非常になります。   |
| 0:12:11 | はい。規制庁の田尻です。今おっしゃっていただいたように、結局、何を期待するものとしてその区域とかに置いていくのかという話をさせていただく必要があると思っていて、それがその耐震のところでの評価のものに繋がるでという話にもなりますし、 |
| 0:12:28 | 今言われたように火災を期待するところでその機能を維持しなければいけないもののほかに、波及影響の話とかも考慮して、どの部分を、どういった形で耐震飛ばすのかっていうのを整理した上で飛ばさないで。                     |
| 0:12:40 | 結局のところ耐震の話が進まなくなってしまうのでその整理をしてくださいというのが重要なことと思っています。  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:12:46 | もう1点なんですけど今の話の中に含まれているのかもしれないんですけど、   |
| 0:12:51 | 感知器昇降機の話に関しては、再処理施設という意味でいうと、少し特殊な形で感知をしますよという説明をされている者がいると認識してまして、   |
| 0:13:02 | 例えば高レベルのセルの中の話であるとかすると、カメラであるとか冷却クーラーのところについている温度計であるとかで感知しますよっていったところを説明されてるんですが、                                |
| 0:13:12 | ここが、今ついでのもので妥当というふうな説明ができなかった場合は、追加的に何かするかしないかという話にどうしてもなってしまうと思っていますので、  |
| 0:13:22 | 妥当性、そこに設置するもの妥当性というものをあわせて説明していただきたくて、ある程度の方向性で説明ができればいいと思ってるんです。後でベース示せますよは構わないんですけど、                            |
| 0:13:34 | 少なくともこういう範囲をちゃんと監視できるんですという説明を最初にさせていただいて、その方施工性だけは早めに確認しないと、後で設備が増えることにもなるかなと思うんでそういった点を整理いただきたいと思ってるんですよろしいですか。 |
| 0:13:47 | はい。日本原燃の千田でございます。ただいまご指摘いただきました固化セルのところを例に、お話いただきました点については許可の際にもですな統一のお話をして                                       |
| 0:14:00 | 今回の添付の3-1-1の中でもお話はさせていただいてるんですけども、ちょっと方向性の話になって定常的な説明としては不足しているという、   |
| 0:14:12 | ところを認識しておりますので、そちらについては先ほど言ったここに付けます。あとこっちはつけませんのときの、それでいい、つけませんというか再処理の設備。                                       |
| 0:14:25 | そうですね、今ある設備を使ってこういうふうには喚起できるんですけどいうところを少し定量的に説明する必要があると思っておりますので、そこについては補足のですね3-1というところに                          |
| 0:14:38 | 感知器関係の説明をするところがございますのでそこで併せて説明をさせていただきますと思います。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:14:45 | はい。規制庁田尻です。そこの準備を進められてるってことではないです。さっきの説明で合わせて言ってもらったのを忘れたんですけど、いつまでにどれをどこまでせめて示そうとしてるかというのを            |
| 0:14:59 | 流れはこうですという話は今まで聞いた気がするんですけど、スケジュール感というのが最近スケジュールも示されていないのでその辺りもあわせて簡単にで説明できますか。                        |
| 0:15:11 | はい。ですね。  |
| 0:15:13 | スケジュール感については、  |
| 0:15:19 | 今回のですね、ちょっと全体的な流れでの説明になるんですけども、今回、防護対象区域区画のお話をさせていただきましたので、これを皮切りにですね、ここについては許可でもお話をさせていただいておる内容でも、    |
| 0:15:37 | ございます第1回のところでもですね考え方を、奥川様中心ですけど話させていただきましたので、来週から補足説明資料で、本対象と区域のところを出させていただいた後にですね、                    |
| 0:15:52 | 感知消火というところをですね、出させていただきたいと思います。大体めどとしてはですねところの、1月下旬2月上旬のところをそちらを出させて、                                  |
| 0:16:04 | 本冊で  |
| 0:16:05 | 可能であればその月中にですね、そこの耐震側に渡すような、   |
| 0:16:14 | 火災防護設備のシステム設計であったり構造等の話をさせていただければなと考えております。それが結局、火災影響評価のアウトプットになります、インプットになりますので、その後に影響評価の話をさせていただきたい。 |
| 0:16:29 | はい。その前に、   |
| 0:16:34 | 影響評価のですね資料、2月の末ぐらいになりましようかそこら辺で  |
| 0:16:43 | はい。院長の田尻です。葛西に関しては、  |
| 0:16:48 | ちょっと具体的なエビデンス等は見えないところありますけど、許可のタイミングからある程度補足資料等でも示されているとされていて、今言われたように、                               |
| 0:16:57 | 一つ二つでものそろわないかなと思います。今資料自体は出来てるという認識でいいんですけど、それとも、今作ってるところなんですって。                                       |

|         |   |
|---------|---|
| 0:17:06 | えっとですね、衛藤全部が全部できてるわけではありませんが、ちょっと紗那伊井のレビュー藤堂を受けてるのがあって出せないのがありますが   |
| 0:17:20 | ある程度はできてすみません変な答えだったんですが、はい。  |
| 0:17:25 | お出しする準備が出ております。はい。規制庁の館です。なんで、内部のクリアはわからないけど形はもうある程度できるものがあるから、今言ったような1ヶ月で物を示していくっていうスケジュールが組めるんじゃないかという話をされてるんだと認識しました。            |
| 0:17:39 | その上で一応ざっくりとだけ説明されたんで認識を確認しておきたいんですが。  |
| 0:17:44 | 先に言われたようにまずは防護対象設備の選定の話があってで、この話今来週からやりますよというふうに言われて、わりとすぐ流されたような形になったのは、   |
| 0:17:54 | 第1回であるとか、許可のタイミングでどういったものを防護対象にするという話は、もう面積示していて、あとは具体の設備を並べる形になりますよと。  |
| 0:18:03 | 火災の防護対象に関しては系統分離と考えれば後で位置関係とかもありますけど単にどこにあるかというのをあわせて示していくだけになるので、あまり論点になるような形のものではなくて、除外の考え方も今まで示してるやつがちゃんと適用できてますよというのを示そうとしてるから、 |
| 0:18:19 | 1回、多くても、その次ぐらいでは方向性が立って次に行けるというふうにまず言われたと思えばいい。   |
| 0:18:26 | はい、日本   |
| 0:18:28 | ます。今おっしゃっていただいた認識で後、  |
| 0:18:36 | どうにですね新た  |
| 0:18:38 | にも、結果は、   |
| 0:18:44 | それとあわせて今日の説明資料にも抜粋。   |
| 0:18:48 | ですが、この配置  |
| 0:18:51 | ここで、この防護対象の位置関係、あと今日ですね、こちらの図面だけではちょっとお示ししてないのですが、  |
| 0:19:01 | 系統分離対策の対象機器と隔壁の位置関係というのも、この資料と、この資料というのはすみません補足説明資料で実際これは、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:19:13 | 火災区域及び使ってのは一応ね下図面という中で、ちょっと二本立てで江藤を脱することで考えております。  |
| 0:19:22 | 考え方は許可でも申し上げておりますのでその結果をまず示させていただきたいと考えております。  |
| 0:19:28 | はい。規制庁の谷です。なので防護対象とあと最終系統分離を行う最重要設備とか設備支援提携の話は許可からの流れで、1回目ですっきり資料積んで説明を  |
| 0:19:38 | した上で、ちょっと同じタイミングなのかわかんなくて区域区画の話になってということなんですけど、  |
| 0:19:44 | ちなみに高間さん今日示されてる資料は、あくまで溢水として比較しようとしてその部分だ形の説明をしようとして、火災の説明としてはこれで完結してると思う。                                       |
| 0:19:54 | てるわけではないということでもいいですか。例えば何を言ってるかというと、火災に関しては  |
| 0:20:01 | ライン外の時だと思うけど隣接区域との境界のところを3時間退会するとか屋外との境界をと何か細かなところいろいろまだ残っていたような気はしていて、区域区画の設定の考え方の火災特化バージョンはまた別途説明があると思えばいいですか。 |
| 0:20:17 | はい。日本原燃の津田でございます。そのご認識の通りでございます葛西。これは区域と区画はこう設定しますよというところでございます実際には、   |
| 0:20:30 | 建屋の中については区域って言うところは当然3時間もたせてますけども、何ていうんでしょう。区域の定義というのは、他の区域と分離する。  |
| 0:20:42 | ところに対しての3時間でございまして、この屋外については他の建屋と接するようなところトレンチとかですね、そういうところには持たせませうっていうところでも、                                    |
| 0:20:53 | 説明は必要だと。   |
| 0:20:56 | はい。  |
| 0:20:57 | 佐治です。今おっしゃられたように、隣接への広がるのを防止するための話と、屋外から燃料とかどうなってるのか、っていう話も含めた上でどう考えたからこういう設定なんですよっていうのを説明していただかないと多分話が、         |

|         |  |
|---------|--|
| 0:21:12 | その点を説明してくださいというのと、あと区域区画に関しては今回の資料だと、13、   |
| 0:21:20 | 右下だと13ページのところで、  |
| 0:21:23 | 一番下に固定的に書かれてるんですけど、防火造の話があったり防火シャッターの話があったり、先ほど言われた設備の話、こういったものを設置するかの話が多分ここで出てくる形になっていて、        |
| 0:21:34 | ちょっと方向性を聞いておきたいんですけど。  |
| 0:21:37 | 基本的にここに書かれているドレンの話であるとか貫通部の話というのも、結局これも補足資料でベースで試験結果とかを含めて最終的に示していただく形になると思うんですけど、               |
| 0:21:49 | 原燃として、要はその次で出てくる感知とか、耐震に絡むの先に説明したいからそこは方向性だけまず説明したいとしてるのか、それとも補足も意識積んで、今後説明していこうとしてるか。           |
| 0:22:01 | でしたっけ。はい。日本原燃の吉良でございます。こちらですね影響、いわゆる影響軽減設備、これについては区域、区画構築物の間、                                    |
| 0:22:13 | 構築物自体ではないんですけどもその系統分離とかのですねとか形成の一部になりますので、この防護対象区域の資料の次にですね提出をさせていただきます、                         |
| 0:22:25 | すいません先ほど感知消火が先みたい言い方をしたんですけども、実際はこの区域区画とセットで提出をさせていただきたいと思います。                                   |
| 0:22:35 | 1週間ずれ、   |
| 0:22:40 | 規制庁のタジリずなので、衛藤葛西に関して、他に影響があるんで、わかりやすいって耐震という意味でいうと、区域区画構築物の下米と言った方がいいですかね。壁系のものがあって、             |
| 0:22:52 | あとは先ほど言われた消火、感知消火の話があって、何で箇所かだけでなく、大事な影響を及ぼすような区域区画の話は最初のうちにものがあるかどういったものがあるかも示されるという理解はしたんですけど。 |
| 0:23:06 | そこで言われたら3時間耐火だけじゃなくて、1時間耐火とかの壁も意識含めてっていうことでいいですか。はい。日本原燃の打田でございますご認識の通りで結構でございます。                |
| 0:23:18 | ちょっと今の幼児せたのはちょっと試験結果が中心になってですね、壁の概念的な形状が少し見えない資料を通さないで用意しておったのでそこは是正して、お出ししたいと思います。              |

|         |   |
|---------|---|
| 0:23:34 | はい。社長館です。なんで試験結果が横に並ぶ形になるんですよ。ものとして登録するものが随時、1回目で防護対象を選んでそのあとの区域区画の設定のところのタイミングで示され始めてっていうのを理解しました。で、             |
| 0:23:50 | これさっき消火の話に少し戻ってくるんですけど、感知消火に関しては、原燃として今これを登録しようと思ってますよ他に先に話したように  |
| 0:24:00 | 要は、整理がまだつき聞いてないものがあると思うんですけどそこに関しても、次自治会なのか、その次ぐらいの間にそのタイミングぐらいから議論を始めて、エビデンスさんも今そろって説明できる状況になるので1ヶ月ぐらいで、         |
| 0:24:13 | 対象物はある程度特定できそうですっていう説明されてるんですか。はい。日本原燃の千田でございますはい。対象物の特定はできております。で、   |
| 0:24:24 | ちょっと説明としてですね先ほど少し申し上げたんですけども、   |
| 0:24:30 | 許可段階でもこういったものがあるので当県機能代替ができますっていうところが少し定性的だったので、ちょっとそこをですね、もう少し定常的に説明できるものを用意するという意味で、はい。                         |
| 0:24:46 | 少し部署に置いておりました。  |
| 0:24:49 | はい。規制庁の田尻です。  |
| 0:24:52 | 一応、   |
| 0:24:53 | 通されるものという意味でいうとそこぐらいで一式でそのあとに、個別設備の発生防止の対策これ既認可から終わってるものも含めて発生防止の対策とかが出てきて、                                       |
| 0:25:03 | そのあと影響評価の話をしてという流れで、後ろの方も当然それぞれ先行例に倣いながらで示さなければいけないと思ってるんですけど、まずはそこまでをやった上で、要は耐震に富むところまで終わった上でそこらやるっていうことでよかったです。 |
| 0:25:18 | すごい。はい。日本原燃の吉良でございます。そのご理解で、の通りでございます。ただ資料としましては発生防止系については、これもやっぱりその対策があつての評価だと思っておりますので資料については                   |
| 0:25:36 | これは影響軽減であつたり感知消火と抱き合わせですね出させていたでいて、衛藤、これは読みでヒアリングをさせていただければと思って   |

|         |   |
|---------|---|
|         | おります基本的には考え方は許可で述べさせていただいております例えば難燃ケーブルの難燃であれば、   |
| 0:25:54 | ちゃんと試験結果そろってますよっていうところをお見せするところがありますので、あまり何て言うんでしょう、こちらから積極的に多く説明するところはないと思うんですけども、その中でちょっと説明が必要なものを説明させていただく形で資料自体は随時出させていたいただきたいと思っております。 |
| 0:26:15 | はい。規制庁田尻です。なぜ説明の順番としては他への影響あるものからやってくる資料として載せるものから先に出すということで元のスケジュールいつもできたものから出してるのか意図があるのかわからないスケジュール示されることがあるので、                          |
| 0:26:28 | 資料提出の意図がわかるようにしといてもらえれば別に先に出てくる分には全然文句言う話ではないので、認識はしました。  |
| 0:26:36 | あとは影響評価の話とか中身を聞いてしまった早いほうが早い気がするんですけど。  |
| 0:26:43 | 溢水とかの話ですね、溢水の話でよろしいですね火災の説明の流れに関して規制庁側から他に何か、今時点でコメントあれば当然そのあと、   |
| 0:26:54 | 影響評価の話とか部隊を聞いていかなきゃいけないんですけど、今日今時点だともうは、あんまり出てきてないところなんでまず説明の流れとして、何かコメント等あればお願いします。  |
| 0:27:07 | コサクです。  |
| 0:27:10 | まず西郷田力行った資料が出てくるのは構わないけど意図を明確にということ。これは第1回からずっと申し上げているところではあるんですけど、   |
| 0:27:23 | 何、何でそう言ってるかっていうのを念のため、  |
| 0:27:26 | 補足すると、こちらが資料確認の優先順位がわからないということだと思います。   |
| 0:27:36 | 特に、   |
| 0:27:37 | ただエビデンスをまとめればいいというものは、早めに作業できる、提出もできるということだと思いますけど、エビデンス確認っていうのはどちらかという後半側で、  |
| 0:27:50 | やればいい話で、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:27:54 | 社員、上段が整理されたから、最終的にエビデンスということなので、我々の確認としては優先順位は低いと。  |
| 0:28:02 | いうところなんですね。で、そこら辺を  |
| 0:28:08 | どういう順番で説明したいのかに応じてこちらを確認をしていくということなのでその点で、資料提出の時期とヒアリング希望時期等々、  |
| 0:28:19 | というようなことを示していただくことでわかるようになるかなというふうに思ってこれまでお話していたん。  |
| 0:28:27 | です。   |
| 0:28:28 | で、これまではヒアリング時期が不明なままだ資料提出だけがあってということで全くわからなかったので、   |
| 0:28:36 | その点を整理してもらえればという感じでイメージしてましたけど、タジリさんそんなことでいいですかね。あのね同じ認識ですどうしてもできたものから出てきているのかそれともこれを優先的にやる理由があるのかっていうの連絡なしに来ることがとても多かったので、 |
| 0:28:53 | そこを交通整理したかったというのが意図です。  |
| 0:28:57 | はいコサクです。それで、先ほど口頭で説明いただいたことにはそんなに違和感ないんですけど、そのあたりを明確にするっていうのが大事なと思うんですけどそのあたりどう原燃されますか。                                     |
| 0:29:15 | 20年サトウです。先ほど火災についてご説明しましたが火災以外にも含めて、  |
| 0:29:21 | そういった考えを、スケジュールとペーストヒアリングを組み込むような、そのスケジュールそこにもちょっと併記するような形で今考えてますので、それを提出させていただきたいというふうに思っております。                            |
| 0:29:33 | コサクですスケジュール表に、  |
| 0:29:38 | これまで一でも吹き出しで少し書かれたりとかっていうのはあったんですけど、  |
| 0:29:44 | やっぱりわかりづらいんですね。で、審査会合でも話をするように説明をどう進めたいのか、それはなぜかというようなことがわかる資料っていうのを作っていただいた方がいいかなと思うんですけど。                                 |
| 0:29:59 | ご検討いただけますか。はい。日本原燃の瀬川です。  |
| 0:30:03 | ちょっと今日、チダが口頭申し上げたところろうと、今回ちょっと会合資料から外してしまいましたけれども説明順序のフロー。  |



|         |  |
|---------|--|
| 0:30:13 | がありますんで説明順序のフローはこのまんま潰してしまうのもったいないので、今後このスケジュール、提出する際にはですね、                |
| 0:30:21 | その道しるべになるこういう順序で流すんだよという意味で、この説明順序の資料も、あの中活用していこうかなと思っていたところですが、           |
| 0:30:30 | パワポの資料だけでもですね、ちょっと行間。  |
| 0:30:33 | 読めない部分があるので、   |
| 0:30:35 | そこはですね、ちょっと見せ方工夫はさせていただきますが、今千田が口頭で申し上げたようなその物語がきちんとですね伝わるような、             |
| 0:30:44 | 付加情報を付加した上での、この説明順序のフローというのを活用しながらスケジュールを提示していくようにしたいなと思っております。以上です。       |
| 0:30:54 | はい、補足ですよろしく申し上げます。今、言っていた通りですね、先日のヒアリングで見た資料のフローだと、                        |
| 0:31:03 | 千田さんが言われたことはわからないので、   |
| 0:31:07 | 素行はよく工夫して提示いただければと思います。で、その時にですね今日の資料もあるんですけど、                             |
| 0:31:19 | 条文毎でも  |
| 0:31:21 | 条文ごとでそれを作っていくと、条文間、今日の資料のような話をいつするのかということがちょっとよくわからない。                     |
| 0:31:30 | ですけど、  |
| 0:31:31 | そのあたりはどう配慮されますか。   |
| 0:31:35 | はい。日本原燃の瀬川ですコサクさんが懸念されてる点は、  |
| 0:31:41 | 十分理解しておりますが、なかなかこの二次元的なものを3次元的な感じでかけ話すような感じで、                              |
| 0:31:48 | はい。  |
| 0:31:49 | 弓削仁科です以前も全体の説明のストーリーこういう組み立て方で我々考えてますっていうようなものを、パワーポイントでスケジュールつけたこともありました。 |
| 0:32:01 | まずは全体の考え方の流れを書いた上で各条文の流れということでパッケージにして、スケジュール資料につけてですね、ご説明できるようにさせていただきます。 |
| 0:32:15 | はい、わかりました全体と個別とということで、整理をされるということですね。で、そのときに、全体で横並びみたいのがあるタイミング。           |

|         |   |
|---------|---|
| 0:32:29 | ていうのがあれば、個別のところにもその旨分かるように付記しといてもらおうと。ええ。   |
| 0:32:38 | 小部ⅠⅠを見ていく際にもですね、留意することができるかなと思いますので、5件。   |
| 0:32:46 | 日本原燃の世界承知いたしました。  |
| 0:32:50 | はい。規制庁館です稲井調査官からお聞きしたいいただいたところと関連するんですけど例えば今、浅井と河西照屋。この紙、今日提出されてる資料の13ページとかのところで、                                       |
| 0:33:02 | 活動仕入れの話があったり区域、水江藤ニノイチの図で概略図みたいのが示されていたりとかいうところがあるんですけど、例えば貫通部自由だったら当然考え方としては、止水対策が内部によってそれを覆うような形で耐火対策があつてでありますし、      |
| 0:33:18 | 防水扉防火等の関係でいうんだったら内部から何かされてやられないように防水扉との位置関係とかも考慮されたりとか、いろいろあると思うんですね。なんで単体団体の説明は当然3時間もちますよとかそういうのが必要にあるんですけど、           |
| 0:33:31 | それが要は火災発生時にちょっと記載するかしないかにもよると思うんですけど、別の対策のところの影響与えないですよっていう話はある程度していただく必要があると思っていて、                                     |
| 0:33:42 | 例えば火災水運だったら、火災の消火性の話とかも関連するやつがいるので一緒に、  |
| 0:33:48 | そういった方の影響とかっていうのは   |
| 0:33:51 | 毎回毎回別じゃなくても簡単な話だったんで葛西の資料にそういった内容を盛り込めばいいだけの話とかっていうのもあるとは思いますがそういう相互の影響というのも考慮しながら資料作成いただけると、確認の手間が減るかなと思うんでよろしくお願いします。 |
| 0:34:09 | 日本原燃の瀬川です葛西に限ら火災水の関係に限らずですね、他の条文含めて、相互影響の関係というのをきちんと意識して、はい。  |
| 0:34:19 | 整備いたします。以上です。   |
| 0:34:23 | はい。規制庁田尻です。はい。  |
| 0:34:26 | 古作です。すいません。   |
| 0:34:28 | 乗ってそれぞれ配慮いただくということなんですけど、今日の資料、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:34:35 | はどのような位置付けになり、今後どう説明で使われるか或いは、今後の説明でどういうふうに扱っていくかと。                                |
| 0:34:45 | いうことがちょっとよくわからないんですけど。   |
| 0:34:49 | 一体で説明してきますと言われたこと。   |
| 0:34:53 | の具現化としてはどういう感じになるんでしょうか。   |
| 0:35:01 | 日本原燃、すいません。日本原燃の篠崎でございます。  |
| 0:35:04 | わかりやすいところでいきますと、例えば床ドレーンの構造図を示して   |
| 0:35:13 | 性能要求みたいところを説明させていただくときに、   |
| 0:35:17 | その火災、  |
| 0:35:20 | 溢水両方の観点でその性能を満たすような構造になっているよとか、そういったところで、  |
| 0:35:28 | 日本原燃、  |
| 0:35:30 | 資料の  |
| 0:35:31 | 自体は、個別補足のところに入れて、全体の中でカバーするようにさせていただきます。まさしくそれぞれの区域区画の考え方を説明する。                    |
| 0:35:41 | 以降、  |
| 0:35:42 | それぞれの説明をする中で、相互影響あるものとしてF A R S I T E S Aの比較みたいなものも入れて、そのあとの説明につなげられるようにさせていただきます。 |
| 0:35:57 | はい。補足です。まずは、ごめんなさいさ。   |
| 0:36:04 | 少し前に田尻が話をした、これはあくまで概要であって火災についてまだ十分整理できてないと説明を受けてないところっていうのはベッドと言われてた。             |
| 0:36:17 | ような話。  |
| 0:36:18 | ていうのが、   |
| 0:36:20 | 前にあるのか後にあるのかっていうのがいまちよくわからなくて、   |
| 0:36:25 | どちらかというと   |
| 0:36:27 | 第1回で大体やってるとはいえ基本設計方針を踏まえて、個別具体少し性、明確にしていって、  |
| 0:36:37 | 明確にしていったものが、   |
| 0:36:40 | の中にその話があり、   |
| 0:36:43 | それを踏まえて、最終的に火災水、薬品というようなところを、関係性を整理をして、同一のもの、プラスアルファのもの、                           |

|         |  |
|---------|--|
| 0:36:56 | それぞれの相互関係と、相互関係ってのは今の波及影響ありやなしやみ<br>たいなことですね。  |
| 0:37:03 | いうのを整理をされて関連のあるところは実態として、  |
| 0:37:09 | 先ほど篠崎ですかね、言われたような、   |
| 0:37:17 | ところの、  |
| 0:37:18 | 説明の際に  |
| 0:37:21 | 双方の観点から、あわせて説明をすると。  |
| 0:37:25 | いうことで  |
| 0:37:28 | その際にまたこの資料のリバイス版みたいなのが、ヒアリングで登場<br>し、この部分の説明を、今回こういうふうにしますよという、どの断面<br>で、こういう説明をしますよというようなことを言っていただけと思<br>えばいいですか。 |
| 0:37:49 | はい。日本原燃の篠崎です。そのようにか活用させていただきたいと思<br>います。   |
| 0:37:54 | 先ほど田尻さんからありましたように、   |
| 0:37:57 | 消火のところで火災の溢水の相互影響みたいなのところも、この中に拡<br>充させていただきまして、   |
| 0:38:03 | それぞれの条文で、それぞれを整理した上で、どこに総合関係があるか<br>といったところを明確にして、それぞれのヒアリングで活用できるよう<br>な、そういったネタの方に仕上げていきたいと思います。                 |
| 0:38:17 | はい、古作です。わかりました。よろしく願います。ちょっと今の<br>タイミングがいいのか、ちょっとよくわからないので、ずれてたら   |
| 0:38:27 | ちょっとし  |
| 0:38:28 | 作り直してもいいんですけど仕切り直していただいていいんですけど、<br>5 ページ、通し右下 5 ページですね、に書いてある。  |
| 0:38:38 | 一番下ですね、①②③の説明。   |
| 0:38:44 | のところなんですけど、こういう分類があること自体わあ、理解をした<br>んですけど、   |
| 0:38:54 | なんでそういうのが発生するのかっていうのは、   |
| 0:38:59 | 火災溢水でそれぞれ理由は書いてあるものなんでその理由が発生するの<br>がよくわからなくて、   |
| 0:39:08 | ちょっと説明してもらってもいいですかね。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:39:14 | はい。日本原燃の千田でございます。ちょっと間違っていたら糸井それからもうフォローして欲しいんですけども、例えば、これはひとえに防護対象のですね考え方に起因するものが一番シンプルな理由かと思っております、 |
| 0:39:32 | 例えば安全冷却水系のポンプであれば動的機構を有しております火災でもですね動的な機構がやられてしまいますよ、水につかってもやられてしまいますようなので、                           |
| 0:39:47 | こういったものは当然、両方が合致しますので01期みたいな形になります。で、一方で防護対象の危害からですね  |
| 0:39:58 | とか、等からですね例えば水に浸かったと臨界が起こるようなものだけどそれ自体は不燃性材料で覆われてるものっていうものは火災では影響受けませんが、                               |
| 0:40:12 | 水では防護対象にしておりますので、②みたいな話になります。   |
| 0:40:20 | すいません。  |
| 0:40:22 | 申し訳ない。今の表現が全般的に理解できてなくて、はい。   |
| 0:40:27 | 対象設備ではあるけど防護の必要がないっていうふうには私は思ってたんですけど、認識ずれてます。  |
| 0:40:35 | すいません、麻生江藤日本原燃の津田でございますそういう意味でいきますとコサクさんと認識は合ってます対象の簿対象の設備であって防護の対策をしないというのが正確です。すいません。               |
| 0:40:53 | おそらくです。わかりました。そういったことを、   |
| 0:40:58 | 明確にここで言うていただくのが大事かなと思っ  |
| 0:41:03 | ていて、それが何となく介護資料でカウントの仕方にも影響してるような気がするんですけど。   |
| 0:41:13 | 等、まずは、そこら辺、言葉遣い含めて間違いのないようにわかる。   |
| 0:41:21 | そうすると、  |
| 0:41:24 | 区域区画を設定する際に、防護対象設備の性状からして、対策が必要か否かということ踏まえて区域区画を設定している。   |
| 0:41:37 | ということで対策が不要な対象施設であれば、   |
| 0:41:42 | 区域区画の外にあってもいいということで設計されてると思えばいいですか。   |
| 0:41:47 | 日本原燃の篠崎です。すいません、溢水防護区画については、少しちょっと違うところがありますんで、補足させていただきます。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:41:54 | 防護区画、溢水の防護区画は、  |
| 0:41:57 | ですね。  |
| 0:42:02 | 通しページ4ページ。  |
| 0:42:05 | の表中をちょっと見ていただきたいんですが、   |
| 0:42:08 | 真ん中です、溢水防護区画は、真壁本谷新野組み合わせによって他の区画と分離される区画と設定しということで、                  |
| 0:42:17 | いわゆる部屋単位として区画を設定してございます。この区画は、必ずしも、溢水経路としてのバウンダリーということを示しているものではないかと、 |
| 0:42:26 | 例えば扉も入れたくないところは防水扉でバウンダリーにはしますけれども、                                   |
| 0:42:33 | 入ってしまうところはちゃんと溢水経路として考慮して、影響評価を行いますということになっています。                      |
| 0:42:41 | なので話の中に、守りたいものがある、なしというわけではなくて、区画だからといって、流入防止をしちゃいけないのじゃないかと。         |
| 0:42:53 | コサクです。ちょっと話が先に進み過ぎてるような気がして、  |
| 0:42:59 | 9カクウをどういう要求をかけるかということはまだ話をしてないんです。はい。その設定の範囲の考え方として、                  |
| 0:43:09 | どうしてるかということで、   |
| 0:43:13 | よくわかん今の説明の中でよくわかんなかったのは、区画の中に何も防護対象がないのに区画を設定するってということもありますってことですか。   |
| 0:43:23 | 日本原燃篠崎です。大変申し訳ございません。ちょっと先走った説明。                                      |
| 0:43:28 | ございません。   |
| 0:43:29 | そこは葛西と同じで、守るべきものがあるところに区画を設置しています。失礼しました。                             |
| 0:43:36 | はい。コサクです。なので、入口はその防護対象設備をちゃんと、  |
| 0:43:42 | 並べ上げて、それがどう配置をされて、それを防護するためにどう9区域区画設定をしてるかということで順に話をしたいんですけど。         |
| 0:43:55 | いう中で最後の区域区画の設定のところになると、防護対策の考え方から多少のずれが出てきますよという説明だと理解をしているんですけど。     |

|         |   |
|---------|---|
| 0:44:08 | 大枠はそれでよろしいですね。  |
| 0:44:11 | はい。日本原燃津田   |
| 0:44:13 | 笠井も一銭もそれで、その認識でございます。   |
| 0:44:20 | はい。補足です。対策のとり方の違いからというのを、5ページの①、②③は特にあれですかね、のところでの違いを、よりわかるようにしていただければと。            |
| 0:44:34 | ということです。で、先ほど②について、火災区域ではないがの説明として、   |
| 0:44:45 | 静的機器で耐火性をそもそも持っているのと。   |
| 0:44:50 | というようなことの説明がありましたけど、②でそれ以外のパンテンっていうのがあります。  |
| 0:45:02 | 日本原燃津田でございます。少々お待ちいただけますか、いや、   |
| 0:45:10 | 瀬古丸谷津とか何かです。  |
| 0:45:18 | 考慮しないんだ。  |
| 0:45:26 | 静的な   |
| 0:45:28 | 忘れない。   |
| 0:45:36 | 規制庁タジリですちょっとそ直送できないぐらいの数なんだと思いつつなんですけど、せっかく分けたのであれば、具体的にそちらにいるのっていうのをね整理をしていただかないと、 |
| 0:45:48 | 結局、どこに差が生じてるのかっていうのはわからない資料になってしまうので、そこまで用意していただいた方がいいかなと思うんですけど、今の状況はどんな感じでしたっけ。   |
| 0:45:59 | 日本原燃の土佐でございます。許可の段階です。ね防護対象それぞれ並べて比較してるものが確かあったはず。すいません即答できず申しわけございません              |
| 0:46:11 | 素行も、もう一度確認して江藤はい。それがわかるように、並べさせていたきたいと思います。はい。                                      |
| 0:46:21 | はい。コサクですよろしくお願ひします。丸さんの方はどうでしょう。  |
| 0:46:42 | 何かそこにしゃべってるところに向かってしゃべった方がいい。   |
| 0:46:46 | そういうシステム。   |
| 0:46:48 | はい、すいませんコサクです。  |
| 0:46:51 | 今大丈夫ですか。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:46:53 | 規制庁丹治です。いや今原燃がない所なんかちっちゃい言葉でここしゃべってちょうど管理課物件でそこにおられたんでちゃんとそれはヒアリングなんだから、全員に聞こえるように入れていただけです。                  |
| 0:47:04 | なるほど。   |
| 0:47:07 | 特にですね丸さんは、溢水のところ2、区画2、対象設備がないって言うてるんですよ。だったら葛西だっていないじゃんみたいに見えるので、   |
| 0:47:19 | 何を言っているんだろうということなんですけど、規制庁谷井です唯一あるのがですね溢水の方は、安重が基本なんですけど、火災の方は安全プラス放射線チョウキュウ放射性物質の貯蔵閉じ込めがいたりするので、そこはあるかもしれない。 |
| 0:47:37 | すみません古作です。それはそれで、今この文章には書いてないので、書いてもらいたいところなんですけど。  |
| 0:47:46 | 書いてあるところはショウガ云々ってなってて設置してないのに延焼って何みたいな感じなんですよ   |
| 0:47:53 | 原燃。   |
| 0:47:54 | の方で説明いただきつつ、目、今後開始して修正をしていた修正というか、明確に書いていっていただくということだと思いますけど。   |
| 0:48:04 | 説明をお願いします。支店長の瀬川ですけど。   |
| 0:48:08 | 付けさしてもらおう。  |
| 0:48:11 | 今日は、なぜ、   |
| 0:48:17 | 具体的にやったメーカー内んの。   |
| 0:48:26 | 日本原燃の津田でございます。今回、防護対象設備の選定及び区域区画の話になってございます。ここは原燃で設定をしておりますして、原燃として、説明をさせていただきたいところで電源として全部説明し切れる。            |
| 0:48:42 | は、宿題を残さない。  |
| 0:48:47 | 日本原燃の打田でございますはい。ちょっと宿題をすべて残さないかと言われる時、東京からわかってきたんだったら説明して組織って感じ。はい。   |
| 0:49:02 | あなたたちはね。  |
| 0:49:06 | 2万5000円とかそういうね、ような機器とかをね、1年でやりたいと。  |
| 0:49:12 | で、  |



|         |  |
|---------|--|
| 0:49:13 | 1回目の申請は2基、二つから一つか二つで、2年かかって、   |
| 0:49:19 | で計算するとね。   |
| 0:49:21 | 5万分の1の短縮を図らないといけないんだよ。   |
| 0:49:28 | そういう短縮はこういうところにある。   |
| 0:49:31 | 今まで1時間でやってたら、十分、   |
| 0:49:33 | ね、宿題を持って残されてももう当たり前なんです。   |
| 0:49:37 | そのぐらい勉強してもいい。  |
| 0:49:39 | そういうことですよ。   |
| 0:49:42 | だから、   |
| 0:49:43 | 全部説明式。   |
| 0:49:45 | 説明式は、黒、  |
| 0:49:49 | そのぐらい前。  |
| 0:49:52 | つもりでね、ここにやってこないと。  |
| 0:49:55 | 話にはならない。   |
| 0:49:57 | いや、別に1年じゃなくていいですよ。5年10年かけてやりますって<br>いうんだったら別にいいけど、   |
| 0:50:03 | どっち。   |
| 0:50:08 | どっち。   |
| 0:50:09 | あなた。   |
| 0:50:10 | どっちで言う好きなの全体を強める。  |
| 0:50:13 | 県でやってください。どうぞ。   |
| 0:50:18 | して、  |
| 0:50:19 | はい。  |
| 0:50:21 | はい。蓮太でございますすいません。認識準備甘くて申し訳ございませ<br>ん。   |
| 0:50:26 | 歌えるようにさせていただきますすいませんでした。ありがとうございます<br>ます。  |
| 0:50:32 | だからね、メーカーとかゼネコンとかやった人間を連れてきてもいい。<br>それはさ、ね、あなたたちの理解は後でもいいけれども少なくとも我々<br>は、情報として正しい情報をインプットしたいなど。 |
| 0:50:46 | 早めに、   |
| 0:50:50 | できる人は別に一年生の石井小俣社長でもいい。   |
| 0:50:55 | 誰でもいいできる人に移る。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:50:57 | できない人間もいかな。  |
| 0:50:59 | そういうこと。  |
| 0:51:00 | よろしく。  |
| 0:51:01 | はい。すいません。  |
| 0:51:08 | 以上です。  |
| 0:51:14 | 古作です。そうしますと丸さんの説明していただいていいですか。はい。日本原燃能勢  |
| 0:51:20 | でございます。  |
| 0:51:22 | 細かい説明の前にちょっと先ほど、   |
| 0:51:27 | 溢水防護対象設備というのは、先ほど申しましたように、安全すべてというところでございますけれども、防護区画を溢水でどこに設定しているかといいますと、        |
| 0:51:38 | 評価対象の方をご対象設備に対して、区画を設定しているということになります。  |
| 0:51:47 | それが右下4ページにありますように、オオオカの一斉評価にあたって、  |
| 0:51:52 | 区画を設定しますよというたてつけになっているところから、   |
| 0:51:57 | 評価対象外。   |
| 0:51:59 | のものにつきましては、防護区画を設定していないというところの違いがございます。失礼いたしました。                                 |
| 0:52:10 | あ、すみません、今表示されてるのは何ページですか。  |
| 0:52:18 | 六ヶ所のためですと今表示させていただいて4、通しページ4ページになります。  |
| 0:52:28 | はい。補足です。評価対象外にする。  |
| 0:52:33 | ていうのは、どこの、   |
| 0:52:37 | 記載を見ればわかるんですか。   |
| 0:52:40 | はい。  |
| 0:52:45 | なんだ。   |
| 0:52:51 | 藤。日本原燃の篠崎です。すいません今日お持ちしたこの資料にはないんですが、基本設計方針ですとか、添付書類の中で、こういったものは評価対象外としますよということで |
| 0:53:02 | 第1回申請の時に、屋外だから大丈夫。それは結局  |
| 0:53:08 | その理由で外すのはやめましたけれども、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:53:10 | ああいう形でこういったものがこういう理由から評価対象ができますよと言ったのを、   |
| 0:53:17 | 構成といいますと大分前の方ですね防護対象設備の選定の方ぐらいに、  |
| 0:53:22 | その説明をさせていただいて、それ以降、扱うもの溢水として扱うものはこういうものですよというふうに絞り込みを行っているという流れになってございます。       |
| 0:53:34 | はい。補足です。先ほど②ではチダさんから具体こういうのがそういうに当たりますというふうに言われたんですけど。すみません。今日の資料にないようなので口頭で説明。 |
| 0:53:55 | 丸様、宇津さん。  |
| 0:53:59 | はい。   |
| 0:54:00 | ③につきましては河西藤。  |
| 0:54:06 | うん費に対しては、機能喪失がする。   |
| 0:54:10 | 喪失する恐れがある。  |
| 0:54:12 | 2 設備であっても、  |
| 0:54:14 | つまりちょっと具体をすみません示さなくて申し訳ないんですが、  |
| 0:54:17 | いや具体を進めてくださいというふうに求めているんですけど。   |
| 0:54:36 | せっかく今日資料作成されたコサクです。せっかく資料作成されたので言うと、次のページ以降にありますけど丸さんはどこですか。                    |
| 0:54:49 | それぐらいはマスキング内でも、   |
| 0:54:52 | 言っているんですよ。  |
| 0:54:56 | ページにありますね。  |
| 0:55:00 | はい。   |
| 0:55:02 | 9 ページ。  |
| 0:55:08 | 9 ページ補足です。9 ページ。  |
| 0:55:13 | どこら辺っていうのは駄目なんですかねきっとね。   |
| 0:55:16 | 見つけました。   |
| 0:55:24 | と、  |
| 0:55:30 | 古作ですちょっと見方が   |
| 0:55:34 | 私自身読み込んでなくて申し訳ないんですけど、  |
| 0:55:38 | この③のところワー、  |
| 0:55:44 | 何ですかっていうとちょっとあれですけど、四角囲みが囲ってあってさらに、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:55:53 | 四角囲んであってのところにはナンバリングされてるようなんですけど、                               |
| 0:56:01 | どういものですかっていうのは発言できない。   |
| 0:56:04 | ですかね。   |
| 0:56:14 | 日本原燃の津田でございますすみませんちょっと、   |
| 0:56:19 | 裁判です。   |
| 0:56:21 | 龍門  |
| 0:56:22 | 場合はですねちょっとここに置かれてるものがなんですかっていうのは、申請書ですね徳井企画設定の商標なり、             |
| 0:56:33 | 添付の   |
| 0:56:36 | ところにですね同率等をつけておりますのでそこで照合はできるんですがすみませんちょっと今それを探しておりますのでお待ちください。 |
| 0:56:51 | ボンベです。ちょっとマスキング文章のところになるんでちょっと、何だろう。                            |
| 0:56:57 | 皆を、   |
| 0:56:59 | 確認しますけども、こちら、9 ページのところにある、3 につきましては、                            |
| 0:57:08 | ローリングをさせなければ、火災区域に設定しているところというふうになります。                          |
| 0:57:12 | 一つの部屋で火災区域 3 時間耐火を飲んだりとして設定できるところを挙げて、火災区域に設定しているので、            |
| 0:57:22 | こちらの方は見て、一戸新居に対しては防護対象というものもありません。                              |
| 0:57:31 | 熊田さんになっております。   |
| 0:57:34 | 補足です。あれ今言われたのは、   |
| 0:57:37 | 私とその資格があってさらにそこが、の資格があって土肥。                                     |
| 0:57:42 | て、板野の部屋の中に小部屋があるというイメージでいけばいいってこ。                               |
| 0:57:51 | 知らないんですけども、下の辺に外傷のある。   |
| 0:57:56 | 笠井三木がありまして、衛藤。  |
| 0:58:01 | プランナー、北岡伊丹。   |
| 0:58:06 | こちらが田丸という   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:58:08 | と何だろう、その辺をいいでしてみたいなものが出てくる気になりまして、その開口になってるのでそこでバウンダリを取らないってということで、  |
| 0:58:19 | そういうことです。  |
| 0:58:23 | 日本原燃津田でございます。コサクさんのご質問の部屋の中に小部屋があるというイメージでいいかということに関してはそのイメージで結構です。いや今の説明だと部屋の中に会を跨る貫通部があるという説明かと思ったんですけど、違いました。 |
| 0:58:40 | この箱が貫通部なのかなと思ったんですけどそうでもない。  |
| 0:58:45 | 二つの限度です。二つのエリアを一つのエリアとして登録させていただいてるということで、   |
| 0:58:55 | 部屋、  |
| 0:58:56 | 部屋があったときに、区域に設定するためにはバウンダリーが必要になりますので、それをふた部屋で、ふた部屋の外周を使うことで、一つの区域に、   |
| 0:59:09 | それぞれは規格にする。  |
| 0:59:12 | そういうことです。  |
| 0:59:14 | 店長、ごめんなさい、古作です。  |
| 0:59:19 | 藤は、  |
| 0:59:21 | 何となく合ってるような内容なので、ちょっともうちょっと具体に行くところです。   |
| 0:59:26 | イスイ側の図面妥当③としたところの、   |
| 0:59:30 | 一番内側の四角には何も書いていないと、その外側の四角には、  |
| 0:59:36 | 番号が振られているのでここは溢水防護区画になってるっていいんですよ。   |
| 0:59:46 | 日本原燃の篠崎です。   |
| 0:59:48 | これ部屋番号は、   |
| 0:59:50 | 書いているところでございまして、この部屋番号が二重線になっているところが報告額ということで、   |
| 0:59:56 | 上保理事でございます。  |
| 0:59:59 | すいません。   |
| 1:00:02 | 了解しました。そうすると一重 20 とかってのは関係がなくて、  |
| 1:00:13 | 番号が書いてある。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:00:17 | 部屋について、どうかということであり、  |
| 1:00:25 | この部屋自体には物はないんだけど、  |
| 1:00:30 | 火災影響で繋がっているところに、   |
| 1:00:34 | ものがあるのでということですね。   |
| 1:00:41 | 一連の江村でございますすみません、尾山六ヶ所ヤマモトさん、私ちょっと特定できなかったんですけどそれで、小崎さんおっしゃった通りでよろしいですかね。はい。   |
| 1:00:53 | おっしゃる通りです。日本原燃の山田です。おっしゃる通りです。   |
| 1:01:00 | 古作ですわ。   |
| 1:01:02 | 概念はわかりました。   |
| 1:01:08 | そうして、  |
| 1:01:15 | 規制庁たですよ。頭がなくなってしまったんで、すみません。   |
| 1:01:21 | どうぞ。今のお話っていうのは、火災に関しては火災区域と隣接区域に影響を評価しなければいけなくなってるからその隣接区域に影響を評価するものについて書いてるけどあくまで隣接する場所だけなのでそこに防護対象いないので溢水で見るとそこは区域になってないとかそういう説明でした。 |
| 1:01:46 | はい。日本原燃篠崎です。   |
| 1:01:49 | そうですはい。  |
| 1:01:51 | 菌田コサクです。溢水側はそれ、そういう説明でも大丈夫なんでしょうけど私が葛西側でちょっと表現がよくわからなくて、   |
| 1:02:02 | 隣接区域影響っていうところで言っちゃうと、ここは区画の区域、杭区画等何なのっていうところがよくわかんなくてこの、   |
| 1:02:13 | 区画として表現されてるのであれば、隣接っていうよりは、  |
| 1:02:18 | 何か   |
| 1:02:22 | 火災区域区画ってある程度火災影響としての影響を空気入れなきゃいけないので、区切る。  |
| 1:02:30 | 物が無いのでこっちなところがあるので部屋も区画の中に入れざるをえないんですっていうようにも、   |
| 1:02:38 | なのかなと思ったんですけど。   |
| 1:02:41 | もうちょっと、  |
| 1:02:42 | そそうそこら辺の疑問が払拭できるように説明していただけますか。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:02:48 | 店長たちですけど、防護対象はどこにいるのかがわかると、理解がしやすいんですけど。                                   |
| 1:02:58 | 古作です。私もそう思います。   |
| 1:03:06 | 日本原燃の山本です。対象としましては、渡慶次久慈 6 ページのところに、                                       |
| 1:03:13 | 記載しております、  |
| 1:03:21 | はい。  |
| 1:03:24 | なんてばいいかな。  |
| 1:03:29 | を、笹川の方で上の方に、何だろう、中二階というか、  |
| 1:03:37 | 対象設備が破損させた部分あると思うんですけども、そちらはちょうど、  |
| 1:03:42 | 1 ページ 9 ページ。   |
| 1:03:44 | 分岐となる火災区域ということで、   |
| 1:03:48 | 町の   |
| 1:03:54 | ケネディクスでちょっと補足させていただきます。  |
| 1:03:58 | ちょっとすいませんマスキングの話になるんであれですが、今のお話なんですけど、9 ページのところの、それこそ③と書いてあるところの部屋なんですけども、 |
| 1:04:11 | ③って書いてあるところが、それこそ先ほど田尻さんがおっしゃったように開校みたいな感じになっていたの、みたいな感じの時でした。             |
| 1:04:24 | 1 の方に位置する部屋の方に繋がっていると、その部屋下の方の部屋の中に、                                       |
| 1:04:31 | 会長が、   |
| 1:04:32 | ここで表されてるこの 9 ページのところには、全部対象がないとそういった関係になってるということです。以上です。                   |
| 1:04:44 | 古作です。今の言われた開放部分っていうのが、火災影響の強化ができないので、                                      |
| 1:04:54 | ということですね。  |
| 1:04:57 | はい。いろいろなんです。はい、おっしゃる通りです。  |
| 1:05:01 | コサクですわかりました。   |
| 1:05:06 | 等どうでしょうか。  |
| 1:05:09 | 今のだと、上階に物があって、これは各   |
| 1:05:14 | ③ってなってるのは、その下ってことなんですよね。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:05:17 | 地下1階で、   |
| 1:05:20 | 繋がってるのは上側の、  |
| 1:05:25 | 地上1階ですか。   |
| 1:05:31 | 次。   |
| 1:05:36 | 日本原燃の蝦名です。すいませんこの9ページの下の方に、下の方も部屋に物が、ということなのでちょっと今のコサクさんに、                 |
| 1:05:48 | おっしゃったのだけかもしれません。はい。コサクです。わかりました。地下2階の方にあるということですね。                        |
| 1:05:56 | 日本でできないその通りです。はい。補足です。   |
| 1:06:02 | 配置関係わかりましたけど、今の開口があって地下階に、地下2階の方に対象設備があるということだとすると、1水源がここの部屋にあったら、         |
| 1:06:17 | その下の階に行ってしまうと、溢水影響がっていう気もするんですけど、それはバウンダリーン。                               |
| 1:06:24 | どし。  |
| 1:06:25 | 或いは溢水経路としてどうなってるんですか。  |
| 1:06:38 | 増えるものでございます。曾我の水プールとして見て変えます。  |
| 1:06:47 | コサクです。   |
| 1:06:49 | そうすると、一番最初に説明があったような   |
| 1:06:53 | 溢水の区画って何っていうことに、   |
| 1:06:57 | なってくると思うんですけど。   |
| 1:07:02 | 当区画自体わあ流入させないとかじゃないので流入は許容してますと。   |
| 1:07:10 | いう古藤ですけど。  |
| 1:07:15 | こんな開放があったところは経路として見たから見てるんです。  |
| 1:07:20 | その経路のところは別に区画とは言いませんっていうことで、   |
| 1:07:29 | 日本原燃の篠崎でございます。部屋単位で価格を設定してございますので、   |
| 1:07:34 | ちょっと   |
| 1:07:35 | 空間という意味で見るとちょっと違うところがあるんですが、おっしゃる通り区画ごとの開放のところは溢水経路として見込んでますので、モデルとしては一体で、 |
| 1:07:44 | イメージしていただければ、  |
| 1:07:53 | はい、古作です。   |



|         |  |
|---------|--|
| 1:07:55 | 状況はわかりました。都丸さんの5ページの③の方は、  |
| 1:08:01 | 聞いた範囲だ等、   |
| 1:08:04 | 内容としては、そのように書かれているのだけど、まっさらなところで見ると、その評価対象のっていうような表現で丸まっちゃっててよくわからないとか、  |
| 1:08:15 | 先ほどのようにその延焼を考慮する必要がっていうのでいまいち何言っているかがよく、しかも他の区域区画からのって書きちゃってるので、   |
| 1:08:28 | 今ので言えば、  |
| 1:08:31 | 開放して繋がっている。  |
| 1:08:33 | 部屋からのっていう古藤のような気がしますけど、  |
| 1:08:40 | ていうのもうちょっと文章わかるように書けるかなと思いますけど、いかがですか。   |
| 1:08:45 | はい。日本原燃の津田でございますご指摘の通りだと思います   |
| 1:08:51 | ちょっと、審査基準の定義をですなそのまま書いたようになってて実態を説明するには、不親切になっておりますのではい。今の議論を踏まえてですな拡充します。   |
| 1:09:09 | はいコサクですよろしくお願ひします。立石さんをお返しします。   |
| 1:09:13 | はい。規制庁の田尻です。   |
| 1:09:15 | 火災に関しては個々の状況等の影響も含めて今後、各条文ごとに整理各單元ごとに整理しながら示していかれて先ほど言われたようにどういう流れで説明するかっていうのを資料として示されてとていうので理解しました。ちょっと課題ばかりってのもなんで溢水も多分この中で聞いておかないと、 |
| 1:09:32 | すみません。はい。すみませんカミデちょっとだけ、ちょっと質問させていただきます。   |
| 1:09:38 | 資料の、   |
| 1:09:42 | 12 ページですか。   |
| 1:09:45 | 壁と間仕切り壁ってあるんですけどこの二つの違いがよくわかんないんですけど、というものです。  |
| 1:09:52 | はい。日本原燃の津田でございます。壁というのは通常の鉄筋コンクリート造りの壁でございます、この間仕切り壁ってというのは  |
| 1:10:03 | 例えば大型の機器の搬入のためにですな一部を少し広く、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:10:09 | 切り換えたようなところでですね計画バーンと徹底形状鉄骨的にですね、鉄骨壁を作ってる場合があって、そいつにですね耐火性能を持つ、壁にしてる場合がございますそれを間仕切りと言っております。            |
| 1:10:29 | はい、規制庁カミデすぐ切り換えてるっていうのがちょっとよくわからないですけど、対象箇所が明示されているから、非常に少ないってことですか、何枚ぐらい。これ4枚ぐらいしかありませんよ。              |
| 1:10:45 | はい。日本原燃の津田でございますはい。   |
| 1:10:49 | そうですね3時間耐火を持たせる対象になります。その対象がこの4枚です。   |
| 1:10:57 | はい、規制庁と今のやりとりで、一番下のやつともうちょっといたりしませんか。はい。日本原燃千田でございます1時間耐火ははい。おります。すいません今回の資料ですね                         |
| 1:11:11 | 境界となる構築物ということで、1時間耐火隔壁がこれに入っていない状態でございますので、   |
| 1:11:20 | 規制庁谷です。だって、今の説明は本当に部屋の境界になるようにしっかり高部と麻生双方対象の境界ブースみたいにそこに、仮設的って書いてるかわかんないですけどベッドの壁を構築するやつを間仕切り壁と呼んでるだけで、 |
| 1:11:36 | しかもそれは3時間耐火9時間耐火それぞれにるのでポチポチの数があるイメージだったんですけど認識合ってますか。  |
| 1:11:43 | はい。現在でございますそのように、   |
| 1:11:47 | 規制庁大変すみません赤嶺さんお願いします。   |
| 1:11:51 | はい、五味です。さっき進め方で、まずは登場人物を整理しないとということですのでそれは耐震にも関係するから、感知消火がSクラス相当ですから、                                   |
| 1:12:03 | その辺を、   |
| 1:12:05 | やっていくっていうことなんですけど、壁の扱いがよくわからなくて、  |
| 1:12:12 | 壁の場合は、カクウとしての機能と、あとは  |
| 1:12:21 | 感知消火設備の感知器だったり、消火の配管だったり、の支持機能っていうところがあってその辺の耐震としてどう扱うかっていうのがよくわからなかったんですけど、どんな感じですか。                   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:12:36 | 日本原燃の津田でございます笠伊井のところで言いますと単純に3時間というだけで影響軽減設備になるのでそいつについては耐震Cクラスになります。ただ、                                       |
| 1:12:48 | 一方で神谷さんがおっしゃったようなところですね機能を要求するようなものであれば、それはそ、そこの支持構造物として必要な耐震性を持つものとなってございます。                                  |
| 1:13:01 | ここは、すいません、ちょっと今この二つにいったここに、図示した記載したものがですねどうなってるかというのはすいませんちょっと確認させていただきたいと思います。                                |
| 1:13:16 | 藤規制庁カミデちょっと機能を要求するところはちゃんと見ますよっていう。  |
| 1:13:21 | 決定はいましたけど影響軽減はまあ別ですっていう感じで今ちょっとその辺も今後上がってはいるんですけど、いずれにしても、丹地域所あとは消火のラインを特定するだけではなくて、それがどこに取りついているかっていうのも       |
| 1:13:38 | 大指耐震では、どうせ見ることになるので、その辺もわかるようにしてくださいっていうことですね、一つ聞く等、探知機なんかは、   |
| 1:13:49 | 基本は、天井面のスラグコンクリートにつけてるんだと思うにはするんですけどその天井組んでるところに感知器つけてるところとかないですかとか、あとは  |
| 1:14:01 | 間仕切り壁っていうのが出てますけどこっからサポートはとらないんでしょうけど、要は普通のRCじゃないところから指示とっていうところではないですかってのは今ちょっと気になってます。何か思い当たるところがあれば教えてもらえば。 |
| 1:14:14 | はい。日本原燃の津田でございますやはり第1回でも出てきたですね竜巻ネットとかそういったところからとってるようなところがございますので、  |
| 1:14:26 | あります。はい。やはり換気系のついてるところ、あとそのつけ方っていうのは今、飄々対象じゃないところもあってちょっと、こちらからですね耐震を説明をする際には、どういったところにどういうふうについてるかっていうのをですね   |
| 1:14:47 | 簡単に終わって、ご理解いただけるような補足をですね衛藤耐震側見つけなければいけないという認識でおります。以上でございます。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:14:59 | うん。  |
| 1:15:00 | はい。カミデです。耐震側の説明書にはもう書いてあって、普通のSクラスとかの宇和普通のDBの耐震設計の、                                      |
| 1:15:11 | 機器の支持方針と一緒に書いているから、実態本当一緒であればその記載だけで済むんですけど、そうでもない場合は説明が必要ということだと思って、よろしくお願いします。私から以上です。 |
| 1:15:28 | はい、天然チタでございます。理解しましたよろしくお願いします。  |
| 1:15:33 | はい、仙石です。   |
| 1:15:35 | すいません。今のやりとりの中で前も話したような気はするんですけど、  |
| 1:15:45 | 規定されているところというと耐震Cクラスですということ。   |
| 1:15:52 | なんのかもしれませんが、   |
| 1:15:56 | 中、   |
| 1:15:57 | その機能が、   |
| 1:16:00 | 耐震上もたないというようなとき、その機能というのはカクウとしてのですね、時に火災影響が防げないということに、                                   |
| 1:16:14 | なるわけで、そうすると、安重の機能もというふうに間接的かもしれませんがなってくる。  |
| 1:16:24 | いう。  |
| 1:16:26 | ところはどうか考えればいい。   |
| 1:16:30 | とかで、耐震によって火災が発生、耐震じゃないや、地震によって火災が発生するということをSAとかでは想定。                                     |
| 1:16:43 | はしないんですけどというようにところで、   |
| 1:16:46 | よくわからなくなる。   |
| 1:16:47 | ちゃったんですけど、   |
| 1:16:50 | どうか考えればいいんですけど。  |
| 1:16:52 | 日本原燃の吉良でございますすいませんちょっと私の理解が間違ってるかもしれないんですが審査基準において感知消火に対して耐震要求がありまして、                    |
| 1:17:04 | 影響軽減がないという状態それで影響評価をやっているというところでございます。で、これは発生防止感知とか影響軽減っていう、その深層防護の考えがある中で、              |

|         |   |
|---------|---|
| 1:17:16 | 感知消火でしっかりと吐血前提での評価になってて、一方の影響評価では感知器評価設備は、確認こそすれどそっちには期待しない境界になってる。   |
| 1:17:31 | ただ実態は監事消火でちゃんと消せるので、それを前提に評価をしているというところでございます。すいませんちょっと。  |
| 1:17:42 | うん。うん。回りくどいやったんですが、   |
| 1:17:46 | コサクですそのときの感知消火が機能するというために、区画として、  |
| 1:17:53 | 必要な事故っていうのはあるような気がするんですけど、そこは大丈夫ですか。  |
| 1:18:01 | 感知消火と。はい。そういう意味ですとやはり壁が必要になると思っ<br>ます。  |
| 1:18:10 | 壁については建屋と同等の、耐震性でございますので、担保されるのかな<br>という認識です。   |
| 1:18:23 | はい。補足ですそこが曖昧なのが気になる。  |
| 1:18:26 | いたということなので、耐震のときにはもう少しちゃんとその菌数、   |
| 1:18:33 | どういう状態で、その機能がどの程度必要なのかと。  |
| 1:18:37 | いうことを整理をして説明いただくことになると思いますので今の点も<br>整理をしておいてください。   |
| 1:18:44 | はい。日本原燃の伊達幸田  |
| 1:18:46 | 承知しました江藤今野ですね、耐震のところでの、   |
| 1:18:52 | もう少し整理した形で説明させていただきます。  |
| 1:19:06 | はい、規制庁タジリ数。   |
| 1:19:08 | 家を火災の流れを聞いて、ちょっと伊勢の方も、今後どう進めるかを聞<br>いた方がいいと思っ<br>て、喝采に関して1回区切って溢水こうかと思う<br>んですけど、火災絡みで先に聞いておきたいことがある人いたらお願い<br>します。 |
| 1:19:26 | はい。規制庁谷です。では、溢水音を説明しようとするれば先ほど葛西の<br>説明あったと思うんですけど溢水も同じような流れでどうしようとして<br>るのかの考えを説明ください。                             |
| 1:19:35 | はい。日本原燃の篠崎です。   |
| 1:19:37 | 江藤葛西とですね、大まかな流れってのは一緒になりますので先ほど千<br>田が説明したのと、同様の流れで説明を差し上げたいと思います。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:19:46 | すなわちですね登場人物のセイリガクといったところからなんですけれども、  |
| 1:19:51 | どこにどんな要求があるものが置かれるか、そのうち、耐震要求があるものはどれかといったところを明確にして、どんな構造になってるかみたいなのを説明して、 |
| 1:20:03 | 自身が引き渡すといったところの説明をしたいと思っています。  |
| 1:20:08 | さらに付け加えます赤瀬側に付け加えますと、  |
| 1:20:12 | 1セガワですね医薬品と合同というのでやりたいと思っていますので、医薬品ですね、医薬品の話としまして、まず設計上考慮すべき化学薬品、          |
| 1:20:27 | 防護対象設備を、評価、評価の対象となるものを決める大前提になりますので、                                       |
| 1:20:33 | こういったところは早めに説明させていただきます。   |
| 1:20:36 | あわせて、リスク評価の対象外と、   |
| 1:20:39 | している設備、こちらも理由もしてですね、説明させていただきます。これをやらないとまずその                               |
| 1:20:46 | 区画を設定する前に、   |
| 1:20:48 | 何を守るんだってところが明確になりません。  |
| 1:20:50 | これをいの一番にやらさしていただきたいと思っています。  |
| 1:20:54 | また、  |
| 1:20:56 | S Eですね、S s 重大事故対象設備こちらでも溢水から方、   |
| 1:21:02 | その説明、今まで第一グループもしてございませんでしたので、  |
| 1:21:06 | それも並行して、   |
| 1:21:09 | やらせていただきたいと思って、  |
| 1:21:11 | それがそろって初めて何が防護対象設備、守るべきだというのが発生しますので、区画を設定し、                               |
| 1:21:19 | 評価の上限というふうに、   |
| 1:21:21 | ということで、まずは来週にでも、ちょっと具体的なスケジュールになりますけれども、                                   |
| 1:21:27 | 来週にもまず今言いました、登場人物特に評価対象が何なのかというところを確定させたいと思っていますので、                        |
| 1:21:35 | この資料を、来週にも提示させていただいて、適宜説明さしあげたいと。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:21:40 | まず入口はそこだと思っているところでした。  |
| 1:21:43 | 以上です。  |
| 1:21:45 | はい。規制庁驚見です。  |
| 1:21:48 | まず頭のところで説明いただいたところでちょっと他の条文との関係で確認しておきたいんですけども、                                      |
| 1:21:56 | S Aについては、36条の方でS Aで守らないといけない設備を選定してその以降は溢水側で評価方法とかには合流していくってことで認識してるんですけども、他に        |
| 1:22:10 | S Aのために何か追加対策を講じるとかで溢水関係で確認していかないといけないこと等があれば、                                       |
| 1:22:19 | 説明いただきたいのですが何かあたりしますか。はい。日本原燃の篠崎でございます。  |
| 1:22:25 | ちょっとここには整理がうまくなくてですね、  |
| 1:22:33 | 文章を修正しなきゃいけないというふうに認識しているところでございますけども、   |
| 1:22:37 | S A側のA水、   |
| 1:22:40 | の影響を評価する上でアクセスルートの評価といったものがござい<br>ます。  |
| 1:22:44 | 先ほど言われたように、清水さん言われた通りですね、DBとS Aの溢<br>水評価ってのは基本的に、それぞれ防護すべき設備を挙げて、                    |
| 1:22:56 | そのあと合流させて請求評価上、溢水影響評価をやっていくといったと<br>ころは合同でやっていくんですが、                                 |
| 1:23:03 | アクセスルートに関して言いますと、あれはどちらかというとその設備<br>を守るというよりも人がそこに行けるかという観点で、                        |
| 1:23:11 | 他の   |
| 1:23:12 | 実績の評価、いわゆるどこまで水が行ったらやれるか機能スタッフを比<br>較するといったようなやり方とは違いますので、                           |
| 1:23:22 | ここだけはですね   |
| 1:23:23 | 清がアクセスルートの評価という中の1個アイテムとして、溢水影響評<br>価を見るのかなと思っています。で、先ほど私がうまくいってない認識<br>してると言いましたのは、 |

|         |   |
|---------|---|
| 1:23:34 | そういった基本のこの古野から外れるですね、特例みたいなのがどういうもので、それはどう評価するよみたいなのが、今のS A条文側にも、こちらの溢水条文が今書かれていないので、                         |
| 1:23:46 | そこの区分けがしっかりできていないというふうに反省しております。そこは   |
| 1:23:51 | どちらかの添付書類にしっかりかつというところに対応させていただきたいと。  |
| 1:23:56 | 以上です。   |
| 1:23:57 | はい。規制庁清水です。藤S Eのためにこの追加対策っていうところではアクセスルートっていうところがだけ、  |
| 1:24:05 | 的にはそこが上げられるっていうことでも、確かにちょっとS A側は入れてないんですけども、こちらの溢水の方では、そういう評価っていうのは見えてないんでそれは全体との関係を整理する上で、そこも示していただくっていうことで、 |
| 1:24:20 | しました。すみません。   |
| 1:24:23 | コサクです。  |
| 1:24:25 | 先日瀬川さんは言われてたと思うんですけど、操作場所も、   |
| 1:24:31 | 操作ができるようにという意味では、   |
| 1:24:34 | +あると思うんですね。ただ操作場所については、操作するも脳が防護対象になってきて、区画的には、   |
| 1:24:45 | そう言わなくても入ってくるんだと思いますけど、評価の視点としても加えなくていいってことですかね。  |
| 1:24:54 | 日本原燃の瀬川ですまず、実際操作場所とアクセスルートというのは、  |
| 1:25:02 | もうほぼほぼ一致しているちょっと完全室完全一致かどうかというのはちゃんと確認しなきゃいけないんですけど、アクセスルートと操作場所ってのも一致しておりますので、                               |
| 1:25:13 | そういった観点でアクセスルートという言葉で、ちょっとすみません、アクセスルートっていう話、キーワード出してた。うん。  |
| 1:25:19 | アクセスルートという言葉で代表させてしまっていたところはあります。   |
| 1:25:24 | 実際はコサクさんご指摘されるように接続孔だとか、  |



|         |  |
|---------|--|
| 1:25:29 | あとはもちろんフォースジョイントする部分とか、そういったところも、もちろん後にバックにいるんですけども、そこは全部人がアクセスするところの内数になってるという認識でした。              |
| 1:25:42 | はい。補足です。そのあたり言葉としては分かれてたりもするので、含んでいるということであればそれを明確にさせていただくということだと思いますので、それも含めよろしく申し上げます。           |
| 1:25:57 | 阿藤   |
| 1:26:00 | S Aとしてプラスという関係でいうと、  |
| 1:26:04 | 水源で1.2S s設計をするというようなことがあると思うんですけど、それは、   |
| 1:26:12 | 対応されるんですか。   |
| 1:26:21 | 日本原燃の瀬川です。   |
| 1:26:24 | アで、デービーの観点では1.0までなんですけれども、もちろん溢水評価をやるにあたっては、   |
| 1:26:31 | B S分け隔てなく一緒に、  |
| 1:26:35 | なんていうんでしょう。別評価をわざわざやるわけではないですね。館です。趣旨は多分ですね溢水は1水源の方を耐震性を例えばB Cクラスであっても耐震性を持たせたり水源にしないという整理があったはずで、 |
| 1:26:49 | それで1.0S sでやってるんだとしたら、船員あたり政権が増えますという整理にもなりかねないのでその整理をということだったと思うんで、どちらの説明ですかということをお願いします           |
| 1:27:03 | あ、古作です。さらに補足すると、今の1.0S sも含め、溢水元についてどう説明するつもりなのかの方針がいまいち。   |
| 1:27:13 | 説明されてなかったような気がするんですけど  |
| 1:27:18 | それがいつなのかということとその時に、S Aの関係とどう整理をしていくかということをあわせて説明して、  |
| 1:27:38 | ないといけないと思っているのが、12条でやっている、スタートが  |
| 1:27:44 | D Bの世界でした。   |
| 1:27:45 | 一方S E側のアクセスルートだって操作場所との関係が36条からスタートして、1.2S sの話がきて、それをどこでジョイントしてどう整理をして説明するつもりですかっていうのをちゃんと         |

|         |   |
|---------|---|
| 1:27:58 | こちらが絵姿を書いて説明しないと多分言われ方またぐちゃぐちゃになってきて、私ディー・ディー・エスみたいなこと言いそうになったので、そこも含めてちょっと絵を書いてどう、どこの設置資料でどういう順番でどこで説明するのかと。 |
| 1:28:12 | 1水源の扱いとしての耐震設計でのボタンをどうやって渡して、計算書はどう作るのかみたいなことを、絵姿を書いて、説明させていただけるようにします。                                       |
| 1:28:25 | はい。コサクですよろしく申し上げます。入口はまず、DBの安重とかということでそれに対してどこをどう守りますかっていうところになるんですけど、  |
| 1:28:37 | どう守りますかっていうところではSAの設備はどう守りますかもうセットにさせていただいた方がよくて、   |
| 1:28:45 | そうするとDBの安重どこかの整理の後はSAどこかと。  |
| 1:28:53 | いうことがまずあるんだろうなと思います。で、その上でどう守りますかがあってって、  |
| 1:29:01 | その時に、1水源がどこにどうなるからっていうのがあるんだったらその前に水源なんですけど、  |
| 1:29:08 | 後でもいいのか、前の方がいいのかっていうところを聞いておきたいんですけど。   |
| 1:29:15 | はい。1水源から、   |
| 1:29:19 | 除外するのが、すみません衛藤1水源としては、1水源水路として整理しているんですが、   |
| 1:29:26 | 評価に使いやすいように、1水源から除外をした結果として今、   |
| 1:29:33 | 失礼しました。強度評価、耐震評価をした結果、水源から除外をすることで除いたところを水源としてふうに整理してございますので、   |
| 1:29:42 | 最終的に水源はここだよということをお示しするのは、   |
| 1:29:48 | 水源から除外する機器の配管、機器配管の強度評価耐震評価規制庁タジリです。いやその一線の整理を先に聞かなきゃいけないっていうのが極端な医師、その1水源から除外するやつってやつが、                      |
| 1:30:01 | SAも考慮して1.2Ssでも壊れないように整理するんですけどっていうんだったら頭に聞いておかないと、耐震に何を投げるのかが耐震評価しましたっていうのは、じゃあどれで耐震評価したのかもよくわからないので、         |

|         |  |
|---------|--|
| 1:30:12 | どっかで考え方を最低限の結果は別に後とか耐震取っていくのかもしれないんですけど、考え方をどこでいくのかっていう話だと思うので、そ、そこをまずどこでやるのかを、何かその後ろの方がいいような気がしたんで、ちょっと前の方でも知らない溢水と火災は、 |
| 1:30:29 | ここが大きく違って、水源にもそのせ耐震設計が変わってきちゃう部分が多いのでそこを説明いただけると助かりました。  |
| 1:30:38 | わかりました。日本原燃篠崎です。すいませんちょっと私頭の整理が落ちてなくて申し訳ないです。先ほど、そもそも1水源1.0S s 1.2S sの整理もさせていただきますので、                                    |
| 1:30:49 | そのときに、説明させていただきますが、また理事田尻さんおっしゃられたように、   |
| 1:30:55 | 大分前の方にですね、これを説明しないと自身が引き継げない、そのインプット情報になると思いますので、  |
| 1:31:03 | 優先順位としては挙げて説明させて、  |
| 1:31:10 | はいコサクですわかりました。そうすると、今準備が進んでいるであろう、ATDの防護対象設備がどこかということがあり、  |
| 1:31:22 | モールための起因となる1水源。  |
| 1:31:26 | としてどう設定するのかで、対象、耐震性なり強度なりで持たせて水源にしないと。   |
| 1:31:35 | 言っているものがどこか、   |
| 1:31:38 | #NAME?   |
| 1:31:40 | というようなことの説明があって、棒、それに対しての防護対策ということでこういうふうにやっていますよというので区画区域の説明があってという順番でいいですか。  |
| 1:31:53 | はい。  |
| 1:31:54 | 日本原燃篠崎でございます。今言った、説明がすべてできて先ほどの資料でお示しした、   |
| 1:32:02 | 特各図の情報がそろうと思いますので、   |
| 1:32:08 | はい。そういう点で説明させていただきます。  |
| 1:32:12 | はい。コサクです。わかりました。そこら辺の先ほど葛西の方で言ったように、そういう説明コンセプトであることを整理をし、スケジュールを設定しと。   |
| 1:32:24 | ということでよろしく申し上げます。以上です。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:32:29 | あと、規制庁タジリですけど、1点すいませんS A設備という意味で聞いておきたいんですけど、これ、可搬のS Aの保管場所がどうなってるかとかの説明もその時に合わせてあるんですかね要は高いところに設置してるから大丈夫ですとかっていう説明だけじゃ、 |
| 1:32:42 | 7日箱に追われてますなのかわかんないけどそういう説明もあわせてある意味、そうですね、日本原電の瀬口とセットでお話した方が絶対効率的なので、あわせて対応させてください。                                       |
| 1:32:52 | 以上です。規制庁通りですねD B M S F対象物のやつは頭で全部やっているということで理解しました。   |
| 1:33:02 | きちんとシミズです。  |
| 1:33:05 | はい。藤最初の方にまず登場人物のを、  |
| 1:33:11 | 確認してってということなんですけどもちょっとこれに関して昨日の会合資料のヒアリングでもうちょっと、   |
| 1:33:18 | 話題になってたところで、整理状況を確認しておきたいんですけども。  |
| 1:33:23 | その対策設備に関しても   |
| 1:33:26 | 下部のカウントの仕方にも関連するんですけど薬品   |
| 1:33:30 | 類で、   |
| 1:33:31 | 変容する対策設備ってというのは、  |
| 1:33:34 | ないんですか。   |
| 1:33:37 | 日本原燃の須崎でございます。  |
| 1:33:41 | 基本設計等で医薬品でこういう防護設備がありうるよといった、   |
| 1:33:46 | 所候補として挙げさせていただきましたけれども、実際に戸谷近傍、   |
| 1:33:52 | 赤字対策設備としてエントリーする園として採用したのが、薬品防護パンのみということになりまして、県はございません。  |
| 1:34:05 | 規制庁市民です。  |
| 1:34:07 | 藤。  |
| 1:34:11 | 生きた以上のその化学薬品については1水源としても想定してるってことにはなるんですけど、   |
| 1:34:17 | その薬品も5番は、   |
| 1:34:20 | 水対策設備としてはカウントされてないっていうこと。   |
| 1:34:25 | ずらされてる。   |
| 1:34:27 | はい。日本原燃篠崎でございます。  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:34:32 | 申請書にも書いてございますけれども、化学薬品堰とか扉とか、そういったものを今衛藤先生おっしゃったように薬品でも、                                |
| 1:34:43 | その流入防止とかそういったところで、  |
| 1:34:45 | 期待するのであれば、兼用しますという話なんですけれども、  |
| 1:34:49 | ただし書きがございまして、   |
| 1:34:52 | うん。   |
| 1:34:53 | イスイ側でもタイヤ期せ薬品性を有している。扉ですとか積ってというのは、   |
| 1:34:58 | 学薬品の対策設備としても流用できます。すいません、減容するという書き方をしております。一応ございまして、                                    |
| 1:35:08 | 現状そういった水には持つけれども、水にも薬品も持つといったものがございませので、そこは兼用ではなくて化学薬品の影響評価としては、                        |
| 1:35:18 | それは期待していないということになります。   |
| 1:35:21 | 転用してもらおう済みでございます。   |
| 1:35:24 | はい。市長清水です。ちょっと具体については今後ヒアリングでも確認していくことになると思うんですけどもまずその会合資料の巻頭の仕方がっていうところではここに、          |
| 1:35:34 | 関連して他は特に規制庁側から確認等ありますでしょうか。   |
| 1:35:42 | 補足ですちょっと。   |
| 1:35:44 | ちょっと聞き取りづらかったのかもしれないんですけど、す関井扉で、  |
| 1:35:52 | 薬品の耐性を持たせてるものがあるというって、  |
| 1:35:58 | 期待してませんって言ってってというような感じで聞こえたんですけど、何を言われたのかももう一度説明いただけますか。日本原燃篠崎です。すいません、音声が悪かったと思うんですけども |
| 1:36:10 | や耐薬品性を持つ溢水防護設備というのはございません。  |
| 1:36:16 | ので衛藤転用してるものもございませんというかそれに期待せずとも、化学薬品影響がないというような評価をしております。                               |
| 1:36:28 | はい。   |
| 1:36:29 | 期待せずともというのは何なんですたっけ。  |
| 1:36:41 | はい。日本原燃篠崎でございます。  |
| 1:36:47 | 影響評価結果が先取りするのはおかしいので、ちょっと言い方が難しいんですが、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:36:54 | そういった席とか、扉で深く薬品の流入防止ってのを行わなくても、   |
| 1:37:04 | 守るべき化学薬品から守るべき防護対象設備はすべて守られると。  |
| 1:37:10 | 評価をしてございますコサクです。だからそれは何でって聞いている。  |
| 1:37:20 | コサクですけど。  |
| 1:37:22 | 篠崎さんが悪いというよりは原燃全体的に説明したが悪いんですけど、  |
| 1:37:28 | 定性的に表現をしてただ言い張ってるだけっていう状態が多くて、こちらは常にそれはなんでって聞いているっていう。  |
| 1:37:37 | 質問の意図をちゃんと組んで回答してくれないと。   |
| 1:37:42 | 先ほど管理官が言ったようにヒアリングの意味ないんですよ。  |
| 1:37:49 | 説明できますか。  |
| 1:37:56 | 日本原燃篠田です。   |
| 1:37:59 | 麻生。   |
| 1:38:06 | 日本原燃です。   |
| 1:38:09 | もしですね。  |
| 1:38:11 | 六ヶ所が何か今発言しようとしてますでしょうか。   |
| 1:38:16 | はい。人間のホリウチでございます。江藤県に関しましてはですね先ほど伊勢議員の方もお話のありました耐震及び強度評価におきまして、医薬品に関しましてはどういう評価を行うことで、                                    |
| 1:38:30 | トレーが発生しづらい補水しないという対応を行ってございます。その結果としまして分水対策設備で、   |
| 1:38:39 | 設置します、いす設備関連する設備に対して、耐薬品性を持たせて、医薬品を薬品対策設備としての機能を有するさせる必要はないと。   |
| 1:38:51 | 古藤になってございますちょっと先ほど白木からの説明がありましたように、説明ロジックの中でですね評価が先に来るのではなくてというところがございましてちょっとそれ回答に窮したところがございしますが、一応そういった設計で考えてございます。以上です。 |
| 1:39:06 | はい。コサクです。大体やってることはわかりましたけど、であればこそ、  |
| 1:39:13 | 先ほど言ったような1水源薬品の場合は漏えい元って方がいいんですかね。  |
| 1:39:18 | の説明が大事であって、そういう設計コンセプトにしていますっていうのが一番最初にあるってことですよ。なので影響評価が言えないので、  |

|         |   |
|---------|---|
|         | 危惧するっていうことではなくて、もう完全に設計コンセプトだと思います。   |
| 1:39:33 | そういう理解でいいですかね。  |
| 1:39:35 | 日本原燃の堀内でございますそういったご理解で、以上でございますこちらの方もそういったプロセスで説明していけるように検討いたします。   |
| 1:39:44 | はい。よろしく申し上げますそれで今後のヒアリングの進め方として、ちょっと相談なんですけど、今本庁に来ての方等、   |
| 1:39:56 | 六ヶ所側とか  |
| 1:39:59 | バッティングするかなのような状況っていうのは、あまり  |
| 1:40:03 | 勧めとしてもよくないとかやりにくいので、基本はやはり先ほど管理官からもありましたけど、本庁に来られる方が説明をしっかりするんだキャッチ、こちらのコメントをキャッチするんだということで対面を申し込まれてるんだと思いますので、 |
| 1:40:23 | 基本、まず本庁の人が何か話をし、補足して欲しいことがあるのであれば、  |
| 1:40:32 | その説明者が、   |
| 1:40:35 | 6ヶ所が多いの誰かを呼びかけて、  |
| 1:40:38 | 何を説明してくれと。  |
| 1:40:40 | 補足してくれということを書いてやっていただくのがまず基本かなと思う。  |
| 1:40:46 | ているんですけど、いかがでしょうか。  |
| 1:40:50 | 日本原燃の佐藤です。承知いたしました。まず説明の主体は、当然こちらの本庁の方で説明させてる人間に、やらせます。それを踏まえて補足を六ヶ所側で、必要と判断した時はこちらから、                          |
| 1:41:04 | 六ヶ所側へ呼びかけるというような形で徹底していきたいと思います。  |
| 1:41:13 | はい、小崎ですよろしくお願いします。  |
| 1:41:18 | 緊張シミズです。どっか特に、  |
| 1:41:21 | 昨日話題に上がった申請対象設備室の菅藤の件でなければ、   |
| 1:41:28 | ちょっと登場人物の件にちょっと、今後具体的に確認していくことにはなるんですけどちょっと1点気になってる点で確認しておきたいんですけども。  |
| 1:41:37 | 一斉の対策設備は、それぞれ地震、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:41:42 | 力に対してもちますよとか水圧11に対しても来ますよっていうことを基本設計方針で、                                   |
| 1:41:48 | 添付の方にも、具体的な計算とかにも展開されていくと思うんですけども、   |
| 1:41:55 | そのうち基本設計方針で挙げている対策設備で地震力に対してもちますよって言うものでもその添付2展開されていかないものとか、               |
| 1:42:06 | あるんですけど、この辺ってちょっと地震の方に渡す上でも、ちょっと初めに確認しておきたいんですけど、だって今後説明早めにしていただけるっていうことで、 |
| 1:42:20 | よろしいでしょうか。はい。  |
| 1:42:23 | 日本原燃篠崎でございます。  |
| 1:42:25 | ただ、ターミナルエンド法カバーとか、そういったものを指してるのかなと思いますけれども、                                |
| 1:42:30 | そういった実際、現場には使う使わない、採用しなかったものってのを持ってますので、まさにその最初登場人物の整理といったところで、            |
| 1:42:41 | 最終的に溢水対策設備というのはこういうものですよといったのを、一番最初にちゃんと整理して説明                             |
| 1:42:51 | 成長市民です。数字が今上がった防護カバーとかあと地震計とか漏えい検知器液位計等がちょっと上がって、                          |
| 1:42:59 | 向こうに繋がって行ってなかった設備だったので登場人物一式並べてっていうことで                                     |
| 1:43:07 | 減、   |
| 1:43:08 | 等廉売の方針のところでは式と扉、防水扉等、  |
| 1:43:13 | 水密扉があってそれぞれの使い分けとかそういったところもあわせて、その時に聞いていければなと思ってるので、説明の方を今後していくようにお願いします。  |
| 1:43:27 | 評価の件でまだあれ、笠井北井笠井は、今後説明と大丈夫ですか。はい。  |
| 1:43:34 | 行きたいことだ。   |
| 1:43:36 | 規制庁清水です。ちょっと先ほど全体の進め方っていうところで、最初の登場人物の設定と、                                 |



|         |   |
|---------|---|
| 1:43:44 | あと水源終了区画、経路の設定っていうところを順番には説明していくっていうところまで説明があってそのあと評価を聞いていくことになるので、                           |
| 1:43:54 | ちょっと若干  |
| 1:43:56 | さっきの話にならずに今ちょっと議論するつもりはないので、今後説明していただきたいこととして一応お伝えしたいんですけど。                                   |
| 1:44:03 | 1000 薬品について最終第 1 回目は具体的な設備が出てなかったのが大体 2 回目で、評価の妥当性確認するっていうことで具体についても確認してくんですけども、              |
| 1:44:18 | 評価の条件というところの記載が全体的に、その説明が薄くなってちょっとそういったところをちゃんと説明して欲しいなっていうところがありまして、                         |
| 1:44:30 | 具体的にその床勾配とかは日本原燃は、  |
| 1:44:37 | 最大の 2 分の 1 として設定してるんですけども先行のプラントとかでは保守性を考慮して 2 倍設定してるっていうところになってて                             |
| 1:44:45 | 不確かさとかも考慮した上での設定をしているのかとか、  |
| 1:44:49 | あと特に屋外で発生する溢水に関してなんですけども、実用炉の方では、   |
| 1:44:56 | 過渡変化角的な変化とかも考慮して広域な評価に加えて、  |
| 1:45:02 | 局所的な評価とかもしてるのでその原燃の評価がどういう条件でどういう範囲で設定したのかっていうのがちょっと全く、                                       |
| 1:45:10 | 次長の方で添付で説明されて権限は今後どこかで説明されるんだと思うんですけども、ちょっとそういった条件っていうところをしっかりと説明するように今後、説明していただきたいなと思っているので、 |
| 1:45:23 | よろしくお願いします。   |
| 1:45:25 | ていうのをちょっと伝えておきます。   |
| 1:45:27 | はい。日本原燃篠崎です。承知いたしました。ちょっと全体的に不足してないとかっていうところを、見渡しさせていただきまして、添付に書くべきところは書きまして補足。               |
| 1:45:39 | 説明すべきところはしっかり作って説明。   |
| 1:45:44 | 規制庁シミズこの添付 2 かつ補足で説明するかとかいう全体的な整理は最終的に整理していけばいいと思うのでまず補足説明資料の説明をまずしていただいてっていうことでよろしくお願いします。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:46:01 | はい。   |
| 1:46:02 | それに関しては、  |
| 1:46:04 | はい、規制庁タジリです。今話してましたけど、当たり前の話なんですけど、根拠とともにしっかり示してくださいねという話で先にも指摘されていた気がするのでこれ以上何とも言いませんけど、 |
| 1:46:16 | 根拠ない説明 2 節購入と本当に意味がなくなってしまうので、その点は考慮いただいた上で、  |
| 1:46:22 | 今清水も言いましたけど、最終的に申請書本文編 II、補足のところに、  |
| 1:46:28 | あるんですけど、現在最初からそれでやろうとすると何か混乱してよくわからないことになりかねないので、まずはネタ意識示してくださいねというので、この後少しある構造の話も、       |
| 1:46:38 | まだ物示しましょうよっては強いからやってるところなので、そういった点も考慮した上で必要情報、  |
| 1:46:44 | 一式まず住んでくださいということでよろしくお願いします。  |
| 1:46:49 | はい。日本原燃篠崎で承知しました。そのように進めさせていただきます。  |
| 1:46:54 | コサクです。ちょっと混乱しそうなので、確認なんですけどカミデさんも含め確認なんですけど、  |
| 1:47:01 | 今の点本分、プー捕捉という関係は、00 資料別紙 C 4  |
| 1:47:12 | なり、マース並行して 3 号といったこと等で整理をされて、それぞれの十分性っていうのを、  |
| 1:47:22 | 確認していくということになると思うんですけど、耐震の方は 00 別紙 4 を中心にヒアリングを進めるというこ等で話がされてたと思うんですが、                    |
| 1:47:34 | Dの方は、   |
| 1:47:37 | 個別の   |
| 1:47:39 | まず補足説明資料機器でその内容がある程度、   |
| 1:47:43 | 十分になってきたら、  |
| 1:47:46 | 別紙 4 の方に行くという進め方っていうことでいいですかね。  |
| 1:47:52 | 今日タジリです。今おっしゃっていただいた通りで本来的には耐震のように、最終的に何担保されるのかとか、議論も含めてやりたいところなんですけど、ちょっといきなりやると、        |
| 1:48:03 | 余計に時間かかりそうなのでまずは補足でやりたいなと思ってました。  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:48:09 | カミデです耐震も、は00でさわるんですけど、物量が多いので、結構補足でちゃんと見たいんですけど、どの補足を見ていけばいいかもよくわからん。     |
| 1:48:23 | 言うような状態なのでまずは00で絶対こう。   |
| 1:48:27 | 見渡してみて、じゃあどういう部分を、この補足で詰めていこうと。   |
| 1:48:33 | そのあとに最終的に基本方針と書かれるべきか、計算書にどう書かれるべきかというのをそのあと貨幣効果はありですけどそんな感じで進めていくつもりでした。 |
| 1:48:47 | はい。補足です。起こりました。   |
| 1:48:50 | ただ、別件の方もその理解で、それぞれちょっと、プロセスというか、アクセスの仕方が違いますけど、理解されてると思っていいですかね。          |
| 1:49:02 | はい。日本原燃の瀬川です。はい。やはり条文の特徴だとか、  |
| 1:49:08 | 申請書の構成の煩わしさとか、そういったところを踏まえてのアプローチの仕方の違いだと思っておりますので、臨機応変に、                 |
| 1:49:16 | いや、陸間理解の進むやり方付しながら進めていきたいと思っております。以上です。                                   |
| 1:49:25 | はい。補足ですよろしくお願いします。  |
| 1:49:28 | 以上です。   |
| 1:49:31 | 規制庁岡ですちょっと今日の、原燃の説明ですずっと気になっていて、  |
| 1:49:37 | 衛藤。   |
| 1:49:39 | 篠崎さんを中心に、全体的になんですが、防護対象設備と評価対象とするものの区分けは第1回でしっかり、                         |
| 1:49:49 | 整理して、そういう文言とかは、ちゃんと定義通り使って欲しくて、今日の説明はどっちのことを説明してるのかっていうところ、おそらく、          |
| 1:50:00 | 評価対象だけをボンセ対象設備っていうふうに言っていて、だからあの審査会合資料なんかにも、                              |
| 1:50:06 | のカウント数も被水薬品でずれてくるなんていうところもあったので、ちょっとそこら辺は、                                |
| 1:50:13 | もうちょっとしっかり認識持って、発言とか整理とかしてもらいたいんですけど、その辺いかがでしょうか。                         |
| 1:50:22 | 例年シノザキです。   |
| 1:50:24 | 先ほど説明の途中で混乱させてしまって訂正させていただきましたが、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:50:32 | 溢水防護対象設備と、この後、SM入ってくると防護すべき設備というキーワードも出てきますので、ちゃんと言葉の使い分けってのは、気をつけさせていただきます。失礼いたしました。                               |
| 1:50:45 | はい。政調会です。私から以上です。   |
| 1:50:49 | はい。規制庁田尻です。衛藤。葛西一穂通して規制庁側から何かありますでしょうか他に。   |
| 1:50:59 | なさそうなので、  |
| 1:51:01 | Cは施工上のやつをこの後聞くんですけどこの時点で一度振り返りを笠井水について現在の頃から振り替えお願いしますでスケジュールを途中で聞きはしましたけどそこを含めて、振り返っていただければ、                       |
| 1:51:12 | はい。   |
| 1:51:14 | 日本原燃の千田でございます。全体共通するような話もございますのでまず若狭  |
| 1:51:23 | の話となってしまいますがまず今日提出した資料ですね、資料5ページのところで江藤区市野お花Cがですねと書いてありますが、これがちょっと実態具体をですねと示したものとしてはですねとわかりづらいところは、                 |
| 1:51:40 | ございますこの資料自体は、別途補足としてですね、どんどんリバイスして活用していきますのでそこを修正させていただきます。   |
| 1:51:49 | あとですね衛藤区域について、失礼しました火災についてはですね本日進め方の方を述べさせていただきましたので、それに合った形で補足説明資料を提出させていただきたいと思います。ちょっといきなりスケジュールの話になってしまうんですけども、 |
| 1:52:09 | 今回ご説明したですね、防護対象設備と衛藤区域の話を、来週、それ以降に、とそ   |
| 1:52:20 | 自主通されてですね、  |
| 1:52:25 | 影響軽減設備の   |
| 1:52:27 | そのあとに、藤監事、消火の順に提出をさせていただきますして2月にですね評価まで出せるように、はい。   |
| 1:52:39 | 対応していきたいと考えております。すいません、ちょっとスケジュールの話に飛んで申し訳ございません。葛西猪鼻氏に戻ってですね、区域の話を今回やらせていただいたんですが今後の徳井企画のお話をする際にはですね、              |

|         |   |
|---------|---|
| 1:52:55 | 今回の説明では屋外やトレンチ等ですね実際に3時間持たせるところをどう考えるっていうのが発足しておりましたので、そこら辺を資料の方に可決させていただきます。                           |
| 1:53:07 | あとですね、おっきいところで言いますと耐震の説明としてですね、今回境界の話出させていただきたいんですが実際感知消火設備辻とおっしゃる衛藤とるものはですね、                           |
| 1:53:22 | どのようになってるかっていうところの考え方自体っていうのをわかるようにすることということと、あと、環境下のところで壁とかですね他に期待するものっていうところを考え方を担当整理して述べるようにというところを、 |
| 1:53:37 | 理解いたしましたのでこちらの方対応させていただきます。火災の確認というか火災特化のところでは以上となります。はい。日本原燃篠崎です。石川でございます。まず先に、                        |
| 1:53:50 | 今日資料提出させていただいた資料について、先ほどのチダに加えまして、この資料の位置付けでございますけども、   |
| 1:53:57 | 今後ですね、他の場所での火災と溢水との共通するところ総合あるところ、相互影響があるところですね、そういったところをちゃんと拡充させていただきますして、                             |
| 1:54:09 | 今後それぞれのヒアリングでどこが共通するかといったところの目安になるような、そういった活用ができるような形で、これを拡充させて活用させていただくという位置付けにさせていただきます。              |
| 1:54:21 | はい。   |
| 1:54:21 | あとは、スケジュールとか説明の順番になりますが他条文もそうですけれども、  |
| 1:54:28 | 通りですね、ちゃんとここでこれを説明したいんだから、こうするんだと、ここで何を説明するんだってところは、改めて整理させていただきます。                                     |
| 1:54:38 | その中で、やっぱりそのSAですね、SAとの合流、1.01、2の話もございまして、  |
| 1:54:44 | これは大分前の方で話ししなきゃいけないと、そういったところが見えてきますので、そういったことをちゃんと意識して説明の順番を作って参りたいと思います。                              |
| 1:54:54 | まずは、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:54:56 | 溢水防護対象設備は何なのかといったところが、すべての議論のスタートになりますので、そこについて   |
| 1:55:07 | ヒアリングそこから変えさせていただきたいという   |
| 1:55:09 | ことで、まずは今日はやっていただきました。   |
| 1:55:12 | あと、新設を前、  |
| 1:55:15 | 坂ですね。   |
| 1:55:17 | 評価の妥当性を、第二グループ、   |
| 1:55:22 | 審査いただくのがメインなんですけど、  |
| 1:55:24 | そのための評価の条件ですね、記載が薄いといったご指摘いただきましたので、  |
| 1:55:29 | そこについては拡充して、特に補足説明資料で必要な情報はすべて出すという形で説明を進めさせていただきます。  |
| 1:55:39 | はい。細かいところありますが、以上でござ  |
| 1:55:43 | 拝見  |
| 1:55:44 | 今日のタジリです。関係条文の整理というそういう話とかいろいろあったと思うんでそういった点は認識はされてると思うんでよろしくお願ひしますというのと、あとこのスケジュール示される上でなんですけど基本原則は資料提出から1週間後ヒアリングというのが原則だと思ってます。あとは物量に応じて、本当にプランとして1万円とか2万しかないのに、 |
| 1:56:04 | 1週間かっていうのはそこは臨機応変に相談をというところだと思ってるので、そこは個別に示していただければというところだと思ってます。あと言われたような気もするんですけどヒアリングで、対面でやられようとするときは、ここに来た人がちゃんと全部説明できるように、                                     |
| 1:56:19 | 細かな説明の補足を六ヶ所人がするのかわからないですけど、基本ここに来て説明される以上は、説明できる代表者としてこられてるんだと思うんでその辺は認識して対応いただければと思います。   |
| 1:56:30 | OKでは他に、笠井石神であればお願いします。  |
| 1:56:37 | 古作です。   |
| 1:56:41 | 説明。   |
| 1:56:43 | 今ヒアリングヒアリングじゃない、資料提出1週間っていう話でしたが、ヒアリングの設定も1週間、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:56:52 | 前にはできるようにしっかりと対応いただいて、その時に説明者は誰でということも言っていただくと。   |
| 1:56:59 | ということだと思っ   |
| 1:57:01 | ていて、現状、何も打診されてないので別に進めるつもりはないんですけど、ねって感じがするんですけど、   |
| 1:57:11 | 急遽、ヒアリングやらせてくれとかっていうのだとこちらも準備できないので、しっかりと、  |
| 1:57:19 | 整理をして、写真をいただきたいと。   |
| 1:57:22 | 思ってます。  |
| 1:57:25 | 以上です。   |
| 1:57:27 | はい。   |
| 1:57:28 | 消費税がしっかりと計画だけでは   |
| 1:57:32 | いたします。  |
| 1:57:35 | はい、規制庁谷井です。   |
| 1:57:37 | まさに教育案件で恐縮ですけど、設備構造の話をして12時なんですけど5分10分だけはなCをした方がいい気がするんですけど、定検に誰がこれ対応するんだっけ。                                  |
| 1:57:47 | これ日本原燃の生活6ヶ所側で本件対応いたします。  |
| 1:57:53 | 長たりですな、頭説明がありますかとりあえず今出てきたものを見る限りだと、DBAの冷却Tのネットの話だけとりあえず作ってみましたというところかなと思うんですけど、原燃はこれは今日の位置付けとかぐらいは説明できますかまず。 |
| 1:58:11 | 本日、   |
| 1:58:14 | 日本原燃の瀬川です。まずまず一つ目的としては、構造ズーの説明をさせていただく上で、こういった見せ方こういった解説の然たD進めていっていいかといったところを今回の防護ネットで確認したかったというのが、           |
| 1:58:30 | 大きな目的の一つです。   |
| 1:58:32 | で、それでよければといったところろうを踏まえて、あとは今回提出したネットでちょっと特徴的なところ、   |
| 1:58:42 | 六ヶ所側から解説していただければと思うんですが、  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:58:46 | 規制庁の谷です。今日ネットの議論するキーはないです今日出てきて、1時間で議論って言うても困るだけなのでとりあえず、原電がどういう認識を作った人ぱっと名と、自分のイメージとして、  |
| 1:58:58 | けど、   |
| 1:58:59 | 前回よりは資料が書かれてきたのかなと思ってます最初の方で、各設備並べて、それに対する関係条文とまず整理して、特にメインなところに10万とかつけながらやられてかつ、   |
| 1:59:10 | 右下3ページとかで、そもそも式がどこにあるかも前回示されてなかったんで、そこは番号振りながら関連付けるようにしますよっていうのがあって、4ページとかで、とりあえずこういった構造なんですよって示した上で、                             |
| 1:59:22 | 地震だろうが、竜巻であろうが外部火災だろうがそれぞれの両部への適合性説明できる上で必要な図面をたくさんつけようと思ってますってところまでは認識しました。  |
| 1:59:35 | ただ、ちょっと耐震ところは自分がぱっとわからんので、飛ばしますけど、例えば竜巻とかのところていくと、現地に行った時に要は空間開いてるようなところネット何も離れてないようなところがあったようなところって今図面であまり示されてるようには見えなかったりであるとか、 |
| 1:59:51 | 何か90何ページで何か機構が動いたですみたいな説明があったりとか個別個別のところLower考え方説明聞いていかなきゃいけないところとか、今時点でも別にネットのやつが全部そろってるかどうかののははっきりしないところがあるので、                  |
| 2:00:05 | 考え方としては、そういったもので拡充していくっていう認識はしたので、とりあえず意識進んでもらって説明を聞いてた方が早いのかなと思ってはいますが、規制庁側で、明らかにおかしいとかがあれば指摘いただけると助かります。                        |
| 2:00:22 | カミデです。明らかにおかしいっていうところは特になくて、というところではないんですけど、5ページとかでも、何かそれっぽいところは説明が、  |
| 2:00:34 | 書かれてて、こんな感じでもっていう印象ではあるんですが、これからいろいろ出てくるにあたっては、何を、  |
| 2:00:45 | 説明こういう補足で説明吹き出しだったり、説明するのかっていうのを、目線を整理してもらえるといいのかなっていう感じですね。で、  |



|         |   |
|---------|---|
| 2:00:55 | 基本は、何らか標準系があってその標準系と違うところっていうのを説明すればいいんですけど。                                      |
| 2:01:03 | 竜巻防護ネットの場合標準系がどう定めるのかというところもあってとりあえずは第1回の冷却塔なのかもしれないですけど、こういうところをちゃんと説明しますという目線を、 |
| 2:01:15 | そろえて、資料出してもらえればいいんじゃないかなと思いました。   |
| 2:01:22 | 古作です。なGですけど、  |
| 2:01:25 | そういう趣旨でいうと、3ページが朝、4ページが書いてることが意味がわからん。  |
| 2:01:32 | そうです。   |
| 2:01:36 | ここのところ今、上出が言ったような、標準系に対して   |
| 2:01:43 | こういうものが違いますとかも元はこれはこういうものです。こういう機能を達成するために構造設計してます。                               |
| 2:01:53 | それにあたって先行の標準パターンに比べるとこういうような追加の配慮をしてます。   |
| 2:02:01 | いうようなことだと思うんですけど、何、まともに書かずに、  |
| 2:02:05 | いきなり、次のページ、図面で、   |
| 2:02:08 | 書いてあると、吹き出しで何となく意味はわかりますけど、   |
| 2:02:12 | 何、何を説明したいのかの主旨が一番最初に書いてないし、4ページとの繋がりもわからないと。                                      |
| 2:02:19 | いうことで余りにも、  |
| 2:02:23 | やっつけ仕事という堅田張りついただけという感じなんですけどそこは<br>どう考えればいいんでしょうか。                               |
| 2:02:30 | はい、弓削西浦でございます。  |
| 2:02:33 | 資料のできであったり、この資料で、   |
| 2:02:37 | どういう位置付けだっというところについてはすみません  |
| 2:02:41 | まず骨格としてこういう図面を張りつけながら、違う部分は先ほど神谷<br>さんがあったような、ベースがあってそれとの差分がどういうところに<br>あって、      |
| 2:02:53 | それがどういう理由で、その差だという図をですねまず骨格になる部分<br>を作り、  |

|         |   |
|---------|---|
| 2:03:00 | 作って、まずはこういうやり方をしますということをお話を今日したかったぐらいにしたの、当然ながら資料としての最終形ってのはこうではなくて、                                  |
| 2:03:12 | この資料で何が説明したくて結論なんだっていうところも含めてあと各条文に対して、こういう情報が一部となりますってところまで、各会議で初めて資料になるのは認識をしています。                  |
| 2:03:23 | ただちょっとかなり中途半端ですが、こういうやり方で1個ずつ資料としての体裁形にさせていただきたいということで、最初に冒頭私がそれをちゃんと言えばよかったんですけど今現状版としてはそういう形です。なので、 |
| 2:03:37 | 文章も、なぜいきなり第1回と同じですみたいなことを、議題平気で書き始めてるところもおかしなことですしそこは資料の現状の絵姿と、最終的にどうしたいのかっていうところをちゃんと見据えて、           |
| 2:03:49 | お話をさせていただくという前提のもとに、今日、この形で出させていただきました。あの中で決して完成版だということではなくて、これからこれで整理をさせていただきたいということです。以上です。         |
| 2:04:04 | はい、古作です。わかりました。   |
| 2:04:07 | 56ページは、基礎としてちょっと特徴があって、結果として、加工が大分様変わりしていると。  |
| 2:04:18 | ということだったり部分的な形状がっていうような話だったり、ということでそれに対応してなのかわかりませんが、   |
| 2:04:28 | 加工の設計としてこういう特徴がありますよと、いうこと。   |
| 2:04:32 | が、その次のページにあり、   |
| 2:04:37 | またその次のページは公募設計、飛来物に対する防護設計としての特徴として云々というところ。  |
| 2:04:47 | ていうような感じで続いてくような気はするので、その辺りわかるようにして、  |
| 2:04:54 | いただいてということだと思います。   |
| 2:04:58 | 明日。はい。じゃあお願いします。はい。与儀さん、ございます。はい。今おっしゃっていただいたように  |
| 2:05:04 | 私のイメージも、それぞれの図で何を説明するかまずそもそもどういう観点で説明をしないといけないと思ってるか、それに必要な図面が何                                       |

|         |  |
|---------|--|
|         | か、それに対してどういうところを説明してるんだっていうのがそれぞれちゃんと繋がりを持ってわかるように、  |
| 2:05:18 | 資料の形態にしないといけないという認識もありますので、最終的にそういう形にさせていただきます。はい。   |
| 2:05:26 | はい。規制庁土肥です。今、議論があったように多分、それぞれのページ途中途中に区切りがあるのは何となくイメージはわかるんですけどそれじゃ書いてないところなのでそこもわかるようにしていただきつつだと思っんですけど。  |
| 2:05:37 | これちなみに今は二次のネットのところだけが来たんですけど最初の設備いっぱいいると思っんですけど、こいつが出てくるのに2週間までかかった気がするんですけど、  |
| 2:05:47 | 進捗というか今後のスケジュールはどのように、   |
| 2:05:50 | はい、乳井仁科でございますそれちゃんとスケジュールとしてご説明をさせていただきます。これ予備時間がかかったのが一番これが複雑だったからという。  |
| 2:06:00 | 理由でもありますからそれも完成してないという現状なので、全体として、他がこれほど複雑ではないということも考えた上で、どのぐらいのスパンでどういう資料が出せるかっていうのは、   |
| 2:06:13 | スケジュールとして、ご提示させていただきます。以上です。   |
| 2:06:18 | はい。規制庁谷ですカミデも言いましたけど一発目でいきなり全部完成するっていうもんじゃなくどんどん追加するものは増えていくと思っんですけど、ただスタートラインが余りに低すぎる等、改善するのも全部言わなきゃいけなかったりするんで一定のラインの分を出していただいたほうがいいと思うのでまたスケジュールを示していただけるようなことなんでしょうしくお願いします。 |
| 2:06:38 | 規制庁側からこの資料については、はい、お願いします。   |
| 2:06:41 | コサクですすみません、何でこの資料作ってんだっていうことがあって、なんですけど、   |
| 2:06:51 | 特にポイントになりそうなのわあ、   |
| 2:06:56 | 13ページとか、その周辺の資料を見ると、建屋との関係性があるってということで   |
| 2:07:07 | 大分   |

|         |  |
|---------|--|
| 2:07:08 | 第1回と大分違うというようなことがあるんだと思います。で、この辺りを、  |
| 2:07:14 | どう説明していくつもりなのかっていうその、  |
| 2:07:19 | ここはなんでしょうかね、イレギュラーな特別な補足説明資料な感じなんですけど、本来どういうふうにし、本来というか、申請書でどう整理をしてい。                          |
| 2:07:31 | いるか、いくか。   |
| 2:07:35 | ヒアリングでどう説明していくつもりかと。   |
| 2:07:39 | というような古藤。  |
| 2:07:41 | もう少し資料に入れといてもらおうと、これがこっちの添付資料このヒアリングでフォローしその上で、こっちのって具体的には耐震の                                  |
| 2:07:53 | この資料でヒアリングはこういうふうにと。   |
| 2:07:57 | ということがわかるかなと思うんですけど。   |
| 2:08:00 | いいですかね。  |
| 2:08:03 | はい、乳井上西様でございます。私の理解が間違ってるかもしれない。私の認識を説明させていただきます。  |
| 2:08:11 | おっしゃっていただいたようにこのネット、建物が不安にあたり、地下でいろんな構造物が錯綜していきたいということで、例えば耐震評価をするなどの評価の方法に紐づけて評価をするのか。        |
| 2:08:25 | その分類額にはまること方、あと正しいのかどうかっていうのも含めて構造とのリンクになると思うので、それが正しく前回も                                      |
| 2:08:36 | 設備の構造のものについては、2-1の構造を説明します。ただ2-2のことも考えて、2-1の構造を説明しますと言ったらまさしくその点だと思ってます。                       |
| 2:08:46 | これは耐震だけじゃなくて竜巻はとか他の条文での説明の時にその建物との関係をどういうふうに、  |
| 2:08:53 | 分類額で、どの評価方法の中に入れて説明しようとしてるのかというところがわかるような、整理をさせていただきたいというふうに認識をしております。以上です。                    |
| 2:09:07 | はい、古作です。わかりました。そこも、そのあたりも含めて一度そのサンプル作っていただかないと先ほど田尻が言ったようにですね、どんどん展開しちゃうと、全部反映しなきゃいけないとかになると思い |
| 2:09:20 | ますので、よろしく申し上げます。以上です。  |

|         |  |
|---------|--|
| 2:09:26 | 西原でございます。はい。   |
| 2:09:28 | 先ほどのスケジュールを示す時にはまず、この自形なり時点で、ちゃんとした資料に形成して、それをこの後、他に警戒するみたいなことがあったらわかるように、 |
| 2:09:39 | させていただきたいと思います。以上です。   |
| 2:09:43 | コサクですすみません以上と言いながら、1点忘れしました。今の税点は、もうまずってということなんですけど、                       |
| 2:09:51 | 飛来物防護ネットはそれぞれ特徴がある感じなので、何となく一通りやるのかなって気はするんですけど。                           |
| 2:10:01 | 他はどこまでやるのっていう脳のイメージは何かありますか。   |
| 2:10:09 | 日本原燃社でございます構造違いとか何とかあるなし含めて構造の説明は、   |
| 2:10:17 | 一通り、   |
| 2:10:19 | やるんじゃないかな。それが、ただ、これとこれは一緒に説明できますよ、同じような形態ですみたいなものを意識しながら資料形態としては作っていくのかな。  |
| 2:10:30 | というのが、私としての認識でした。天田さんが全部やるっていうのが前提で、やり方はもうちょっと工夫が必要かと思ってました。はい。            |
| 2:10:41 | 古作です。全部やるっていうのが、何か変なふうに、   |
| 2:10:48 | やみくもに資料ガンガン作ってこちらは見れない物量感送られてくるっていうのを懸念しているので、工夫と言われましたけど、必要なものを、          |
| 2:11:01 | 作成するということで話を定義進めていただければと思います。  |
| 2:11:07 | はい、与儀瀬谷でございます。承知いたしました。  |
| 2:11:12 | あ、カミデです。それで言うと、  |
| 2:11:16 | 9、おっきく来ると冷却塔系とあと建物について分系があって、社会等もありますけど、齋藤はどっちかっていうと冷却塔の方の                 |
| 2:11:29 | 構造が複雑なパターンという感じなんで、  |
| 2:11:33 | 建屋の屋上についてるものも、   |
| 2:11:39 | サンプルに加えられるのであれば、そのように並みぐらいで進めてもらえるといいんじゃないかなと思います。                         |
| 2:11:49 | はい。日本原燃志田でございます。はい。ありがとうございます。今いただいたのも含めて、                                 |

|         |   |
|---------|---|
| 2:11:55 | 全体スキーム含めて整理させていただきます。   |
| 2:12:01 | はい。規制庁田尻です。藤ほか規制庁が元が何か確認した意見とありますでしょうか。                       |
| 2:12:10 | なさそうなんで。  |
| 2:12:12 | これで本日のヒアリングを終了したいと思います。                                       |
| 0:00:02 | 原子力規制庁の竹田です。  |
| 0:00:04 | それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始いたします。                               |
| 0:00:09 | 本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認申請について、提出があった資料を基に事実確認を行うものになります。 |
| 0:00:19 | まず規制庁側の出席者を紹介いたします。   |
| 0:00:23 | 本庁側からは竹田が出席しております。  |
| 0:00:26 | ウェブからの参加が、  |
| 0:00:29 | コサク、  |
| 0:00:30 | フジワラ、   |
| 0:00:33 | タジリ、  |
| 0:00:34 | タカナシ、   |
| 0:00:36 | キシノ、  |
| 0:00:37 | カミデ、  |
| 0:00:38 | 以上になります。  |
| 0:00:40 | それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、出席者の役割がわかるように紹介をお願いいたします。                 |
| 0:00:47 | そして資料の構成と達成目標等について説明をお願いいたします。                                |
| 0:00:54 | はい。門田事務局中浜でございます。   |
| 0:00:58 | 日本右側の出席者を紹介いたします。   |
| 0:01:03 | 耐震建物08個別の直接の資料関係でございますが、                                      |
| 0:01:09 | まとめ責任者としてマツモト、  |
| 0:01:11 | 説明者といたしまして、鳥羽氏、長谷の  |
| 0:01:16 | いろんな、あと電力支援という形で関西電力様より、秋田様、メーカー支援ということで、東電設計様より、吉田様。         |
| 0:01:27 | 江森様。  |
| 0:01:29 | 仲田瀬間。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:01:30 | 以上が参加されます。あと、耐震計算書の修正対応につきましてという資料、ご説明差し上げますけれども、こちらの方につきましては説明書といたしまして、   |
| 0:01:46 | はホシノキクチ。   |
| 0:01:49 | 最後に、耐震計算に関する他条文要求との対応関係の整理というものを<br>ご説明差し上げますけれども、こちらの方につきましてはシミズ、   |
| 0:02:00 | 説明担当とさせていただきます。  |
| 0:02:04 | あと3ヶ所でございますけど事務局といたしまして、サトウイシハラタ<br>カハシ時のナカハマ以上となります。  |
| 0:02:14 | 本日ご確認いただきます資料でございますけれども、先ほど申し上げま<br>した、耐震建物08、地震応答解析に用いる地盤モデル及び  |
| 0:02:25 | 地盤物性値の設定についてという資料と、  |
| 0:02:29 | そう承認集。   |
| 0:02:32 | 骨格でいただきました、耐震計算書の修正対応についてと。  |
| 0:02:36 | 改訂版  |
| 0:02:38 | それ並びに耐震計算に関する他条文要求とその対応関係が整理と。   |
| 0:02:44 | 三つの資料のご確認をいただく予定となっております。  |
| 0:02:48 | それでは耐震建物08の方から説明を差し上げます。   |
| 0:02:56 | 田井委員トガシでございます先ほど事務局の方からご説明しましたけど<br>も基本的に資料番号といたしまして耐震建物寺町こちらR15、  |
| 0:03:06 | 質疑といたしましては令和5年の1月13日の資料になってございま<br>す。こちらの方の資料の位置付けといたしましては第1回目の方でご説<br>明しておりました地盤モデル関係の補足説明資料、                     |
| 0:03:19 | こちらの方に第2回申請のものを付け加えたという形の方で、⑮という<br>ような形の方で補足説明資料として提出の方さしていただいているもの<br>になってございます。                                 |
| 0:03:30 | 第1回のおきましてもこちらの方第2回の方の位置付けといったと<br>ころのイントロダクションの方を設けてございまして、そちらの方に今<br>回といたしましては追記するような形の方で資料としましては作成の方<br>をしております。 |
| 0:03:45 | 具体的にいきますとまず、1回変更してる箇所に関しましては下のとこ<br>ろのアンダーラインの豊富さしていただきまして、二階の部分といたし   |

|         |   |
|---------|---|
|         | まして追記させていただいたどのようなところをわかるような形の方で、資料の方は作成させていただいてございます。  |
| 0:04:00 | その上で本文といたしましては、ページといたしまして、14 ページ目でございますけども、   |
| 0:04:09 | こちらの、   |
| 0:04:11 | ごめんなさい、16 で5 サトウ 46 ですね。  |
| 0:04:18 | 16 ページ目の方にこちらの方が第 2 回申請以降という形のところで今回の申請段階におきまして第 2 回のところでの実施の内容といったところを規制記載させていただいているところでございますけども、          |
| 0:04:30 | そちらの方に今回の地盤モデルでの作成結果といったところをベースに追記するような形の方で、資料の方としては本文事項として記載してございます。                                       |
| 0:04:39 | その上で実際に検討した中身につきましては、ページめくっていただきまして、  |
| 0:04:46 | 18 ページ目の方に全体の目次構成つけてございますけども、   |
| 0:04:50 | 別紙関係といたしまして別紙 1、別紙 1-2 といった部分でこちらの方が第 1 回の方で個別建屋に関して、説明している事項になってございます。そちらの方に、別紙の石野さんという形の方で第 2 回で施行いたしました。 |
| 0:05:05 | 地盤モデルの設定といったところを別紙の 1-3 という形の方で、追加するというような形の方で資料の方は構成してございます。   |
| 0:05:15 | 具体的なですね中身に関しましては補足説明資料を提示させていただいてございますけども簡単な中身という形のところでご紹介の方をさせていただきたいというふうにござ思っております。                      |
| 0:05:27 | 第 2 回申請におきましては基本的に耐震性でもご説明している事項でございますけども基本的地盤モデルの基本方針でございます。敷地全体の地下構造を踏まえまして、対象となります建物構築物の直下周辺の地質速度構造の     |
| 0:05:43 | しっかりとその特徴を踏まえた上で地盤モデルを設定していくといったこちらの方のコンセプトに基づきまして、第 1 回程度私の方で検討を進めて参りました。具体的な検討といたしましては、                   |
| 0:05:55 | 59 ページ目お願いいたします。  |



|         |  |
|---------|--|
| 0:06:01 | 59 ページ目の方には示してございますけども敷地全体の地下構造といったところをまず最初とらえていくといったところで、敷地近傍敷地内のですね地下構造の整理から始まりまして、              |
| 0:06:13 | こちらの方で示してございます地盤の速度構造に着眼した整理といたしまして、岩盤分類図というものに基づきまして敷地内の岩盤の構成といったところを整理を実施いたしました。                 |
| 0:06:25 | その上で、岩盤分類図に基づきます、二次元のモデルのほうを作成いたしまして、こちらの方で今回対象となって参ります敷地全体の地下構造といったものをしたモデルというものを施工した上で、建物構築物の直下の |
| 0:06:41 | 地質速度構造を把握するといったところを実施してございます。そちらの方の内容の確認といたしましては、各建物の地下構造のデータの整理から始まりまして、振動特性の把握といったところでも、         |
| 0:06:56 | はい、古作です。赤嶺さん申し訳ないです。何か、第1回の説明を繰り返してもしょうがないような気がするんですけど、何を説明してもらいたいか、言っちゃったほうがいいかなと思います             |
| 0:07:16 | お願いいたします。  |
| 0:07:18 | カミデです。   |
| 0:07:20 | とりあえずはサラッと今日かなと思っていたんですけど、今の話も第1回との話とはちょっと地形上が違っててってことです。  |
| 0:07:32 | はい。今回見通しでございまして今回敷地の第2回目になりますと対象施設といったところが複数に渡ってくるといったところもございまして、                                  |
| 0:07:43 | その敷地全体の特徴といったところを今一度ですねきちんと整理するといったところから始まってきているといったところを少しご紹介したくて、お話をさせていただいているところでございます。          |
| 0:07:54 | はい、規制庁紙、あ、どうぞ。すいませんコサクです。  |
| 0:07:59 | 曾田とすると私の理解力が足りないということだとは思いますが、   |
| 0:08:05 | カミデさんが聞いていて、   |
| 0:08:08 | 1階1階と二階の違いというか今回、  |
| 0:08:12 | 特に気をつけたことってのは聞き取れる状況ですか。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:08:17 | 赤嶺さんそれを言おうと思っていてその辺りの違いをちゃんとポイントポイントとして説明して欲しいことは第1回と何が違うのかっていうところなんで、その辺りわかるように、全体どんな考えで、   |
| 0:08:32 | やってきたのかっていうのを説明してもらえればと思ってました。   |
| 0:08:36 | 古作です。そうそうしていただけると私も理解できるかなと思いますので、のんびんだらりんとやってることを説明するのじゃなくて、ポイントを、  |
| 0:08:47 | 明確にしてください。   |
| 0:08:49 | よろしくお願いします。  |
| 0:08:53 | はい。委員戸田氏でございますすみませんちょっと説明の方針が申し上げたでした。第1回目のものでしましてはMOX建屋と4といったところがございまして基本的には直下のデータといったところを踏まえたところで作成している。今回に於いても直下の地盤のデータを作成していくといった、 |
| 0:09:13 | この考え方のコンセプトは一緒になってございます。ただし範囲が広いといったところもございましてそちらの方に関しましては、今回、もう一度ですね敷地全体の   |
| 0:09:24 | 特徴を踏まえた、こちらに示します岩盤レイズといったところで敷地の前で特徴のものをですねしっかりと作成した上で、そこから各建屋のですね直下のDたといったところがどうなっているのかっていったところを再整理していったといったところが、                     |
| 0:09:39 | もう少し第2回のところで我々の方として気をつけた、気をつけて実施した事項になってございます。   |
| 0:09:45 | その上で、こちらの方の図で示しております。この岩盤分類図と言われるものからですね、各建屋直下の情報といったところのデータ地質構造の整理であったり、音の伝達、   |
| 0:09:58 | 等と診療特性の経営傾向という意味合いのところ、伝達関数というところですね各地盤、建屋直下の応答特性といったところを一つ一つ整理していたといったところでございます。  |
| 0:10:10 | 浅野舞子すみません、古作です。申し訳ない。  |
| 0:10:15 | このページわあ、作業プロセス全体を説明してこの後   |
| 0:10:20 | それぞれのプロセスについての詳細を説明するというところの概要という、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:10:27 | す。今の説明の段階なんですかね。  |
| 0:10:31 | やはり、宮内でございます。最初のまずアプローチの部分といったところで、個別の直下のとりあえずの整理の仕方っていったところをちょっとこちらのページの方で紹介させていただいて、                                |
| 0:10:43 | その上で各建屋直下での応答傾向がどうなってるかっていったところをですね、  |
| 0:10:49 | 101 ページ目以降から、実際には 50 ページ目から始まりますけども、そちらの方から   |
| 0:10:59 | 協議した結果、すいません。すいません。   |
| 0:11:04 | あ、すいませんカミデですけど、端的に今の質問に対しては違いますんですよ。  |
| 0:11:09 | 全体プロセスは 25 ページにあって、そのうちの今説明しようとした 3 ポツ 2 とか 3 ポツの入口ぐらいの話で部分的なところを一生懸命説明してました。   |
| 0:11:22 | ですから、   |
| 0:11:23 | とりあえず、25 ページで、全体どんなことをやりましたかっていうところをまず説明してもらえればいいかなと思います。   |
| 0:11:35 | はい、土橋でございます。すいません。ちょっと、   |
| 0:11:39 | 具体的なものを示しながら説明した方がいいかなと思ましてちょっと全体像といったところの御説明というような配慮をかけてました。藤木氏、ご指摘していただいた通りでございまして、実際に運転の流れといった小職長の方に 15 ページで示している。 |
| 0:11:53 | フロー図の関係になってございます。先ほど私の方が申し上げていたところといったところが産物の中身のところで、各建物の直下の地質構造の整理といったところに着眼点でやってきたのかといったところを示しているものになってございます。       |
| 0:12:07 | こちらの方で各建屋の直下の振動特性なりし、整理した上でですね、ドローンなんていったところがその振動特性成長としてですね、整理した上でその結果としまして、  |
| 0:12:21 | 地震の特性等を見ていくとですねあるエリア単位でですねやはり同じような振動特性になっているといったところが確認できて参りましたので、そちらの方の範囲に関しましては、                                     |

|         |  |
|---------|--|
| 0:12:32 | 同じような、一番構成として取り扱うといったところでこちらのほうにポツ2以降のところ、1度その地盤状況といったところを等価なですね1次元モデルに作成するといったところを及ぼす内容で示してございます。   |
| 0:12:45 | その上でですね4ポツの2を、都築後藤さんの方がですね、こちらの方は各エリア単位でとられた物性データに基づいて等価の1次元のモデルを作成していくといったところの、何かのところを説明してる内容になってございまして、実際的なやり方としましては第1回のボックスです。ね実施した内容に基づいて、その |
| 0:13:06 | 1次元の確井モデルの方で作成しているといったところでございます。   |
| 0:13:10 | 最終的にですね作成したモデルといったところが、やはり平和であった部分での10日の一次元の棟に行き、置き換えているといったところがございますのでそちらの方に対しましては、   |
| 0:13:22 | 先ほどの3ポツの3で作っておりますその敷地の岩盤分類図の方から、基づいて作られている、その対応関係といったところで、実際に作られているモデルといったところが、  |
| 0:13:35 | その敷地を、全体ですね動特性をちゃんと反映できてるかっていったところの確認を実施した上で最終的に作られたモデルといったところが、   |
| 0:13:45 | 記事がおっしゃった物直下の応答特性を踏まえたものやっているとところを確認して、今回、積を地震動としてS、   |
| 0:13:54 | 入力信号の策定に用いる地盤モデルとして使用しているといったところで、整理を実施しているといったところが全体的な流れになってございます。以上でございます。   |
| 0:14:03 | 規制庁深見です。   |
| 0:14:08 | 今の説明だとまたMOXとの中差分ってというのが抜けちゃったんですけどとりあえず、   |
| 0:14:14 | 我々も紙を読んでてこういうことだろうなとは思っているところがあるんで、  |
| 0:14:20 | ちょっと確認していきたいと思いますがちょっと意向を岸野さん、進めてもらえますか、ちょっと大変だと思いますけど。  |
| 0:14:29 | 既設のキシノ。  |
| 0:14:30 | 以降はですね、確認事項私の方からも一括して、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:14:34 | 出したいと思います。事業者とのやりとりにおいて、規制庁側から追加の質問ですとか、或いは補足とかありましたらですね、適宜、コメントを出していただければと思いますのでよろしくお願いします。 |
| 0:14:48 | まずですね、事業者のこの今回の考え方、ロジック。   |
| 0:14:54 | なんですけど、これが、それを二名とくにはされていないと思います。先ほど 25 ページを使って全体の流れのご説明ありましたけれども、                            |
| 0:15:04 | まず事業者の考えというロジックはどういうものなのかということについてお互いの認識を合わせたいと思っています。                                       |
| 0:15:12 | その次、明確になったこの考え方、ロジックの  |
| 0:15:18 | 段階ごとにですね、疑問点や追加のデータが必要な部分等について確認すると、そういう、順を追ってやっていきたいと思いますが、事業者の方大丈夫ですか。                     |
| 0:15:29 | はい。よろしゅうございます横尾いたしましてよろしくお願いいたします。   |
| 0:15:35 | 規制庁の岸野です。はい。   |
| 0:15:36 | それではまず、25 ページの   |
| 0:15:39 | 次。   |
| 0:15:41 | フローに基づいて、労働人口を明らかに   |
| 0:15:44 | してるんですけども、   |
| 0:15:45 | 本当、先ほどご説明がありましたけれども、   |
| 0:15:49 | ルールを見る限りですね、やったことを並び立てているだけであって、   |
| 0:15:54 | どういう考え目的意識で、それぞれの検討をして、  |
| 0:15:58 | 何を根拠にそのプラザの目的を果たしたと考えているのか。  |
| 0:16:03 | それぞれの検討項目はどういう関係なのかというのが、  |
| 0:16:07 | おのずから理解できない状況になっています。  |
| 0:16:11 | この点は、次回の会合の説明でも重要になってきますので、しっかりと整理をして欲しいと考えています。   |
| 0:16:19 | まず、  |
| 0:16:20 | 今日はですね、今回の検討の全体の目的、  |
| 0:16:26 | その後、どういう目的で、   |
| 0:16:29 | 3 ポツ 13 ポツに 3 ポツ 3 の検討をしたのか。   |
| 0:16:34 | それぞれでどういう結論や懸念材料を入れたのか。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:16:38 | 4 ポツでは、3 ポツの懸念材料を解消するためにどういう検討をして、<br>どういう結果がえられた。   |
| 0:16:46 | で、最後に結論として、目的を達成したことをどう判断したのかとい<br>う、  |
| 0:16:52 | 説明をしていただきたいと思うんですが、  |
| 0:16:56 | 今日、口頭で結構ですので、今言ったようなことを説明をしていただき<br>たいと思います。   |
| 0:17:03 | まず全体の目的からのご説明をお願いしますでしょうか。   |
| 0:17:12 | 有井土橋でございます具体的な目的といたしましてはやはり地盤モデル<br>の基本方針となってくる敷地全体の地下構造を踏まえて、   |
| 0:17:22 | 建物の直下と周辺地盤の速度構造をしっかりととらえた違うモデル作成<br>していくといったところが基本的な考え方だというふうに思っていますので、こちらの考え方を整理していく上で、まず最初にやらないとい<br>けないのはやはり地区、 |
| 0:17:39 | 敷地の地下構造の整理といったところがまず最初の取りかかりだという<br>ふうに考えてございます。そういった意味で3 ポツ 1 から始まる部分<br>で、敷地全体の地下構造が実際どうなっているのか。                 |
| 0:17:52 | 食堂、はい。   |
| 0:17:54 | ません。   |
| 0:17:54 | 全体の流れを、  |
| 0:17:59 | 説明   |
| 0:18:03 | した全体を、   |
| 0:18:05 | それでも   |
| 0:18:06 | 作成するという、   |
| 0:18:07 | のがその目的なのかなと思いましたが、さらに付け足すことと、  |
| 0:18:13 | 申し訳ございませんさっきおっしゃいましたおっしゃる通りでまずはそ<br>ちらの方が目的でございます。   |
| 0:18:19 | 清長です。はい、わかりました。  |
| 0:18:23 | 事業者の資料中の言葉を使えば、地盤の実態を考慮した地盤モデルを設<br>定した上で、入力地震動の算定に用いる地盤モデルを決定すると。   |
| 0:18:35 | その上で事業者としては、設計の合理化のため、   |
| 0:18:41 | という言葉が適切かどうかおいといてですね。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:18:43 | ため、地盤モデルはできるだけ共通化したいといったところまで含むのかなとも読み取ったんですが、全体の目的としてはこの理解で合ってますでしょうか。ちょっとか言い過ぎだというのであれば、訂正してください。 |
| 0:19:01 | はい。基本的には岸田さんがおっしゃっていただいたところではあると思っておりますただ最終的な合理的なものとしての   |
| 0:19:13 | エリア化みたいのところっていったところは、やはり一つ一つ整理した上での一つの結果としてもしできるといったところがあればそういったところを施工していきたいといったところですので、            |
| 0:19:26 | こちらの方が最初、すいません。はい。はい。コサクです。今のぼやかした言い方をやめて欲しいってということだと思っておりますけど。                                     |
| 0:19:37 | 直下を使うっていうんだったらその合理化だなんだって出てこないわけで、  |
| 0:19:43 | なんでそういうことやってんですか。   |
| 0:19:46 | ていうことだと思っておりますけど、そのあたりは、まだ整理できてないってということですか。  |
| 0:19:53 | 第1回でも何か議論してたような気がするんですけど。   |
| 0:19:57 | 図面トガシでございますすみません  |
| 0:20:02 | マニュアルでも、物を言ったような言い方で申しわけ最終的にやはり   |
| 0:20:09 | 後でたところで合理的なものを作っていくといったところまで視野に置いてっていったところがこれは最初の   |
| 0:20:16 | ライン1回でお話をしていた時にも試行として、  |
| 0:20:21 | 出るといったところは記載させていただいてるところでございますのでその部分は   |
| 0:20:26 | そういったところの面倒見てるといったところで結構でございますはい。   |
| 0:20:33 | コサクです。そうです。あ、ごめんなさい、規制庁、古作です。そういったところを整理しないと、何これやってんのっていうのは、  |
| 0:20:41 | わからないってことのような気がするので、  |
| 0:20:46 | 言っただいてそれがそので、それじゃあそのために何が必要か、どの範囲をどう考えなきゃいけないのかがあってってということだと思ふ。                                     |
| 0:20:55 | ですよね。   |
| 0:20:57 | すいません。岸野さんそんな。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:20:59 | こですかね。   |
| 0:21:01 | はい。規制庁岸野です。はい。ありがとうございます。その通りです。で、ちょっと後程指摘しようかなと思ってたんですけども、本資料ですと110ページという、随分後の方にですね、      |
| 0:21:14 | 今、   |
| 0:21:16 | 言われていたような動機のようなものの説明があります。   |
| 0:21:21 | これが、本来、本来であれば施設ごとに直下の事業モデル使えばいいものを、最終的に共通のモデルを使うことを試行して行って検討していくことのそもそもの動機づけ等動機あるではないかと。   |
| 0:21:35 | いうことを、   |
| 0:21:36 | 認識して、そういったものを前段に持ってきた方がいいのではというのをですね、指摘しようと思って先ほどの質問をさせていただいた次第です。                         |
| 0:21:47 | この事業者の方も、もしそういう認識で、間違っていないのであればですね、全体目的の中にその動機としてそういった、説明を加えておいていただいた方が、                   |
| 0:21:58 | 後の説明に繋がりやすいのではないかなと思いますけれども、事業者の考え方です。   |
| 0:22:07 | はい、遠藤市でございます。正直この部分最終の冒頭になってくるか  |
| 0:22:15 | それでそういった考え方もあるよねって言ったところ遠方作ってくるかっていったところは、正直私悩んだところでございまして最終的にちょっと後ろに持ってきたというところですけども今、    |
| 0:22:27 | 古藤さん岸野さんというてさしていただいた通りが、そういった発想を持ったところでスタートしていきっていったところはございますので、その部分といったところを冒頭に持ってくるって言って、 |
| 0:22:39 | 下の方にですね第1回との違い聞いたところが明確になるようにご説明した方がよりわかりやすいというふうに思いますのでその部分はちょっと                          |
| 0:22:48 | 修正の方でですね、対応していきたいというふうに思っております。  |
| 0:22:52 | すいません。規制庁上出ですけど、今その記載をどこに持ってくるかみたいなテクニカルな話としてとらえているようですけど。                                 |
| 0:23:02 | こちらが言ってるのは、ちゃんと考えを、  |



|         |  |
|---------|--|
| 0:23:07 | 正確に示してくださいってということなんですよ。3ポツの検討も、これやっぱり最終的には合理化したいっていう頭がないとこんなことをする必要もなく、普通に直下でやります。                                   |
| 0:23:21 | いるだけですから、  |
| 0:23:24 | 何かちょっと問題を取り違えているような感じが来ますちゃんと、まずは事業者の考えをちゃんと堂々と示して欲しいというところですからよろしくお願いします。   |
| 0:23:38 | 甲斐委員、土橋でございます。はい。ご趣旨、理解いたしました事業者として持っているところといったところを  |
| 0:23:45 | 目的意識を、ところにですねしっかりと記載させていただくような形の方で、それが明確になるような形で修正したいというふうに思います。   |
| 0:23:55 | カミデです目的意識だけ、堂々と書くわけじゃなくて、他のところもちゃんと書けることを書くというふうにとらえていただければ、   |
| 0:24:05 | 良いのでよろしくお願いします。  |
| 0:24:09 | 今泉富樫でございます。承知いたしましたはい。   |
| 0:24:13 | 小阪です。すみません。ちょっと先走っちゃうような気もするんですけど。   |
| 0:24:18 | 今、岸野から指摘のあった110ページの記載と、  |
| 0:24:24 | ということが大上段でまず館方針として示されてということだと思っんですけど。  |
| 0:24:35 | 入口としてちょっと確認、   |
| 0:24:37 | 施設の状況として確認させてもらいたいんですけど、このモデルルートのエリア9ビルという話で、  |
| 0:24:46 | 家区切るといったところのそのエリアを跨ぐ設備施設っていうのは、ありやなしやという、あった場合にそれはどういうふうな扱いをするという思想のもとです。  |
| 0:25:01 | 作業されてるのかっていうのを教えていただけますか。  |
| 0:25:09 | カミデですけど、89ページの辺りとか、表示して説明してもらえれば、  |
| 0:25:21 | はい。日本原燃の岩瀬でございます。事実まず事実関係の方をお答えさせていただきます。基本的にこちら89ページの図で今赤嶺さんおっしゃっていただいた通りこちらの図でお示ししているところでございますけれども、当社の施設の中でですけれども、 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:25:35 | 東電該当するものでございます。今こちらのF-1断層のところを跨ぐようなもので、TX何とかというようなところがあったりとかあと普通断層を跨ぐところ中央西を跨ぐところで、   |
| 0:25:47 | 道路が1本通っているというようなそういったような全くものがあるというのがまず事実関係としてあるところでございます。ちょっとまずは以上でございます。   |
| 0:25:57 | はい。補足です。事実関係はわかりました後、   |
| 0:26:02 | F1B家庭や、   |
| 0:26:06 | 基礎ってか、  |
| 0:26:08 | のところろは何。  |
| 0:26:11 | 微妙に引っかかっている感じがしますが、   |
| 0:26:14 | はい。表現合わせでございますのは、まず配置関係のところ申しまして、こちらにつきましてはまずこちらの平面的な面というところでちょっとお見せしているところではございますけれども、これ他のエビデンスデータの地質断面図等見ていただければというところではあるんですが、 |
| 0:26:30 | このF1普通断層というのが力を外側というか激しい方に広がっている断層でございます、その直下でこうそういうふうになっているというものをいるというようなものではないというところでございますので、                                   |
| 0:26:42 | F案B、終わりますけれども、こちらにつきましてはこの中央地盤のエリアとしてみなすことが可能というふうに判断しているというものでございます。以上です。  |
| 0:26:51 | コサクですわかりました別の図で見ればわかるということだとは理解をしましたが、  |
| 0:26:59 | といってもう、   |
| 0:27:02 | じゃ、この隣のエリアの部分からの影響は出ないみたいな。   |
| 0:27:07 | は分析されてるんですか。  |
| 0:27:13 | はい植野土橋でございます奥さんがおっしゃる通りのようなところのご懸念の多分あるかといったところもございまして今回今回等価レベルで検討するという意味ではですね2次元のモデルなりを使ってですね、                                   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:27:28 | 部分の協議事項の中で見て参りますのでそういったものもですね、見ながらぐらいずつ作られてるモデルっていったところが、設計上作っても問題ないのかといったところも一応我々の方としましては、                                |
| 0:27:39 | 検討してきたというつもりでおります以上です。   |
| 0:27:43 | コサクですすみません、25 ページで言うとそれはどこになるんですか。   |
| 0:27:54 | 法令の話でございませすちらにつきましては 25 ページのフローでおります一番下 4 血縁のところは右側に奥津様と書いているところで設計した地盤モデルと各建物構築物直下の地下構造の比較という中で振動性状の比較というところに該当しますちょっとあの、 |
| 0:28:09 | これ先ほどもある通り、どういう目的でやっているのかというところが見えないところになってますのでわかりにくいですが、位置するところがこちらになってございます。以上です。  |
| 0:28:18 | はい。不足です。これがあれで比較する際に二次元解析をしてみたっていうことなんです。  |
| 0:28:26 | はい、植野岩瀬でございますおっしゃる通りでございます。  |
| 0:28:30 | ページとしては肥田はい。はい。以上です。   |
| 0:28:33 | コサクです。で、何でここでいいのかっていうのが疑問にあって、   |
| 0:28:39 | そもそもその 4 の先ほど紹介あった 4-1 のところで、  |
| 0:28:45 | 整理していきますというときの整理の考え方っていうのに、そもそもないといけないんじゃないかなと思っ   |
| 0:28:53 | たんですけどそのあたりは整理できてますか。  |
| 0:29:03 | コサクですけど、イオンの 4 で最終的に確認するからいいじゃないかっていう発想でいるような気がしたので、そもそも設計の考えとして、こういうようなところでき切ることは可能だという、                                  |
| 0:29:16 | 認識をしているからこそそういう作業をするんであって、それを最終確認するんだって 4-4 があると思う。  |
| 0:29:23 | たんですね。   |
| 0:29:26 | で、今整理できてないようであれば、そういうところを整理をして先ほど岸野が言った、   |
| 0:29:33 | まず入口としてせっかちと設計コンセプトを説明してくれというところに入るかと思っているので今ちょっと質問したということです。  |
| 0:29:44 | 菅結音と申します古藤さんご指摘のところで、やはり最初の地盤モデルの作成のところで見るといったところをスコープとして当てながら検討   |

|         |  |
|---------|--|
|         | していくといったところが多分目的意識があって、こういう検討をしていくといったところが、各項目のところであってしかるべきだというふうに思っていますので、                                |
| 0:30:01 | この部分今欠けていませんし、そういった部分の記載といったところが不足しておりますのでその部分は我々少し考えてるところもでございますのでその部分をしっかり記載するような私の方で展開していきたいというふうに思います。 |
| 0:30:17 | はい。補足ですよろしく申し上げます。岸野さんお返しします。  |
| 0:30:21 | 規制庁の津野です。これから整理するという事なんですけれども、ちょっとここはですね重要なところだと、先ほども言いましたけれども、ますので、                                       |
| 0:30:32 | 一つ一つですね検証、検討項目、  |
| 0:30:35 | 適当その結論といったものを確認をさせていただきたいと思っているんですけれども、  |
| 0:30:41 | 検討は、具体的な検討は26ページの3ポツ1から始まっております。   |
| 0:30:47 | まずこの3ポツ1について、  |
| 0:30:50 | 目的と結論  |
| 0:30:53 | 三つも簡単にご説明いただけますでしょうか。  |
| 0:31:03 | 日本原燃の宇野でございます。3ポツの意見につきましてはですね、先ほどから衛藤。  |
| 0:31:11 | 富樫の方からですね、話してますように今回ですね最初に施設がですね、敷地全体にわたってるということで、まずその式全体ですね、地質構造の整理ということで、                                |
| 0:31:24 | その敷地、まずは地質学的な整理方法でそのあとはですねまず工学的にどういうふうなここを見ればいいのかということで、   |
| 0:31:34 | 岩盤分類に基づいて工学的に評価する。   |
| 0:31:38 | 工学的に評価した中でですね、今回速度構造ということでございますので、そのこと速度構造につきましては、速度ですね速度構造を、二次元二次参加したものでですね、                              |
| 0:31:51 | 表現するというふうな方法をとって評価しているということでございます。   |
| 0:31:58 | 規制庁の木戸です。はい、ありがとうございます。すいません。規制庁古味です。ちょっと図とかもついてると思うんで、こういう図でこうい   |

|         |   |
|---------|---|
|         | うところを見てるんですみたいのを簡単に紹介してもらえると助かるんで、  |
| 0:32:12 | はい。日本原燃の宇野でございます。まず、27 ページを見ていただきますと、これは全体敷地全体の地質でございます。当該地点ですねこの真ん中にそのゆるい傾斜と書いてございますけども、             |
| 0:32:25 | ここにつきましてはですね F D K 藤井断層というものでですね、この敷地が切られてまして、概ね 1010° ぐらいのですねゆるい傾斜を持ってて終局はしていないというのが全体的な構造でございます。    |
| 0:32:38 | で、29 ページ。   |
| 0:32:41 | 29 ページをですね、見ていただきますと、この敷地に対してですね、ここにこの点で書いてございますけども、全部でですね 462 行のですねボーリング調査をいたしまして、そのボーリング調査からですね敷地の、 |
| 0:32:55 | 地質状態というものを表現しております。で、その敷地の地質状況の中でですね例えば 31 ページでございますが、この敷地の中でですね F - 1 断層と F 2 断層というもので、              |
| 0:33:07 | 当該地点はですね、三つのエリアに分離されているというものをですね、示したものがこの図でございます。で、それぞれそのあとですね、                                       |
| 0:33:18 | 34 ページ 35 ページ、この辺はですね、各西東中央というふうな地盤のですね、層序がほぼ水平になってるということを示している図でございます。                               |
| 0:33:31 | ここまでが地質的な説明でございます。で、3 番目でございますが 3-2 の 30 ページ。   |
| 0:33:38 | はい。   |
| 0:33:39 | 1003 ページで一度区切っていただけます   |
| 0:33:41 | はい。   |
| 0:33:44 | 遠藤参事は以上です。よろしいですか。はい、ありがとうございます。  |
| 0:33:49 | はい。   |
| 0:33:50 | 各ページの詳細のご説明をいただきまして、内容も合わせて理解ができたところですけども、一応ここで散髪 1 の中での  |
| 0:34:00 | 結論を言うならば、中ほどに言われた、敷地全体を少なくとも 3 区分ぐらいには、大まかに構造が分かれていることがわかったっていう。                                      |
| 0:34:10 | ことが、ここでの結論というふうに理解していますでしょうか。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:34:15 | 日本原燃の宇野でございます。す。今の木曾さんがおっしゃられたように30番に分かれて、それぞれがですね、層序的には緩やかに、水平成層に近い形で堆積してるということでございます。  |
| 0:34:30 | 成長市場です。はい、わかりましたありがとうございます。  |
| 0:34:35 | そのポツ1について、何かあります。  |
| 0:34:41 | よろしければ、ちょっと順を追ってですね、3ポツ2以降についても確認をしていきたいと思っておりますけども、                                     |
| 0:34:47 | 次の3ポツに、38ページになりますけれども、   |
| 0:34:52 | ここでの目的と、   |
| 0:34:56 | について簡単です。  |
| 0:34:59 | はい。日本原燃の尾野でございます。3-2はですね、当該地点の今まで地質状況を3-1で示しましたけども、それを我々が工学的にどういうふうにするか評価すればいいのか、これ      |
| 0:35:12 | 基礎地盤安定の時からですね実施しておる子いることでございますけども、何案の場合にはですね、ここに書いてございますでございますJ E A Gの4601-1987の方にですね、   |
| 0:35:23 | 岩盤分類にすべきであるというのは、南岸の場合は亀裂が少なくですね岩石の構造に物性が支配されるということで、工学的な性質につきましては岩盤ホールまでしなさいよと。         |
| 0:35:37 | いうふうなことで、我々基礎地盤安定の時にですね岩盤分類を行っております。先ほどの3-1で示したのは地質図でございますが、それは年代的に上層多賀奥上層中層下層わけでございますが、 |
| 0:35:50 | その中でもですね我々は、工学的な性質というものを利用しますので、それをどういうふうにするかということ、岩盤分類をしたというのが、3-2のところでございます。           |
| 0:36:02 | 3-2でですね、岩盤交流を行いまして、例えばですね42ページ、  |
| 0:36:10 | からでございますけども、岩盤分類これが実際に工学的な分類の方法ですけども、代表的な断面につきまして岩盤分類を行いまして、                             |
| 0:36:20 | この岩盤分類に基づきまして、我々は  |
| 0:36:26 | 基礎地盤の安定性評価でですねこの47ページに書いてございますようなG0分布というものをですね、この時に示させていただきましてこの辺のところを、                  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:36:39 | 事業許可申請書の方ですね、字で示させていただいてます。これに基づきましてですね、速度構造というものを工学的に評価するというの<br>が、  |
| 0:36:52 | 55 ページでございます。   |
| 0:36:54 | これがですね先ほどのジーゼル分布からVsを逆算いたしまして、速度<br>構造を代表断面で書いたものが、この55 ページからになります。この<br>55 ページを、   |
| 0:37:06 | 見ますと、これ速度構造ごとにですね、西野分校といますか関通り晴<br>嵐市の七つですね分類に分けてまして、その分類を分けたときにです<br>ね速度構造が、   |
| 0:37:20 | 各断面でどのようになっているかというのを示したものです。ここでは<br>ですね、速度構造的に、三つですね先ほどのエリアというものがです<br>ね、ほぼ水平成層の速度構造を持っているというものを示したものでご<br>ざいます。          |
| 0:37:34 | で、それから3-3につきましては、それらもですね各エリアにつつま<br>して、その振動特性村長どういものです。   |
| 0:37:44 | 3 ポツで区切っていただきたいんです。   |
| 0:37:47 | すいません。はい、御説明。   |
| 0:37:50 | でよろしかったですかね。  |
| 0:37:52 | はい。理解しましたそれで、3 ポツ目から、わかったことをすいません<br>最後の方はちょっと聞き漏らしたかもしれませんが、速度構造の観点<br>で、概ね水平成層であることが確認できたというのが3 ポツの結論とい<br>うことでよろしいですか。 |
| 0:38:08 | 日本原燃の場でございます。   |
| 0:38:10 | 3-2 は、速度構造我々が言う工学的な判断からしてもですね、水平成層<br>になってるということで、3-1 の地質構造 3-2 の速度構造から、  |
| 0:38:21 | 当該期間は3 エリアに分割することですね、ほぼ水平成層な速度構造<br>を有しているということをここで確認したというのが、ここまでの  |
| 0:38:31 | 説明でございます。   |
| 0:38:33 | 瀬野桐生です。はい。わかりました。ありがとうございます。  |
| 0:38:38 | よろしければ、湯浅さんの確認をしたいと思いますけどね。   |
| 0:38:42 | 17 ページの3 ポツ3、こちらについても同様の説明をしていただけます<br>でしょうか。   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:38:48 | はい。日本原燃のオガセでございます酸欠者以降につきましては、先ほどのようにウノの方でご説明をさせていただきました。いろいろな敷地全体の地質構造ですとか速度構造そういったところも踏まえて、確認というところになってございました。                                   |
| 0:39:02 | ここから先はですね、各建屋個別の結果のところで見えたらどうなるかという観点での検討となります。先ほどのご説明の通り、上のところが水平成層性とかを確認したいんですが、各建屋直下で見たときに果たしてどれぐらいの差が本当にあるのかというところについてももし細かく分析をしたというところでございます。 |
| 0:39:21 | その関連につきましては59ページの図でお示ししております先ほどの冒頭説明の際にもお見せしてございましたけれども、まず二次元地盤モデルというものをまず作りますというところ、こちらにつきましては、すいません、規制庁もう94ページぐらいまで飛んじやっても、                      |
| 0:39:39 | どうぞよろしいですか施工会社じゃない。どうした整理をしたのかというところでございますけれども、93ページとかにあります通り、手当ファクターとは個別結果のところの、  |
| 0:39:49 | 地下構造というところを抽出してみた上で、最終的には軽部さんおっしゃった94ページにありますような振動特性までの比較としまして、扱う数を確認しまして、十分に同じとみなせるというふうにこちらの方は判断して、  |
| 0:40:03 | こちら整理したというところでございます。また資料としてはこちらに、  |
| 0:40:07 | 地質構造等につきまして、多少の違いがあるのこれだけ伝達関数が一緒だった考察等そういったところを記載しているところでございます。簡単でございますけれどもこちらは以上です。   |
| 0:40:20 | はい。規制庁の岸野です。ご説明ありがとうございます。わかりました。3ポツ13ポツ2で、3エリアに動きます。  |
| 0:40:31 | 結論も出た。   |
| 0:40:33 | で、3ポツ3では、二次元、  |
| 0:40:36 | 直下の性状も、  |
| 0:40:38 | こういう観点から見たけど十分同じとみなせると判断できたという。  |
| 0:40:43 | で、   |



|         |  |
|---------|--|
| 0:40:44 | これはもう少し先の出ると、共通したモデルであって、地盤の実態を考慮した地盤モデルといえる見通しがついたとか、   |
| 0:40:56 | そういったところまで、イエスを、   |
| 0:41:01 | という理解でよろしいですか。   |
| 0:41:04 | 規制庁の石井です。誘導してるつもりは全くなくてですね、こういうふうに読めばいいのかなということで例示しているだけですので、事業者の考えを   |
| 0:41:14 | 教えていただければと思いますが、今、今言ったような感じでしょうか。  |
| 0:41:20 | ドルで合わせてございます。大変申し訳ございません。ちょっと肝心の鉄塔から聞き取れなくてですね   |
| 0:41:26 | 扱う数が一緒だからどう伺えればというところがちょっと聞き取れませんでした申し訳ございませんがちょっともう一度ご発言いただきます。すいません。補足です。  |
| 0:41:37 | 須永が言ったのは、皆さんが結論、この部分での結論と思ってるのはこういうことかって聞いただけなので、こういうことかっていうのはこちらの想像でしかないからあまり聞き返してもしょうがないので、  |
| 0:41:50 | そちらの結論をまず行っていた   |
| 0:41:52 | やはり日本原燃の大橋でございますこちらのお金を移しております 94 ページのような結果を見まして、いわゆるこちらのエリアにおきましては、同じ振動特性を考慮することが可能で、同じ地盤モデル一つの地盤モデルをこの議論の中で考慮することが可能であろうというふうに判断をしたところでございます。以上です。 |
| 0:42:12 | 規制庁の岸野です。えっと、聞こえます。  |
| 0:42:15 | 安保委員の話で聞こえます。  |
| 0:42:17 | はい。  |
| 0:42:18 | 衛藤。はい。結論はそういうことかということで、理解しました。で、その結論からおそらく次の4ポツに繋がるわけなんですけど、今の結論だともうそこで完結したようにも聞こえてしまうんですが、  |
| 0:42:31 | 4ポツに繋がる上でのその結論ないし懸念材料みたいなもの  |
| 0:42:37 | といったものがあるのかなと思ったんですがそこら辺は、   |
| 0:42:41 | 特に認識はされてないということでしょう。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:42:44 | 日本原燃の日本原燃の佐瀬でございます。最終的には先ほど有馬菅野3号と比較をしているところがありますがその目的にもなると思うんですが、こちら側の伝達関数につきまして我々同じとみなせるといふふうに判断をしたというところでございますが、 |
| 0:43:00 | こちらのグラフに基づいてもある意味見た目とかあと地質構造速度構造そういったものが見ても、科学的な最終的な判断としては現状としての設計判断としてやっているところでございますので、やっているところでございます。             |
| 0:43:14 | ただ一方でですね、こちら伝達関数どれぐらい見ていけば同じとみなしていかという製品は細かく明確にあるわけでもないというところもございまして、600あるんですけれどもちょっとばらつきはやっぱりあるというところではございます。      |
| 0:43:27 | これを本当に同じとして出していかというところにつきましては何かしら例えば地盤応答の比較とかそういったところでの確認の必要があるというような、そういった期限みたいなところが本当でしたらこの3鉄の最後、                 |
| 0:43:38 | 基本として出てきてそれが別に引き継がれていて、先ほど応答比較の目的がわからなくなっていたところでそういった目的は本当は記載されるべきだといふふうに今の今日の議論を踏まえましてちょっと考えたところでございました。以上です。      |
| 0:43:53 | 受注の基準です。はい。   |
| 0:43:58 | ちょっと4ポツへの繋がりという観点では、  |
| 0:44:02 | わかる   |
| 0:44:04 | うん。   |
| 0:44:04 | 四戸     ちょっと先走って4ポツの話ですと、  |
| 0:44:10 | 分布図の中では、粒度設計に用いる地盤モデルを具体的に構築していくところだと思っているのですが、   |
| 0:44:18 | 3ポツではそれができていない。   |
| 0:44:21 | 3ポツはまだその段階ではなかったのだから次の4ポツでということなのかなと思いましたがけれども、そういう観点で、3ポツ、3まで、位置付けていふのはどうなるのかといふのは、改めてご説明。                         |
| 0:44:42 | 運動してございます3月までの方でいきますと、  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:44:48 | 当初の目的でもありますけども各建物の直下っていったところがどうなってるのかっていったところの整理といったところをまず実施してみ、だからこのエリアっていったところに関しては、地盤の応答性状といったところが、   |
| 0:45:03 | 入れるとといったところで一つのエリアとしてモデル化ができるだろうとといったところでは、  |
| 0:45:11 | もう1回実施してるの3と3とといったところで各タイプの振動性状の把握の方を実施したのが3ポツ3という位置付けだというふうに思っています。   |
| 0:45:22 | 数値のキシノです。はい。4ポツに繋がる、或いは4ポツとの差分、差異という形でですねちょっと質問したつもりだったんですけども、そこはじゃあ次の4ポツ1以降ですね。   |
| 0:45:34 | 同じように説明をいただくことでちょっと明確にしていきたいと思います。   |
| 0:45:39 | 水野110ページの4ポツ1、ここで説明している内容と結論を教えてください。  |
| 0:45:49 | はい。日本原燃のオガセでございます。こちらの4ポツ1につきましては現状の資料としての書いている目的というところでのご説明になります。今まで先ほどのご指摘等の対応ご指摘のやりとりの中でもありました通り、下向いてのさらに以降のところにつきましては今回の検討の大目的とといったところになりますのでここではなくもっと上流の方に行くという |
| 0:46:09 | ところになります。その上で、今回のこちらの4対1で記載しているところにつきましては、先ほど多田氏が申し上げました通り、3別の章の中までで個別の建物にも着目した形で、   |
| 0:46:21 | これは敷地の地下構造ないし直下の地盤地下構造に基づいた応答が同じだったというところを踏まえまして、その結果として我々の設計判断として地盤モデルを一つのものにくくってもよさそうだとこのところの判断をしたというところも、   |
| 0:46:36 | 意思決定したところがかかれているところでございます。今の資料の記載としては以上です。   |
| 0:46:41 | 清町の岸野です。はい。わかりました。隠れてる以上の情報が、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:46:49 | ポツまでで3種類の共通モデルの採用のめどが立ったというふうなご趣旨なのかなというふうに理解いたしました。                      |
| 0:46:56 | 次の111ページ4ポツに、こちらの方も、説明をお願いしますでしょうか。                                       |
| 0:47:11 | 日本原燃の宇野でございます。4-2につきましてはですね、先ほどの3-13-2で、速度構造地質構造をですね見た場合に、                |
| 0:47:21 | 当該地点でですね今エリアモデルとします、25孔というものがですね、こういうふうな                                  |
| 0:47:31 | ちょっと我々で思います、妥当なサンプリングをしてるということをしてですね、ちょっとここに書かせていただいたつもりでいるんですが、          |
| 0:47:39 | 今回、採用するPS校を、のそのサンプリング理由というものをここに書かせていただきます。                               |
| 0:47:49 | 堤社長カミデです。112ページの、   |
| 0:47:53 | 赤点はこれを設計に使用するという話を言っていると、いうことと、あと後ろの速度構造の話は、これはMOXとで話をしたことの再掲だと思っていいですかね。 |
| 0:48:10 | 日本原燃の宇野でございます。今赤嶺さんのおっしゃる通りでございますはい。                                      |
| 0:48:17 | はい、どうぞ。   |
| 0:48:18 | はい。   |
| 0:48:22 | はい。   |
| 0:48:23 | 4ポツにはよろしい。  |
| 0:48:29 | はい。ここでとにかくそのPS検層データを選定してそれを用いて地盤モデルを構築するという、                              |
| 0:48:38 | 表なのかなと思いますけど、そういう理解をしておけばよろしいですか。   |
| 0:48:44 | 日本原燃の小野でございます。その以外で結構だと思います。  |
| 0:48:49 | はい。   |
| 0:48:50 | 町長の岸野です。では続きまして、113ページ、4ポツ3、こちらのほうをご説明いただきます。                             |
| 0:49:02 | あ、カミデすみませんさっきこっちの方まで話をしちゃいました4発さんは、MOXと同じかな、何か違うところあります。                  |
| 0:49:15 | 失礼しました。   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:49:16 | その下、トガシです基本的に神尾さんのおっしゃる通りでMOXと同じでございます。   |
| 0:49:24 | 清長君です。はい、わかりました。  |
| 0:49:27 | あと重複しちゃいましたので、では次、132 ページ、4 ポツ 4。   |
| 0:49:33 | こちらの方、  |
| 0:49:37 | 日本原燃のオガセでございます。こちらにつきまして 4 ポツ目のところ<br>でございますは、共同資産まで作りました 1 次元のモデル作りました<br>けれども、それを求めて、こういった思想になっているモデルかという<br>ところが下の図にある通りでございます、      |
| 0:49:51 | もちろん場面として整理いたしました作田の直下のデータも含んでいる<br>せいデータセットこれNGAのところの断面がありますが、いわゆる東<br>海の 1 次元のモデルを作り変えたというようなそういったような位置付<br>けになっているというふうに考えてございます。    |
| 0:50:04 | これはこれに対してこの上と下のモデルによって、と比較なり速度の比<br>較なりそういったところで、きちんと本当に等価のモデルができてるか<br>っていうところを確認しますというようなところの線が 4 ポツ 4 になっ<br>ております。                  |
| 0:50:17 | そのあたりも次のポツ 1 で結果の方になっていきますが、1 回ここで起<br>きる間もよろしいでしょうか。   |
| 0:50:24 | 内野キシノです。もう 4 ポツ 4 全体についてご説明いただければいい。<br>何か補足することが、  |
| 0:50:32 | はい、安保委員。  |
| 0:50:33 | はい。川瀬です。かしこまりました。では別々に具体的に比較をしてい<br>きましたというところになります。前項でご説明しますと 135 ページの<br>ところでございます。   |
| 0:50:43 | だから展開のところでお示ししております通り、2 次元の速度構造のと<br>ころというもので、前段のところでお示ししてございますが、今短尺力<br>を重ねているのが今回作りました 1 次元の地盤モデルでございますが、<br>国分座間池谷栄子さんのところでございますけれども |
| 0:51:00 | 手島衛藤金物ができているというところを速度の観点でまず上確認した<br>というところでございます。さらに、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:51:09 | その速度がA V S 辺りとかだけではなくて診療水準のホール確認を行いましようというところまでございまして、実際の地盤においても確認したというものが、118 ページ、すいません、140 ページ以降ですね。           |
| 0:51:21 | これでお示ししている通りでございまして、応答スペクトルは概ね調和的であるところで思っ、  |
| 0:51:27 | このトークイ作成いたしましたこちらの赤線ですね、作りました1次元地盤モデルが、二次元の地盤モデルIIに各建屋の直下のデータを含んだところのデータセットに基づくところ、                              |
| 0:51:38 | 比べまして等価のものができているというふうな判断をしたというところで結果までお示ししているものでございます。以上です。  |
| 0:51:46 | 清町の岸野です。はい。  |
| 0:51:50 | も強い  |
| 0:51:56 | の4ポツ4までの検討結果を踏まえて、江藤最後の結論というのが出てくる   |
| 0:52:03 | ん。   |
| 0:52:05 | こちらの方はどのようにになります結論ご説明いただけますか。  |
| 0:52:10 | はい。評議員の岩瀬でございます。これまでご説明したところのまとめで、   |
| 0:52:15 | ございますけれども、これ建屋チェッカー英語データを整理した上で、まずは、   |
| 0:52:20 | はい。そその上で我々1次元地盤モデルというものを営業課した上で作ったものでございますけれども、これも最終的にトークイになっているかというところを確認したというところが、まず上の3段落目まで開いているというところでございます。 |
| 0:52:34 | またというところを書いてあるところでございますけれども、次は151ページ以降のところでお示しております参考のところでもありますけれども、今今回こちらの図上ですね143ページぐらいからお示しているスペクトル図につきましては、  |
| 0:52:49 | 各一番のエリア内で代表施設の方でお示ししてございますけれども、室田別府の加賀齊藤といたしまして他の建屋でもきちんと確認しているというところをエビデンスとしてですね、つけているというところでございます。             |

|         |  |
|---------|--|
| 0:53:00 | 大室ですけれども例えば手話を一次固有周期なんかもちょっと入れているところがございますけれども、そういったところの同等または保守的となるっているということを確認してございますので、先ほどのチームでも我々としては問題があるものというところを確認しているというところをまとめて記載させていただいているところがございます。以上です。 |
| 0:53:20 | 成長の  |
| 0:53:29 | というのが、御説明いた。   |
| 0:53:34 | 全体、こちらはこの資料を読んで理解した。   |
| 0:53:39 | 内容とほぼ一致しているかなと。  |
| 0:53:42 | 認識図られているなというところでもありますけれども、ちょっと1通。  |
| 0:53:47 | すいませんけど戻って4ポツあたりになってしまうんですが、冒頭保坂からも指摘がありましたようにですね、4%通の検討を行うにあたっては、   |
| 0:53:58 | へえ。  |
| 0:54:00 | 同施設はどの中央なのかとかいった考え方をこの中で、検証しているというような目的もあろうかということでそういった説明が抜けていたかと思うんですけれども。  |
| 0:54:10 | それは4ポツの中で、4ポツの目的としてそういったものも含まれているという理解でよろしかった  |
| 0:54:18 | はい。日本原燃の間瀬でございます。おっしゃる通りでございます、例えば4ポツ4でやっております応答の比較とかそういったものにつきましては3ページ目での説明なんかを踏まえまして、出てくる経験というところとあれですけれども、  |
| 0:54:31 | 明らかにする必要があるというところが出てくるものでございますのでその辺は4ポツ1のところ、今回の四つの中の地盤モデルを作って、さらにはこういう用途比較までやるというところの一番最初のところに  |
| 0:54:43 | 目的のところを記載するような形で対応したいというふうに考えてございます。   |
| 0:54:49 | 院長の岸野です。はい、わかりました。今ご説明いただいた内容でもって、まず全体の目的、   |
| 0:54:57 | それと、   |

|         |  |
|---------|--|
| 0:54:58 | 何の目的で各検討をやって、どういう結論が懸念。  |
| 0:55:03 | 全部覚えたのか。   |
| 0:55:05 | それ、その懸念を解消するためにどういう検討をしてどういう結果で、   |
| 0:55:10 | そういうふうに結論として、目的が達成したことをどう判断したのかという、  |
| 0:55:16 | 御説明と各検討項目と、その繋がりといったものが、ある程度見えてきたと思うのですがけれども、ここまでの内容でちょっと不明なところまだ繋がりが見えないと思うんですね、何か確認しておきたいこと等ありましたら他の方からもお願い。 |
| 0:55:32 | 1人ですがいかがでしょうか。   |
| 0:55:34 | カミデです  |
| 0:55:36 | 注意点として、言っておきますけどキシノから理解したとか、繋がりがあつたみたいな話があるんですけどあくまでもこの資料を4、我々が読んで、  |
| 0:55:48 | こういうことを言いたいんだろうなあと思ったと、いうことを、理解と書いていますので、内容について、これでよさそうだと思っているわけでは全くなくて、今一応、                                   |
| 0:56:02 | こういう、こういうことを言ってるんですねっていうところがまた、共通認識とたつていうことなので、それに対しての議論はこれから話をしていきますからということだけお伝えしておきます。                       |
| 0:56:16 | はい、水川でございます認識いたします。はい。   |
| 0:56:19 | よろしく申し上げます。  |
| 0:56:22 | 規制庁の岸野です。はい。補足どうもありがとうございます。   |
| 0:56:25 | はい。それで、繰り返しますけれども、ここまで確認したことというのは、介護の設備、重要になってきますので、それをきちんと整理して説明できるように、                                       |
| 0:56:35 | しておいていただきたいと思いますが、四つの点よろしいですか。   |
| 0:56:40 | はい。ありがとうございます冒頭の一つの位置付けのところだというふうに思っております。架空の最初のコメントと上の部署としての目的意識のところ、   |
| 0:56:50 | 4. のところでの二次元の使い方の目的意識といったところをしっかりと記載させていただいて、その目的は何なのかってそういう達成するためにどうしているのかといったところが少し、                         |



|         |  |
|---------|--|
| 0:57:02 | 明確になるような形の方で、資料を直していきたいというふうに思っております。  |
| 0:57:08 | 清町の金です。はい。   |
| 0:57:11 | で、ロジックの整理と、もう一つ重要なのが、第1回申請との差分ということで、  |
| 0:57:20 | PA建屋が、冷却塔で実施した検討との差分がどこにあるか。   |
| 0:57:26 | その差分を設けた理由と、その妥当性の考え方といったものも、整理が必要になってきますので、その点は冒頭にですね、すでに説明があったので、  |
| 0:57:38 | ちょっとここでの説明の繰り返しを求めませんけれども、これについても当然今後説明を求めていくことになりますので、まとめておいていただきたいと思います。   |
| 0:57:48 | この辺いかがでしょうか。   |
| 0:57:51 | 多分、梅川でございますここでも少しお話しさせていただいたところで、その第1回、  |
| 0:57:58 | 局所的な一つの建物であったといったところに対して今回としましては、  |
| 0:58:04 | わかっていたところを施工しているといったところでその違いといったところの冒頭のところで見えてくるというふうに思いますのでそちらの方からどう、の体験等が何だったのかという検討を実施したといったところに繋がってくるかというふうに思っておりますのでそういったところの位置付けのところですね。 |
| 0:58:20 | 明確に資料のほうに記載させていただきたいというふうに思います。以上です。   |
| 0:58:26 | 規制庁の岸野です。はい。そうですね。   |
| 0:58:31 | そういうことねというちょっと説明の協議をお願いしたいのですけれども、この今日の資料見てもですね、この第1回の検討との差分とか理由、妥当性については、   |
| 0:58:42 | まだ確認したいこともありますので、具体は後程扱いたいと思いますので、そちらの方でいろいろとご回答いただければと思います。   |
| 0:58:52 | 後、全体を通じての大きい議論として、   |
| 0:58:56 | 見だしでいきますと3ポツ3の、伝達関数ですとか、4ポツ4で行っている研修を、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:59:05 | 設計に用いる1次元モデルではなくて、なぜ二次元モデルで実施しているのか。  |
| 0:59:11 | このテインはですね、できれば今この場で説明を聞きたいと思えますけれども、説明していただけますでしょうか。  |
| 0:59:30 | やっぱり売り飛ばしてございますまず今回二次元戻しているといったところがございますけども、基本的に最初の冒頭のところであるかと思えますけども、  |
| 0:59:41 | 今回としましてはやはりちょっと広がりを持った医療に対して、地盤モデルを設定していくといったところが、ものとしてございましたので、そういった意味でいきますと2広がりを持ったところを1次元の等価の地盤モデルに置き換えているといったところもございますので、 |
| 0:59:57 | そちらの方を確認していくというベースにおいては、やはり比較対象として広野立花ですねそのモデル化しているものとですね、比較検討した方がやはりその精度といったところで、その説明というのを、                                  |
| 1:00:13 | 合理性というところも高いだろうといったところがございましてっていう、その番場てるといったところでの比較検証として、二次元といったところを打ち出しているといったところがございます。                                     |
| 1:00:27 | 規制庁可児です。今の話は中身としては全く理解できないんですけど、ちゃんと明確にしてください。広がりを持っているからってというのが、かなり大きなキーワードらしいので、それは最初の目的だったり、背景として、                         |
| 1:00:44 | 広がりを持っているものに対してということが多分言われると思うんです。で、その上で先ほど岸野から申しましたけどちゃんと  |
| 1:00:57 | MOXの燃料加工建屋とかAB冷却塔との差分を行ってくださいねということですから9月、  |
| 1:01:06 | そうすると、別にMOXの敷地が広がりを持ってなくて、今回の申請対象が広がりを持っていたなんて全く言えないと思うんですけど、   |
| 1:01:19 | そう考えているということなんでしょうから、それもちょうんと明らかにして、自分たちの考えとして示してもらえればと思います。  |
| 1:01:31 | 関連の秋田でございましてちょっと補足させていただきます。今回はですね岩盤分類図から、もう地盤で解析等をですね参考にしながら地震応答解析や応答の性状は判断したんですが、   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:01:45 | 岩盤分類図を用いる場合はですね、あるだけを想定した場合そのなったような幅の何倍かっていうモデル範囲が決まっています。                                 |
| 1:01:54 | そういうことからすると、本当の応答値を出す場合はですね、   |
| 1:01:58 | 2次元的なモデルで、   |
| 1:02:00 | 当該建屋の応答を出すというのが基本でございます。   |
| 1:02:04 | 一方ですね今回平面的な減っているエリア内で、   |
| 1:02:08 | モデルを設定すると平均的な地盤モデル設定し減歩で設定しましたけれども、そこは直下の地盤モデルに加えて、26孔のデータを、広がりを持ったデータを、                   |
| 1:02:18 | 1次元の方に、他のものとして地下しているというものでございます。従って、その間にはですね、地盤を、バブセールから用いた二次元と、                           |
| 1:02:30 | 藤金井ヒロタニ大野第一事業部という間には、広がりを持った二次元というキーワードがございますので、それで二次元ということで、比較対象しているというものでございます。以上でございます。 |
| 1:02:44 | 規制庁カミデです。  |
| 1:02:48 | よくわからなかったです。へえ。  |
| 1:02:53 | 結局どういうことなんだろう。   |
| 1:02:55 | 2次元がふさわしいみたいなことを言っていましたけど、   |
| 1:02:59 | 設計に使ってるのは、2次元から2次元から作ったってわけじゃないですね、何か幾つか   |
| 1:03:09 | 90何ページだったから、   |
| 1:03:12 | 112ページか、112ページにある、PS検層市の平均値D1次元作りますと言っているのです、  |
| 1:03:23 | 先ほど言われた二次元のふさわしさみたいなところがあれば二次元でやったらっていう感じもするし、そもそも、  |
| 1:03:31 | 直下の物性でやればいいんじゃないかと思ってるんですけど、ちょっと言われてることがなかなか理解できないんです。                                     |
| 1:03:40 | あ、わかりましたもう一度ですね整理してご説明差し上げたいと思います。以上です。  |
| 1:03:49 | はい。規制庁管です。な。何かやっぱり目的のところなんじゃないかなっていう気はしていて、何か、先ほどの話だと結局設工認と同じモデル使いたいっていう時が強すぎてっていう気も。      |
| 1:04:02 | 辛いんですけど、そうじゃないのであれば、じゃあどう説明するのか。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:04:07 | はい。いずれにしても整理を整理してというか、  |
| 1:04:12 | ちゃんと明らかにしてくださいねと、今言われたようなことの資料にはないですからこういう考えなんですということをまず明らかにしてもらおうということが最初のステップだと思います |
| 1:04:27 | はい、湯沢でございます冒頭のところの位置付けのところだというふうに思っておりますので、そちらの方をしっかりと記載させていただきたいというふうに思います。          |
| 1:04:37 | 規制庁の岸野です。   |
| 1:04:40 | 事業者の考えは、  |
| 1:04:42 | きちんと整理していただくという、前提ですね。続きまして、このロジックの中の各段階について、順を追って疑問等ですね。                             |
| 1:04:54 | 確認させていただきたいと思っておりますけれども、  |
| 1:04:59 | はい。   |
| 1:05:00 | よろしければ、まず最初に、冒頭に確認させていただいた全体の目的、  |
| 1:05:07 | については、  |
| 1:05:09 | 右手です。   |
| 1:05:11 | 水木記者さんもある程度話ができるところは飛ばしていただいてちょっと面倒かもしれないんですけど、早速説明をしてもらえます。すみませんけど。規制庁金です。はい。すみません。  |
| 1:05:25 | あとでは個別の中身についての確認に入りたいと思い  |
| 1:05:30 | まず3ポツチ3ポツに関連で、  |
| 1:05:34 | まずは48ペイジーになるんですけども、   |
| 1:06:15 | すみません、48ページ、大丈夫です。  |
| 1:06:18 | ここで埋戻しの説明というのが出てくるんですけども、   |
| 1:06:24 | ここの見だしがですね、3ポツに岩盤分類、うん。   |
| 1:06:29 | の中の(1)建屋支持地盤の運用という、   |
| 1:06:34 | 見だしの中で、埋戻度を説明するという場所として、適当なのでしょうかとということです。  |
| 1:06:41 | 他の表層地盤として、六ヶ所層とか、資料では出てこないものもあるかと思っておりますし、そういったものと束ねて別の見だしで説明するという手もあると思うんですけども、      |
| 1:06:56 | 事業者の考えはいかがなんでしょうか。  |
| 1:07:00 | 日本原燃の宇野でございます。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:07:03 | ここです高岡層と菅  |
| 1:07:07 | な、合わせまして上本石堂をですね、の物性値を入れてるのはですね、その後の地質速度構造を出すときにですね、この速度構造で上のところに埋め戻しと。            |
| 1:07:20 | があるんですが、その上戻し動のですね物性を確認するというためにですね、ここで埋め戻しの物性を入れさせていただいております。                      |
| 1:07:31 | 規制庁の岸野です。この章での位置付けはよくわかりました。   |
| 1:07:36 | ここでの説明として必要だからということであればですねその位置付けというのを明確にして説明をしていただきたいと思います。                        |
| 1:07:45 | よろしければ次、行きますけれども、関連して、埋戻度、   |
| 1:07:51 | ついてるんですけど、   |
| 1:07:52 | これは3エリア滑ってに共通の物性値動特性を使うというような説明で埋めたんですが、   |
| 1:08:01 | そういう理解だとするならば、エリアを疑ってこの物性や動特性共通に扱えるとするその根拠、エビデンスというのを説明していただきたいのですが、いかがでしょうか。      |
| 1:08:15 | 日本原燃の尾野でございます。   |
| 1:08:17 | 梅本広井につきましては、H耐震地盤01の方でもですねご説明させていただいてるんですが、全領域につきましてはですね管理された埋め戻し、管理さして、           |
| 1:08:31 | 施工されておりますので、前期比全体についてですね同じ物性値を用いるということにさせていただいております。                               |
| 1:08:41 | B I Iのキシノですね。  |
| 1:08:43 | はい。48ページの表なんかを見ると、年度によってですね、締固めの仕様が、締固め度90%以上であったりそうでなかったりというような、                  |
| 1:08:54 | 違いがあるんですけれども、これは、例えば単位体積重量の設定等においても同じだといえるのですか。                                    |
| 1:09:04 | 両者も取れた方が見比べてそう判断したとか何かエビデンスがあるのであれば、あわせて説明いただきたいんですけども。                            |
| 1:09:12 | 日本原燃の小野でございます。   |
| 1:09:14 | これにつきましてはですね耐震地盤01の方で、1990年以前とですね2000年以降のリニアック特性がほぼ同一であるというふうなことを説明させていただいておりますので、 |

|         |   |
|---------|---|
| 1:09:26 | それと同じ記述をですねこのところでさせていただきたいと思<br>います。  |
| 1:09:32 | 清町の内野です。はい、わかりました。あと、野口江藤以外に、   |
| 1:09:37 | 伊賀委員ですね、表層度、  |
| 1:09:40 | 側面地盤として六ヶ所層とか、造成モードとか、各種あったかと思<br>いますが、これらについても同様にですね、エリアを跨って共通に扱え<br>るとするならばその根拠についても説明をいただきたいと思<br>いますが、それは可能でしょうか。 |
| 1:09:56 | 日本原燃の宇野でございます。今回のですねこの検討につきましては、<br>1次元で今SHAKEをやっておりますけどもそれには、  |
| 1:10:07 | 埋め戻しだけしか使っておりませんので、ここで埋め戻しだけを説明さ<br>せていただいているというふうなことになりますが、大変2番01の方<br>でですね造成もリードと、                                  |
| 1:10:19 | 六ヶ所層につきましてもですね今回の上本と同じような整理をしており<br>ますので、そちらの方で説明をさせていただいた方がいいのかなとい<br>うふうに私としては考えてございます。                             |
| 1:10:33 | 清町の岸野です。今回の建物08の中で対象となる表層度、側面地盤と<br>しては、埋め戻すとだけであるからということ。  |
| 1:10:42 | なんですけども、他の塗装が出てこないのはなぜなのかなとすいま<br>せん。合わせて、はい。すいません。規制庁カミデですけど。  |
| 1:10:52 | 次の49ページ見ても、埋め戻しどの範囲っていうのは限定的で保管庫<br>の辺りとかは、いないですし、あとはMOXのPA建屋もそうですけど<br>その北側のCB。                                      |
| 1:11:08 | あとCA辺りかな。の辺りも、グルーッと埋戻度って感じでもないです<br>よね。何かよくわからないので、いずれにしても、耐震地盤ゼロイチ<br>というよりは、  |
| 1:11:21 | 直下なり周辺の地盤の物性をて、ちゃんと反映して入力地震動を反映<br>するというのが大きな目的ですから、  |
| 1:11:31 | いきなり埋め戻しど泥酔ありマースではなくて、表層動にはこんなも<br>のがあってというところから最終的に埋め戻しだけ使うのであれば、  |
| 1:11:42 | そこに絞り込む説明というところをここでちゃんとしてください。  |
| 1:11:49 | 日本原燃の土居でございます。承知いたしました。記述させていただきます。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:11:55 | はい。一つのキシノです。  |
| 1:11:57 | 続きまして、51 ページになりますが、上の方にですね、   |
| 1:12:04 | G0 から求めた。   |
| 1:12:07 | 速度構造確認といった説明があるんですけども、  |
| 1:12:11 | それはまあいいとしてG0 が何から求めたのか、P S 検層ではないんでしょうか。                              |
| 1:12:18 | どこの電車。  |
| 1:12:21 | 無線に使ってます。日本原燃の尾野でございます。ここで使っておりますのは、                                  |
| 1:12:29 | 基礎地盤安定で使って、つ  |
| 1:12:32 | 北嶋安定で整理をいたしました。地盤物性でございます、それダウンホールによりますP S 検層の速度構造と、あとその労単位体積重量ですね。   |
| 1:12:46 | 先ほど使ったV S 事情で求めたG0 の回帰というものを使ってございます。                                 |
| 1:12:54 | 都築です。はい。  |
| 1:12:56 | うん。   |
| 1:12:57 | また後程4 ポツでもですねP S 検層を別に使ってというような説明もあるので、その中でも、確認しようと思っておりますけれども、       |
| 1:13:06 | 4 ポツで使っているP S 計装と、  |
| 1:13:10 | この3、51 ページに出てくるそのG0 の根拠になっているもの。                                      |
| 1:13:15 | というのは、別後ということによろしいんですか。   |
| 1:13:19 | だとすると、なぜそう別なのかっていうところも、あわせてちょっと聞きたいところ。                               |
| 1:13:28 | 日本原燃のものでございます。当庫基礎地盤安定で用いてですね、G0 につきましては、いろんな岩種をですね、網羅するために、          |
| 1:13:40 | 別途ですねボーリングを行って実施しております。その中にはですね先ほどの25 校というやつ、いうP S 校のデータもですね増がある場合には、 |
| 1:13:53 | 含めさせていただいております。   |
| 1:13:58 | 社長の岸野です。  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:14:01 | 基礎地盤安定で求めたG0をここで用いていって、基礎地盤安定でのそのデータの扱いと、あとその以降の、設計に用いるP S計装等のデータの扱いが間違ふからということなのかもしれないんですけども、            |
| 1:14:17 | であればこの51ページの検討にその基礎地盤を形でのG0を用いてる理由ってのは何なのかといったところもちょっと説明必要になってくるかと思います。                                   |
| 1:14:27 | ここ、ちょっと掘り下げると少し長くなるかもしれませんが、ちょっと先ほどですね、まず何を用いたのっていう質問に対する回答とあわせてですね。                                      |
| 1:14:39 | どういう目的で心をここでは基礎地盤安定のディーゼルを持ってきているのかというのも、あわせて説明をいただきたいと思うんですけども、よろしいでしょうか。                                |
| 1:14:49 | 日本原燃の宇野でございます。今お答えするということでしょうかそれともこれ文章として、そういう記述をしました。  |
| 1:14:58 | すいません規制庁カミデです。ちょっと簡単に聞ければと思うんですけど、29ページにボーリング調査位置図っていうのがあって、一方で112ページも、112ページですか。先ほど見ましたけど、P S検層の位置図があって、 |
| 1:15:13 | まず、この3ポツの速度構造の検討ということに対しては、29ページのボーリング調査、すべてを使ったと思っていいんですか。   |
| 1:15:28 | 20、29ページですね、ボーリングにつきましてはですね、P S検層もしをしてないやつもでございます。これにつきましては柱状図をですね、用いまして、                                 |
| 1:15:39 | 敷地全体の地質構造を把握しているもの、ものもでございます。   |
| 1:15:44 | ですからこの中でですねカミデです。すいません。まず3ポツで使ってるのと29ページは違うっていうことだと思うんですけど3ポツで使ってるのは、同1化っていうのは、今治療できたって、                  |
| 1:16:03 | すいません今3ぽつとおっしゃってるのは、  |
| 1:16:09 | どの規制庁甲斐です。3ポツの速度構造の検討だとかさ。  |
| 1:16:16 | 辺りですかね。   |
| 1:16:20 | 51のG0を出した話の辺りの、に使っているP S検層の位置とか、ボーリングのデータとかっていうのはどこから取ってきてるんですか。  |



|         |   |
|---------|---|
| 1:16:32 | すいません、29 ページの中に入ってるんですけども、ここでは今それを特定したような形では示させていただいてございません。  |
| 1:16:42 | はい。それをちゃんと示してくださいと。   |
| 1:16:46 | ちゃんとそれを示すと、112 ページの 1 とは違うはずなんですよ。実際に設計で使っているものと違うもので 335 の 3 ポツの速度構造。  |
| 1:16:58 | 検証とかをしているってということなので、繋がりとして本当にそれでいいのかといったところが疑問ですから、そういう点もしっかり説明できるように、  |
| 1:17:08 | しっかり説明というか考えをちゃんと示してもらえればと思います。はい。私は、   |
| 1:17:14 | すいません日本原燃の宇野でございます。神谷さんのご質問に対してです。41 ページを見ていただけますでしょうか。   |
| 1:17:25 | 41 ページです。この中にですね、赤丸とですね緑丸で書かれてるのがございます。赤丸がですね 25 行と言ってる、エリアごとの速度構造。   |
| 1:17:41 | このあまりで書いてるところが、今回のこんな赤丸と青丸をプラスしたものが、今回の   |
| 1:17:49 | この構造を出していることではございました。すいません。   |
| 1:17:55 | はい、規制庁パミスわかりました。その辺はわかるようにして、   |
| 1:17:59 | もらえればと。あれですね、1次元は赤丸だけです。二次元は赤丸＋緑ってことですか。  |
| 1:18:10 | 日本原燃の恩田でございます。その通りでございます。   |
| 1:18:16 | はい。わかり、とりあえずわかりました。わかるようにしといてもらってこと等、   |
| 1:18:23 | 何でこれ違っていいんですか。  |
| 1:18:33 | 日本原燃の宇野でございます。  |
| 1:18:36 | ですね。そうですね。  |
| 1:18:51 | 新沼でございます。基本的にやはり 1次元のモデルを作るにあたってはやはり先ほどの直下の岩盤中からの整理を行った上でそのエリアに対して等価のモデルを作るといったところがございましたので、そういった意味で言った時にその 1次元モデルといったところに対しましては、 |

|         |  |
|---------|--|
| 1:19:08 | 少し具体性が少なくなると思いますがでもその赤協議したものっていったところをですね一つ、1課として地盤モデルを作った上で、最終的な位置付けにも関わってくると思うんですけども、                   |
| 1:19:19 | 20年のところ、   |
| 1:19:23 | 地盤モデルとの比較検証でそういったかプラス緑っていったところで違うということもですね踏まえた考察っていうのができてるんじゃないかというふうに考えているところでございます。                    |
| 1:19:35 | 規制庁深見です。先ほどもロジックちゃんと整理してくださいねっていうことなんですけど、この3ポツ2であっての説明に対しても、  |
| 1:19:46 | 要はデータをどういうところから取ってるかっていうところも含めてちゃんと説明をしてもらって、案3ポツにはかなり広めにとっていって、検討が進んでいって、4ポツ2ですかね、モデルを構築しようというところでは3ポツ、 |
| 1:20:02 | 2で使った、1からさらにこういう考えで、厳選した25個、   |
| 1:20:08 | やると、ああいうところの考えもちゃんと示してもらえればと思いますので、よろしくお願いします。   |
| 1:20:17 | はい、藪三橋でございます位置付けの話だというふうに思っておりますので   |
| 1:20:22 | いただいたものに含めてしっかり置き記載させていただきたいというふうに思います。  |
| 1:20:29 | はい、じゃあ岸野さん、すいません。  |
| 1:20:33 | ありがとう。   |
| 1:20:35 | 続きまして、52ページの、  |
| 1:20:41 | これはですね、各エリア内の一番、   |
| 1:20:45 | 図といった説明が唐突に現れるわけなんですけど、第1回申請会合の中でもですね、データ等をちゃんと分析考察した上でっていうようなことを伝えておったと思いますけれども、                        |
| 1:20:58 | ここのその結論がちゃんと分析した結果なのかが少しわからないので、確認したいと思います。  |
| 1:21:05 | 52ページ上の方にですね。  |
| 1:21:07 | 東側エリアの中で、特に東側特徴的な傾向がある。  |
| 1:21:13 | もう埋めてるかかわらず、コントラストが小さいとか、大浦っていう言葉で終わらせてしまっていますけど、これどういう意味なのでしょう。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:21:26 | どうして均一というふうに繋がるのか、このあたり説明いただけますか。  |
| 1:21:33 | 日本原燃の宇野でございます。この辺の記述につきましては、   |
| 1:21:38 | 56 ページをですね、見ていただきたいんですが、   |
| 1:21:44 | 実際にですね 56 ページの方で、今、多分木野さんがおっしゃられたのは、この E W の 17 とか 14 の、                                       |
| 1:21:56 | 弾いのところではないのかと思うんですけども、ここんところですね面なしの S 6 というのがあるんですけども、その面なしの S F ロックがあってもですね速度想像的にはですね連続したような方 |
| 1:22:08 | になっているということをちょっとこういう表現で書かせていただいております。  |
| 1:22:14 | 設置のキシノすみませんちょっと今おっしゃったね、みんな死んでそれ、  |
| 1:22:21 | ボリューム  |
| 1:22:24 | 次 14 と書いてあるものの下にちょっと速度構造の断層がついてるようなものがございましてここが、S A F 6 という面なし断層でございます。                        |
| 1:22:36 | はい。  |
| 1:22:37 | 別府。  |
| 1:22:39 | で、   |
| 1:22:40 | 私が言ってますのでその 55 ページ、上の方で述べている。  |
| 1:22:45 | この東原地盤の中の特に東側では、そういった事態に対して、日本プラストは小さいからですね、包絡できるからといった説明で、                                    |
| 1:22:57 | 終わらせてしまっている、この均一であるというふうに結びつけてる辺りの意味がわからないという質問なのですけれども、この回答になって、                              |
| 1:23:11 | 新居梅野でございます 52 の上のところで、   |
| 1:23:16 | 第 1 パラグラフのところでございますか。  |
| 1:23:19 | はい。一番上だと、途中から始まるパラグラフと次に始まり、   |
| 1:23:25 | バイブルとその下のパラメータ。  |
| 1:23:35 | 一番上のパラグラフにつきましてはですね、   |
| 1:23:40 | N S G 1、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:23:44 | N - S 10 というところでございました。はい。ちょっとこの中身の確認というよりは、53 ページのこのまとめにですね、一番下の方ですか。            |
| 1:23:55 | コントラストはあの小さいところですね、包絡されているという結論になっている。この辺りの意味を教えてくださいなんですけども。はい。                  |
| 1:24:03 | はい。よろしいですか。   |
| 1:24:05 | はい。   |
| 1:24:11 | 日本原燃の尾野でございます。はい。3-2-17 ずーがございますが、ここにですね東側地盤今回の 25 個のうちの東側で撮りました。                 |
| 1:24:24 | 1 のですね速度構造が案内すいません、東地盤の速度構造が書いてございます。これを見ていただきますと大体                               |
| 1:24:36 | D L のですねアジアへの E L のですねマイナス 50 ぐらいのところ、速度が速いものにな速いものございます。こういうものに対しましてですね、         |
| 1:24:46 | 例えば、18 図ですとか 19 ですとか、につきましては、それよりもですね速度のコントラストが小さいというふうなことで、                      |
| 1:24:58 | ここで下書いてございますがコントラストは小さいというふうな意味で書いてございます。   |
| 1:25:04 | 清町の岸野です。はい、わかりました。  |
| 1:25:07 | 要するに、東側地盤は、特徴的なんだけど、コンプライアンスとか、   |
| 1:25:15 | 小さいんで、  |
| 1:25:18 | うん均一に、  |
| 1:25:19 | ということですか。あと私、悪かったんですけど、東側地盤の中では、東野地域によって、ちょうど違いがある。                               |
| 1:25:29 | 結論として均一になっているというところがわからないという質問なんですけど、それをお答えいただけますか。日本原燃尾野でございます。                  |
| 1:25:38 | 17 番、17 図につきましてはですね、  |
| 1:25:43 | 実際  |
| 1:25:45 | ここで言いますと P A C B C A A C というふうな並びであるところの一番でございまして、18 図 19 図というのは、それからさらにですね東側の方に、 |

|         |  |
|---------|--|
| 1:25:56 | ちょっと離れてるところでございます。ここをですね同じ東地盤として、入力地震動が整理できるのかというふうな観点を、観点からですね、                           |
| 1:26:07 | 実際の設定しようとしてる平均地盤よりもコントラストが小さいということですねここで言うために、示させていただいております。                               |
| 1:26:18 | 出てるそうです。とするとここでの結論っていうのは単にコントラストが小さいよって、終わっていると。   |
| 1:26:26 | 概ね均一であるというのは、  |
| 1:26:29 | ここに繋がっそこから繋がってくる。  |
| 1:26:35 | 日本原燃の宇野でございます。ちょっと   |
| 1:26:37 | 書き方をちょっと誇張し過ぎたこと、可能性がありますのでちょっとその辺、修正させていただきたいと思います。申し訳ございません。                             |
| 1:26:48 | 清町の岸野です。ちょっと私の聞き方も今ひとつまとめてなかったかもしれないし伝わってないかもしれないんですけども、の小野沢のご回答は、誇張した書き方になってたかもということなんです、 |
| 1:27:02 | 冒頭に申し上げたように第1回の会合をして、議論の中でですね、きちんとデータを分析考察した上で第2回に臨んでくださいねということをお伝えしてて、                    |
| 1:27:12 | それに対して一方で、ちゃんと分析したことがわからないところが誇張してるかもっていうようなことを言われるとですね、この説明内容のちょっと信憑性という。                 |
| 1:27:23 | んと思ってしまいますので、そこはですね  |
| 1:27:26 | きちんとデータを見て、分析評価した結果を正確に説明できるように、ちょっと記載なんかも、もう一度見直していただきたいと思いますが、                           |
| 1:27:39 | 上でもう一度、他のところも含めて、見ていただけますでしょうか。  |
| 1:27:44 | 日本原燃の宇野でございます。承知いたしました。  |
| 1:27:51 | はい。規制庁の木野です。   |
| 1:27:53 | よろしく申し上げます。衛藤に勤務し、   |
| 1:27:57 | うん。  |
| 1:27:58 | ええ。  |
| 1:28:02 | はい。ちょっと漏れました。それで、関連してなんですけども、OV数とかに基づく評価においてはですね、55ページからに、                                 |

|         |  |
|---------|--|
| 1:28:14 | これらの分布図、   |
| 1:28:16 | 用いてもおられますけれども、   |
| 1:28:18 | 33 ページではですね、断面図に補助線を引いて、概ね水平とかいろいろ書いてあったり、   |
| 1:28:26 | 説明の補助となるような情報が前にもありましたので、  |
| 1:28:32 | こちらの方が 55 ページ等ですね、BS の分布図にも、事業者の考察を合わせて下記のような形で、わかりやすさを上げていただければと思います。その点よろしいでしょうか。                                    |
| 1:28:46 | 日本原燃の宇野でございます。はい承知いたしました。  |
| 1:28:50 | はい。よろしく申し上げます。   |
| 1:28:52 | 続きまして 58 ページなんですけれども、  |
| 1:28:56 | こちらではですね中歩道に、3 エリアにおける各建物構築物の直下地盤モデルについて、  |
| 1:29:06 | 開口基盤での入力、2A に対する、  |
| 1:29:10 | 代表建屋基礎下レベルでの入力度 E + F、   |
| 1:29:15 | うん。  |
| 1:29:16 | 伝達関数を、   |
| 1:29:18 | 比較をしているというふうに理解したんですけれども、  |
| 1:29:24 | まずはその理解でよろしいでしょうか。   |
| 1:29:28 | 農業の合わせでございます気象庁さんの今おっしゃっていただいた理解の通りでございます。建屋間の相対比較を行うという観点が今回のこちらの目的になりますので、すぐ出力点の深さにつきましては 1 度合わせたとところになってございます。以上です。 |
| 1:29:43 | 規制庁の岸野です。はい、わかりました。その場合ですね、ここで持ちえている   |
| 1:29:49 | 物性値というのは、  |
| 1:29:51 | 初期地盤物性   |
| 1:29:53 | なのでしょうか。   |
| 1:29:57 | 中国の地盤モデル設計よりもし用いるとなれば、   |
| 1:30:01 | すべての S s ですか S D 或いは 1.2 S s、  |
| 1:30:06 | についても適用するわけですが、  |
| 1:30:09 | ホームページでの検討条件として、地盤の物性は初期地盤物性を使って、  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:30:13 | そういう理解でよろしいんですか。   |
| 1:30:16 | 日本原燃の岩瀬でございます。こちらにつきましてはやはり振動特性の分析を行う上では、ちょっと我々の設計を行う上では非線形性っていうところがどうしても地盤上無視できないというところが特に共済についてはあるというところもございますので、こちらにつきましてはこの、 |
| 1:30:31 | 59 ページのところで単純に示しているようなところの伝達関数の算定のところにつきましては収束物性値を用いて $S_s$ 収束物性値を用いてこういった伝達関数を用いているというところでやっているところがございます。以上です。                  |
| 1:30:48 | はい。  |
| 1:30:51 | この評価結果です。  |
| 1:30:58 | 掲示板  |
| 1:31:00 | とする。   |
| 1:31:02 | $S_s$  |
| 1:31:03 | による修正する。   |
| 1:31:11 | についても説明が必要かと思えますけれども、そのあたりの  |
| 1:31:16 | はい。日本原燃の大瀬でございますこちらにつきましては検討いたしましたは当然ひずみとかについても出ているところがございますそういった何か $S_s - A$ の収束物性時というところで述べさせていただきましたがそこに、                     |
| 1:31:28 | どれぐらいのひずみに基づく収束物性値でやっているかというところも言えますので、それにつられて他のための適用性そういったところについてこちらの追記できるように考えたいと思います。以上です。                                    |
| 1:31:42 | はい。  |
| 1:31:46 | 規制庁の竹田です。すみませんいいですか。   |
| 1:31:49 | ちょっとのための確認なんですけれども、今非線形特性を大江さん考慮されてるっていうことだったんですけど、表層地盤はそれは理解できるとして、岩盤の部分につきましては、何か説明の 57 ページのところで一律、                            |
| 1:32:05 | 減衰定数は、3%を用いるという説明だったんですけど、岩盤の部分も設計特性でこれ考慮されているんですか。  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:32:15 | はい。日本原燃の大橋でございます。おっしゃる通りでございます。岩盤部分についても P h e n i x 特性考慮しているものでございます。以上です。   |
| 1:32:23 | 規制庁の武田です。は、はい、わかりました。   |
| 1:32:26 | はい。お返しします。  |
| 1:32:29 | 定期預金です。よろしければ次、59 ページお願いします。  |
| 1:32:36 | 継ぐんだらう。   |
| 1:32:41 | 建物、   |
| 1:32:49 | メール。  |
| 1:32:50 | うん。   |
| 1:32:52 | これモデルの中で、   |
| 1:32:53 | その実践 V s ないし事前というのは、  |
| 1:32:57 | 岩種ごとに一律の数値を与えているのではないかなと思うんですが、   |
| 1:33:03 | もしそうであればですね、施設ごとに直下 1 の発生を抽出といっても、  |
| 1:33:09 | どこでとっても同じ感じであれば、同じくせになるのではと思うんですが、  |
| 1:33:13 | この辺りはどのような設定をしているのか教えてください。   |
| 1:33:21 | はい。日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましては各建屋の直下データという意味では先ほど上のこちらの 59 ページの図にありますように 20 年のレベルまで作るというところこれが先ほど先ほどまでの方で、                |
| 1:33:33 | ご説明しておりました岩盤区分に基づく地質構造ないし速度構造の整理というところに該当するものでその結果が出る事業モデルになるわけでございますけれども、そこから各建屋直下でどれぐらいの速度構造になっているかというところを見たものでございます。 |
| 1:33:48 | ですのでこちらの敷地内の中で同じ岩種であれば、こちらにつきましては深さ依存性とかそういったものを前のページのところでご説明してございますけれども、そういったものをきちんと整理した上で各建屋の直下で観衆の例えば                |
| 1:34:01 | 層境界の深さが違えば当然それは建屋ごとに違いますし、というところになりますので、そういったもので岩盤区分に基づく、各建屋直下の特徴というものを整理したというのがこちらの                                    |



|         |   |
|---------|---|
| 1:34:11 | ものこちらの 59 ページの北見社の図の整理の結果になってございます。以上です。  |
| 1:34:23 | 端的  |
| 1:34:29 | うん。   |
| 1:34:30 | その建屋、   |
| 1:34:32 | スーパーペアの直下のボーリングデータに基づいて物性値を設定して地層性、   |
| 1:34:41 | で、今回この 59 ページの二次元モデルだと。   |
| 1:34:44 | それぞれ建屋が載っていてその建屋直下の物性を拾ったときに、このモデルの中では自動計算されて値は変わってくるのかもしれないんですけども、   |
| 1:34:55 | もともとあるごとになってるデータっていうの岩種ごとに均一なものと、もう   |
| 1:35:01 | 使っているのではないかと。   |
| 1:35:03 | つまり、直下ごとに、ごめん、施設ごとに直下のボーリングデータの物性値を用いることは、  |
| 1:35:10 | 少し違うのではないかという確認なんです。  |
| 1:35:15 | うん。   |
| 1:35:16 | 質問の趣旨で書いてました。   |
| 1:35:20 | アイホン業務の長瀬でございますまさにこちらが多分この資料で目的をきちんと書いた上でというところからのちょっと展開になってくるところだと思うんですけども、また我々といたしましては複数施設の申請であったところを踏まえまして、                                      |
| 1:35:34 | 敷地全体の地質構造地下構造と速度構造というのをとらえるためのアプローチとしまして、岩盤区分に基づく整理というところをやっていくことで、各敷地内のどんな場所でもどういう速度構造になってるかっていうのが見れるような整理ができるだろうというところのスタートでアプローチをかけているところでございます。 |
| 1:35:51 | そういった岩盤区分に基づく分類というところにつきましては尺とかそういったところのやり方を参考にさせていただきまして、岩種ごとに 1 A 物性値を敷地の上げある程度こう一応の物性値を見ても良いだろうというところの考えに基づきましてやっているというところでございますので、              |

|         |  |
|---------|--|
| 1:36:07 | ルー、そういった意味では違いがあるというところがございますけれども、木曾さんのご認識の通り、こういった敷地内の同じ慣習のところでございますしたら、場所が違うと同じ岩種になるというところがございます。ただそれでございますしても各敷地以外の場所では当然その岩種の境界の深さとかそういった部分の取り組みについては当然違ってきますので、 |
| 1:36:26 | そういったところの差の方に着目して振動性状とかそういったものが違いはないかというのを確認したというのが今回の資料の趣旨になっているところがございます。  |
| 1:36:36 | ます。以上です。すいません。目的のところからのきちんとした整理御説明が必要だというふうに認識しました。以上です。   |
| 1:36:43 | 規制庁のキシノ。   |
| 1:36:50 | また、  |
| 1:36:51 | もうどっかでボーリングをとってその物性値を使った場合とも違うということと理解しました。  |
| 1:36:59 | どこか  |
| 1:37:00 | なぜ、そういうまず今回の設定はどういうふうに設定したのか。  |
| 1:37:06 | 仕事一律には設定したけれども、2次元モデルを入れることによって、深さや層境界の位置の変化によって、それぞれ赤色の値ってのは変わってくるんですよっていったところも含めての説明ということと、  |
| 1:37:22 | そうですねで、それが今回持っていたがっているのかという説明を加えていただきたいと思います。で、ちょっと園部の質問ですけども、   |
| 1:37:31 | 例えば 91 Q 92 ページですと、医師が地盤に対する評価、伝達関数に差が見られない問題ありますよというような説明になっていますが、  |
| 1:37:42 | 今言ったようにですね、施設ごと直下の物性と言いながら、  |
| 1:37:46 | 実は岩種ごとに均一の一律の物性を用いた結果でありますので、  |
| 1:37:53 | 結局一律の物性を用いてしまったから伝達関数に差が現れないのではないのっていうふうにも読めるんですけど、そのあたりは、   |
| 1:38:01 | お札とか分析はされていますでしょうか。  |
| 1:38:10 | はい。日本原燃の長瀬でございます。こちらにつきましては我々の物性値の整理の概要でございますけれどもそういったところで敷地内で岩種ごとにある程度一応の物性なっているというところを確認しているところでございますそれが例えば何だっけ。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:38:25 | 藤代の分布とかなんで前の方でお示ししておりますが、すいませんちょっと埋め戻しですけど 20 は 10 ページにあるようなそういったものところで、各岩種ごとに敷地内で同一のものを使って例えば同じ会社でも 2 種類の  |
| 1:38:39 | 物性値で明らか分かれてしまっているというようなそういったものがないことを確認した上で使っているというところ、やっぱり尺なんかも書いていてところでございますけれども、ある程度外周の中での物性値の乱れなんかがありましても、そういったところにつきましては概ね平均で評価することが可能であるというところについてはいろんな根拠があると思うんですけども、 |
| 1:38:59 | そういったところを確認をした上で誰々といたしまして岩盤区分に基づくような説明というところでこういった会社ごとに一応物性値を入れているというところでございます。これでいきますと、やっぱり敷地内を敷地内におきます建屋部とこの地下プレートの作業っていうのは、  |
| 1:39:16 | 実態としてもよろうについて、こういったいろいろ建屋ごとにサブになり得るかというところを考えますと、外周境界の深さの違いとか、登場してくる監視の違いっていうところが、課題としては一番出てくるだろうというところになっておりますので、  |
| 1:39:31 | やっぱりこの伝達関数の比較におきましては、例えば 93 ページなんか微妙だな東が、   |
| 1:39:39 | 例えばなんですけれども   |
| 1:39:42 | 900 ページですね 100 ページをちょっとご覧いただければと思うんですけども、   |
| 1:39:48 | 同じような岩種がこう並んでいるというところでございまして、例えばこの一番右側二つが右側二つの建屋っていうところがこちら図字が小さくて恐縮ですけど出ておりますけれども、   |
| 1:39:59 | 津村関戸側ちょっと浅見層に入ったりとかっていうようなそういったやっぱりこう岩種が違うようなところがどうしてもやっぱりあるというところがあります。そういったところ上水平成層であろうというところにつきましては考察しても、  |
| 1:40:11 | こういった細かい違いというのが出てきますのでそこを定量的に辺り分析しようというところに着目して、この伝達関数をこの岩盤区分に基づく V s でやったというところになっております。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:40:22 | 例えば先ほどの目的のところもそうですし、何に着目した検討をやるかっていうところをちょっときちんと書けば、何かその辺りがちょっと伝わるのかなというふうにちょっと考えたところでございますすみませんちょっと口で長く行ってしまいました但考えるのは、以上でございます。 |
| 1:40:40 | 規制庁、上條ですすみません。聞いてて、   |
| 1:40:45 | やっぱりよくわからなかったなど、伝達関数、直下の伝達関数を重ねがいて、   |
| 1:40:54 | 大体同じ感じかどうか見てますということなんですけど。  |
| 1:40:59 | わざわざ二次元から取り出す必要はなくて、データがあるんだから、   |
| 1:41:05 | 直下の有井付近の、   |
| 1:41:07 | P S 検層のデータから、地下構造データを作って、並べちゃえばと思うんですけど、何かその一端二次元をかますっていうところと、  |
| 1:41:19 | 意味みたいなのって何かあるんすかね。  |
| 1:41:25 | 関西電力の秋田でございます。今回は、冒頭に申し上げた通り岩盤区分図によってスタートしてございます。従って岩盤区分図で振動特性等を評価する場合は、  |
| 1:41:38 | その岩盤区分の方の中にとった方法で、物性を定量化しまして、それを二次元的なモデルに着させるとというのが、中でも基本ルールでございまして、  |
| 1:41:50 | そういったことをしますと、抜き出して直下のデータを基抜き出しましたけれども、これは岩盤分類図のっとしてやるというのが、ベースになってくると思っております。   |
| 1:42:02 | はい。八木でございます。ちょっと先ほど宇野すももが申しました通り、マンガンですので、こういった岩盤分類で、振動特性等を評価するためのモデル化が可能だということも前提でございます。以上でございます。                                |
| 1:42:19 | はい。規制庁カミデです。  |
| 1:42:22 | うん。ちょっとよくまだよくわかんないですね、二次元がふさわしいんだというのであれば、どうして燃料加工建屋は一旦二次元アカマツなかったのかっていう疑問が残ります。  |
| 1:42:36 | そのあたりはいかがですか。   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:42:41 | 燃料加工建屋、関西電力の秋田でございますP A建屋、基本的にずっと精査してご説明差し上げますけれども、基本的にP タケダについては一つ建屋でしたので、                             |
| 1:42:52 | B 議決権相当のデータを重視してやらしていただきました。ちょっと今回は、複数の建屋を統一したものでやりたいということで、先ほど申し上げた岩盤分類図のっってやるという方向にしてございます。以上でございます。  |
| 1:43:10 | はい。規制庁神谷です。モデルをなるべく共通化したいっていう時を明らかにし、ロジックを整理したとしても、   |
| 1:43:22 | 結局伝達関数一緒っていうのは大事なところですよ。その伝達パスは別に2次元から持ってくるんじゃないくて、直下付近のP S 検層から持ってきた方が、何かよりふさわしい感じが印象として受けてますけど。       |
| 1:43:40 | いずれにしても整理ということうでしょうから、この辺議論をするのはこういう、ここの場ではないので、はい  |
| 1:43:48 | またしっかり、会合とかで話が聞ければと思います。はい。以上です。  |
| 1:44:01 | 今ちょっとご説明の中でできた200ページとか、   |
| 1:44:06 | これに基づいてこの前の前のページとかですね、説明はあるんです。これちょうど見せ方の話であります、  |
| 1:44:16 | これらの事業データをですね、どのように見たのかっていうのわかるように  |
| 1:44:22 | 図中もですね、説明等を書き加えて考えをできるだけ明確になるような説明をしていただきたいと思いますけれども、こちらの方がよろしいですか。                                     |
| 1:44:36 | 日本業務のお話でございます。ちょっとすみません一応確認でございますけれども、100ページに示しているような、各建屋直下の物性値ですとか地質データ、                               |
| 1:44:47 | これどういうたからどういう数字と資料をとって作ったのかっていうところがわかるように資料に記載することというご指摘でよろしかったでしょうかちょっとすみません一部聞き取れ髄液開始になりました申し訳ございません。 |
| 1:44:58 | 都築。   |
| 1:45:04 | 衛藤どこどこ  |
| 1:45:10 | うん。   |

|         |  |
|---------|--|
| 1:45:13 | 具体的にこの柱状図メーターの中のこの棹さすとかですね、そういったところを説明文と対応させて、その中で強調していただくとかいう方がいいのかなという趣旨で、 |
| 1:45:25 | そうでした。   |
| 1:45:26 | よろしいでしょうか。   |
| 1:45:27 | 原燃のオガセでございますかしこまりましたそのように資料の方の拡充対応いたします。                                     |
| 1:45:33 | はい、衛藤都築です。すいません。カミデです。さっき秋田さんと話をしたところでもう一つなんですけど整理をしますっていうことでしたけど、           |
| 1:45:45 | こちらが疑問に思ってるのは二次元   |
| 1:45:49 | 門繋がるから集結に平均で設定した二次元から、何で持ってくるのっていうところですから実際には今回の設計対象施設の近く。                   |
| 1:46:01 | ベース検層データあるでしょうから、その伝達関数もあわせて示しますっていうことであれば大分、                                |
| 1:46:11 | こちらの疑念の解消に繋がるんじゃないかと思えますけどそういうデータを示すつもりとかはないですか。                             |
| 1:46:24 | その状況も含めて検討いたしたい。   |
| 1:46:27 | 関西電力の秋田でございます。すいません。状況データも整理してですね、状況も含めて検討させていただきたいと思えます。以上でございます。           |
| 1:46:38 | はい、深見です。わかりました。ありがとうございます。   |
| 1:46:42 | そういうものを本来あった方が話が早いんじゃないかなと思ってますので出せるのであればしてもらった方がいいと思う。                      |
| 1:46:49 | すいません私の会長、   |
| 1:46:52 | 旧町の金です。  |
| 1:46:54 | 続きまして、108 ページをお願いしたいんですけども、  |
| 1:47:02 | 伝達関数、何となくような傾向があるにしても、ばらつきも見られるわけなんですけど、                                     |
| 1:47:10 | これ、地震応答解析を実際に行って施設への入力地震動の算定ということを行っても、                                      |
| 1:47:18 | この程度の差は有意  |
| 1:47:20 | 現れないというふうに評価をしていると考える場合も使用でしょう。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:47:25 | 行政の受けとめを教えてください。   |
| 1:47:30 | はい。日本原燃のオガセでございます。これぐらいのばらつきならどうかというところにつきましては、確かにこの 100%200108 ページですか、もう間距離をまずではじゃあどれぐらいの離れならとか、そう言ったところではOKなのかというところを引き継ぎとは言うのはどうしてもやはり言えないところであると思いますこれはやはり |
| 1:47:48 | ここ判断工学的判断というところにはなるところでございます。ただそういったところでこういったばらつきみたいなのがやっぱりありました中、こう一緒にしてもよさそうだという判断は適正なレベルではありませんけれども多少のばらつきがあります。  |
| 1:48:01 | それは私たちの入力地震動2として算定した時にどれぐらいの差となってあらわれるか、本当にサトウになるのかどうかというところを踏まえての評価が、すみません、別に4のところで作ってる応答の比較のところ位置付けられると思いますので、   |
| 1:48:14 | その辺の位置付けを書くのは先ほどの前半でのご指摘の内容だというふうに認識していたところございました。以上です。  |
| 1:48:26 | えっと、ここではそこまでの説明ができないので、4ポツに繋がって、4ポツの中で、そこも含めた説明がなされるというふうに繋がる  |
| 1:48:36 | というふうに理解いたしました。  |
| 1:48:38 | この説明の繋がりの中で、そこにも配慮した   |
| 1:48:45 | 行きますか。   |
| 1:48:47 | はい。  |
| 1:48:49 | 秋本さん、どうぞ。かしこまりました。以上です。はい。   |
| 1:48:54 | 次の109ページなんです   |
| 1:48:57 | 今、下の図の、  |
| 1:48:59 | 西中央東の伝達関数になっておりますけど、   |
| 1:49:03 | 石野東丹羽の一部通ぐらいで同封してい。  |
| 1:49:08 | まず、  |
| 1:49:09 | 一方で中央はそういった傾向がない   |
| 1:49:14 | どうしてこういう差分が現れるかっていう。   |
| 1:49:20 | していた。  |

|         |   |
|---------|---|
| 1:49:26 | 本年のオガセでございますすいませんちょっと考察といたしましては最大加速度というか全体ベースのところで、敷地外の速度の速い遅いという中央道東の傾向のところ、   |
| 1:49:38 | これ文章で言うこれはというところの話のところの考察なんですけれども、これをちょっと作っていたところがございましたちょっと各集金着目したという観点ではすいませんちょっと、  |
| 1:49:48 | 不足しているなというところがございますので石松のところにつきましてはちょっと何かしらを考察のほう、加えさせていただきたいと思えます。ちょっと今はお答えができず申しわけございません。以上です。   |
| 1:50:05 | そこまで  |
| 1:50:13 | ここは引き続きよろしくお願いいたします。  |
| 1:50:21 | はい。よろしければ次 110。   |
| 1:50:23 | ページです。  |
| 1:50:25 | 110 ページ。  |
| 1:50:28 | 下。  |
| 1:50:29 | 内容につきましては動機になるのではないかという話ありましたけれども、  |
| 1:50:34 | そもそも肋骨H、  |
| 1:50:36 | この前耐久性の問題としてなんですけど、   |
| 1:50:41 | 4 ポツの記載ってのは 3 ポツの結論になるのかなと思うんですが、   |
| 1:50:45 | このあたりは、今後、この構成の見直しも含めて検討していくという、  |
| 1:50:51 | になるんでしょう。   |
| 1:50:58 | 米田でございますちょっとこの上で、結果、二期にならないようになっていったところで、結果を受けての位置付けというところで4 ぽつにはちょっと展開したところもございますけども、ちょっと位置付けといったところもいただいている大きなコメントというふうに思っておりますのでそれを踏まえまして、 |
| 1:51:16 | どちらの方に記載したらいいのかといったところも含めて再度構成の見直し行きたいというふうに思います。   |
| 1:51:24 | 古田です。はい。  |
| 1:51:27 | 続きまして、  |
| 1:51:29 | ページを、   |
| 1:51:30 | 1、  |



|         |   |
|---------|---|
| 1:51:34 | 3 ポツで、質問した。   |
| 1:51:39 | にしますけれども、   |
| 1:51:41 | ここではですね、地盤モデルに設定する速度構造を新たに設定し直しておるわけですが、  |
| 1:51:49 | 3 ポツ目での検討で用いた $V_s$ は $G_0$ と変わってくるわけで、   |
| 1:51:56 | それを変えてくる理由等は改めて説明があると思いますが、   |
| 1:52:00 | ここではその 3 ポツの、   |
| 1:52:02 | 要は繋がりが切れることになるかと思えます。   |
| 1:52:06 | それによってその 3 ポツまでの検討結果とかが変更になったりしないのか。  |
| 1:52:12 | ということ。  |
| 1:52:13 | と合わせて 3 ポツ、   |
| 1:52:16 | 3 の検証に使用したデータや、各エリアの全体的な特徴をとらえるデータとして 25 校ありましたけど、そういったものとの関係の説明も必要ということで、                                |
| 1:52:28 | すいません先ほど言ったこととちょっと重複してましたので一つに絞りますと、4 ポツでですね、ご時世の設定を変えたことで 3 ポツ等の繋がりを切れることはないのかについてはどのように考えているか説明いただけますか。 |
| 1:52:44 | 日本原燃の宇野でございます。3 ポツの方ではですね、エリア全体といいますか敷地も含めた全体の話で、各種のですねボーリングを使ってございます。                                    |
| 1:52:56 | 今回につきましてはですねそれらの地質条件ですとか速度条件を合わせまして、この赤丸で示した範囲の速度構造の平均をすることでですね、  |
| 1:53:07 | ほぼ全体的なエリアの速度構造というのは把握できるだろうということで、この文章を書かせていただいております。   |
| 1:53:16 | 宮中の岸野です。その文章、   |
| 1:53:19 | ここ書いたということではなくって、3 ポツ 3 のデータとの違うを使った、   |
| 1:53:27 | ことによる影響はどうかという趣旨での説明を求めているわけなんですけれども、   |

|         |   |
|---------|---|
| 1:53:32 | これは先ほど酸欠さんって、なぜそういったものを使ったのっていう質問と関連するものになりますので、それと併せてですねこの4ポツで、違うものを使うことによって3ポツ、         |
| 1:53:44 | この関連がどうなるかというものを、改めて説明をしていただきたいと思いますが、説明できそうです。   |
| 1:53:52 | 4名のものでございます。それのですね、答えとといいますかですね、結果なんですけども、それは4-4の一井のところのですね、速度構造の比較というところで示させていただいてございます。 |
| 1:54:08 | 135ページとですね。そうですね。100、136ページにございますが、今回ですね先ほどの緑と赤の  |
| 1:54:19 | 方でですね、作成しました速度構造と、今回ですね赤の丸で書いてございます速度構造、  |
| 1:54:30 | 比較したものがですね、135ページと136ページに書いてございまして、これでサンプリングした位置でのですね、平均と、                                |
| 1:54:40 | 先ほどの全体的な地質構造から出して速度構造というのがほぼ一致するというので、その確認をさせていただいているというふうに考えております。                       |
| 1:54:53 | 内野キシノです。はい。コーヒーなんかちょっと読み込めていない。この135ページ辺りの説明というのが、3ポツの4ポツの条件の違いに、                         |
| 1:55:05 | 問題はないよということを説明している部分である。  |
| 1:55:09 | そういう位置付けであるというふうに理解しました。ちょっとそれがわかるような説明になっているのかなというところではありますけれども、とりあえず説明の方に理解しました。        |
| 1:55:19 | すいません規制庁川満今ちょうど335ページ移ってますけど、PCの下とか、何かいきなり、   |
| 1:55:28 | ガラッと色が変わっているなんか建屋直下から何か、そこの四角だけ黄色い感じがして、  |
| 1:55:35 | るんですけど、こういう。  |
| 1:55:38 | ところを見て、大体一緒だねっていうことなんですか。   |
| 1:55:44 | 日本原燃の尾野でございます。これはですねA、Cの直下、実際の地盤の方はですね、ここで書いてございます、グリーンの地盤構造になっているんですけども、                 |

|         |  |
|---------|--|
| 1:55:56 | 実際に平均しますと、E L -、30、I L +30 メーターぐらいですね、若干速度の遅いものがな、入っております、               |
| 1:56:07 | このCに対してはですね平均した速度構造が若干コントラストがついてる速度差があるというふうなことで、                        |
| 1:56:19 | 保守的な設定になってるというふうな考え方。  |
| 1:56:24 | になるのではないかとというふうにして考えております。   |
| 1:56:28 | 規制庁、網です。判断基準をまず本当に明確にして欲しいなと思えます。同じと言ったり、保守的と言ったり、                       |
| 1:56:40 | あとは調和的っていう言葉もありますけど、そのあたり、   |
| 1:56:44 | こうだからいいんだという考えはちゃんと明らかにしてください。   |
| 1:56:49 | はい。以上です。   |
| 1:56:53 | 日本原燃の茂呂でございます。はい。その辺の言葉の使い方を調整いたします。                                     |
| 1:57:00 | 所長の木野です。続けます。  |
| 1:57:02 | 規制庁亀井です。言葉の使い方って言われちゃうとちょっと何か表現の問題な感じもするんですけど、本質的なところでちゃんと               |
| 1:57:13 | 判断した、こう判断したんだっていうことを表現してもらえればと思います。                                      |
| 1:57:20 | 日本原燃の宇野でございます。はい承知いたしました。  |
| 1:57:26 | 規制庁の岸野です。  |
| 1:57:27 | 衛藤都築まして 112 ページなんです。   |
| 1:57:31 | うん。  |
| 1:57:32 | これ、先ほどですね、第1回建屋も同じでできたんじゃないのっていうような話も出ましたけれども、                           |
| 1:57:40 | この112ページの図を見ますとP A建屋が入って行って、これを一連の説明の中でD A建屋も同じ説明ができれば平均モデルで設計できたというふうな、 |
| 1:57:52 | ことに繋がるんだなと思えますけど、このあたりっての今どのように、   |
| 1:58:00 | 今回展開しようとしている敷地全体の中の、地盤モデルの設定というロジックと、第1回申請によって直下だけで、設定したP A建屋との、この       |
| 1:58:13 | 位置付けロジックの違いという観点では、  |
| 1:58:17 | とらえ方を教えてください。  |

|         |  |
|---------|--|
| 1:58:25 | はい新沼でございます。調査をいただいているところとかこれまでのご質問のところいただいているウノ位置付けのところだというふうに思っております。                                     |
| 1:58:35 | やはり窓口っていう提案時はそのPTの限定された一つの建屋っていったところを念頭に置いて、そのチェックデータなりしていったところで、  |
| 1:58:47 | 10名で作成していたといったところがございますそれに対しまして、今回、大分代表といったところは複数の建物が出てくるといったところで、本当のところでございます                             |
| 1:58:57 | ある程度、  |
| 1:59:00 | わかっていたと受けるといったところもございましたのでそういったところで敷地内の医療の部分でも広がりを持って設定していくといったところで、こういった                                  |
| 1:59:11 | 東であったり、石井といったところで広いエリアがある程度カバーできるようなボーリングを抽出して、一番力で作成したといったところが第1回、第2番目の違いというふうに認識しております。                  |
| 1:59:25 | それからその上でどういったところで位置付けのところも記載していないところもございますのでそういったところに関しましては、当期の位置付けのところからですね私の方で展開したいというふうに思います。           |
| 1:59:38 | 規制庁カミデです。ちょっと聞きたいことと答えがちょっとすれ違って、平たく言うと、今、今日この資料で、   |
| 1:59:49 | かなり検討してきたということだと思うんですけど、今思えば、  |
| 1:59:54 | ここの検討が進んだ、今にして思えば、PL建屋も東側地盤の平均モデル使えたなあと思っているのか、APAについてははいいや、第1回のモデルがふさわしいんだと。                              |
| 2:00:08 | 思っているのか、どちらですかということです。   |
| 2:00:15 | はい、板橋でございます経営に関しましてはこの会合でも少しご説明したところがございますけどもやはり競争の地盤の影響といったところの邪魔の影響がやはり強く出たといったところもございましたので、そういった意味でいくと、 |
| 2:00:30 | 1次元のモデルを拡張して、検討していくという意味でいきますと、PARに関しましては多少こちらの設定になってるかというふうに思っておりますけども、表層地盤の影響を考えると、                      |

|         |  |
|---------|--|
| 2:00:43 | 近くなってると思いますけども、大分モデルっていったところ、設計をモデルとして用いるにおいては、確かなかったのかなというふうに思っています。              |
| 2:00:55 | すいません、補足です。  |
| 2:00:58 | 本当に言葉が下手だなと思うんですけど、致し方ないってどういうことですか。   |
| 2:01:03 | いや、何度も保守的保守的って言ってますけど。   |
| 2:01:07 | 保守で聞いてなきやいけないっていう、別にこちら言ったわけじゃないし、   |
| 2:01:12 | 説明ができるモデルにしてくださいねっていうだけなんですけど、何を言ってるんですか。  |
| 2:01:24 | よろしゅうございますすみません本当に、言葉がフィックスで申し上げませんP R Aの表層地盤の影響を考えると、家モデルといったところ、                 |
| 2:01:34 | というふうに思っているところですので以上です。  |
| 2:01:42 | 規制庁上出です。   |
| 2:01:45 | 感想と招聘そうなんだって今思ってるんですけど。  |
| 2:01:49 | そう。そうなんすね。ピーエイには使えないんです。   |
| 2:01:53 | この説明を見てる限りそう事業者そう思ってるんじゃないかな。家も東側時間で、  |
| 2:02:01 | モデルでいいよねっていう結論になるのかなと思いますけど、何か表層地盤というファクターが出てそこは違いがあるんだと。                          |
| 2:02:09 | ということだと、似たものがないのかっていうことはちゃんと説明をしてもらわなきやいけない人ということなので、ピーエイとの違いとしてそれを説明するかどうかはあれですけど |
| 2:02:22 | いずれにしても、ピーエイとピーエイと同じような、本当にないだねっていうところは説明してもらわないと困りますのでよろしく願いします。                  |
| 2:02:36 | 規制庁川上です。   |
| 2:02:39 | もう一つ言うと、別になんだろウショックカーまたは周辺の地盤を反映したモデルっていうのは別に複数あって、もう全然構わなくていろんなルートをたどっても、         |

|         |   |
|---------|---|
| 2:02:51 | これでも大丈夫だしこれでも大丈夫っていうのか、当然あるとは思って<br>ますけど、それでも事業者はピーエイは、第1回乗ってってということだ<br>と私は理解しましたね。はい。私からでしょう。   |
| 2:03:09 | 古作です。   |
| 2:03:11 | ちょっと今のカミデの話の流れの中で原燃がどう理解するかよくわから<br>ない。   |
| 2:03:17 | ですけど、   |
| 2:03:18 | どちらをって認識してるのかって、ピーエイはやっぱり   |
| 2:03:27 | 表層でしたっけ、のところが影響がというのであれば、元今回の新政府<br>の建屋について、表層の影響がどうなるのかと。  |
| 2:03:39 | いうことを踏まえないと、  |
| 2:03:43 | 今回のモデルが適切かということが説明できないと思うんですけど、そ<br>のあたりを説明するつもりがあるということでもいいですか。  |
| 2:03:55 | 8カミデですこれ先ほども言いましたけど埋め戻し道路のところ、も<br>ういきなり一律埋戻してますみたいな話で、そこ、PAの違いとして表<br>層を問題視する割には、  |
| 2:04:10 | すごい、あとざっくりとした設定だなあという感じです。  |
| 2:04:20 | 関西電力の秋田でございます。今回ですね表層の影響についてはですね<br>それを見るという観点からの2次元というのも、使ってますんで、姫野<br>ご指摘ですねどう当時のやつをどうだったのかっていうことについては<br>ちょっと検討さしてもらってご回答差し上げたいと思います。以上でご<br>ざいます。 |
| 2:04:37 | 古作です。当時のものがどうだったかの見解。   |
| 2:04:40 | よりは、  |
| 2:04:42 | ピーエイの審査経験を踏まえて今回どうするんだというときの経験の反<br>映がされてないってということが1度大きい。   |
| 2:04:49 | ですよ。  |
| 2:04:52 | そこをご理解いただけますか。神長でございますピーエイの時の考え方<br>の直下のボーリング、PS検層を用いた考え方と、今回そのPS検層を<br>平面的に広がったというところはピークが使ってるっていうのは共通し<br>てと思います。すいません。                             |
| 2:05:08 | はい。全然意図が違います。   |
| 2:05:11 | 阿比留さんもう一度言ってもらっていいですかね。   |

|         |  |
|---------|--|
| 2:05:17 | はい、五味ですあれど、どんな感じの話ですか。すいません。   |
| 2:05:22 | コサクです P S 検層直下で使うのか平面広がってるのかで違っているけどもっていうふうに、大枠脳根本だけで言われてるけど、表層の影響がどうこうってところで、検証が必要かどうかってことだ。        |
| 2:05:39 | の話と、私は全然言ってることが違うように思ったんですけど。  |
| 2:05:45 | はい。五味さんそうです。今言われてる回答は全然違ってて、表層、  |
| 2:05:52 | 今話をしていたのは、A P A は表層の影響が大きかったですねというのが第 1 回の申請での時でわかってそれが結構影響したんじゃないかと。                                |
| 2:06:05 | いう話があるにもかかわらず、今回の検討においては、表層地盤はもう一律、梅本志田ですと、片付けてしまってるので、その辺り表層も大事なんだよってところの、                          |
| 2:06:20 | 経験が生かされてないんじゃないかなって感じがします。   |
| 2:06:27 | 関西電力の秋田でございます表層での影響はですねその意見については今回ですねもう少し深掘りしてご説明差し上げたいと思います。以上でございます。                               |
| 2:06:41 | はい。補足です。   |
| 2:06:43 | それ、そこは、今回深掘りされてなかったっていうのが、そもそも信じられないっていうのが単純に感想なんですけど。   |
| 2:06:53 | 追加で説明されるということでもいいか、しました。   |
| 2:07:04 | はい。  |
| 2:07:06 | 中長期のですね、次の確認   |
| 2:07:11 | よろしいですか。   |
| 2:07:16 | どうぞ。   |
| 2:07:18 | はい。続きまして 113 ページをお願いしたいんですけども、   |
| 2:07:24 | この中でですね、非線形特性として慣用値、減衰定数 3%。   |
| 2:07:31 | おります。  |
| 2:07:33 | 繰り返し 3 軸試験に基づいて設定した時間まで違うのかという、  |
| 2:07:38 | うん、申請書に添付されているにもかかわらず、ここで慣用値を用いるっていう   |
| 2:07:43 | 理由は何でしょうか、教えていただけますか。  |
| 2:07:59 | 表現のオガセでございます。次へと減衰 3%にしている根拠というところでございますけれども記載してございます通り 113 ページの下のところでございますけれども下の段落でございます弱で用いられているまな |

|         |  |
|---------|--|
|         | んサイドでの家用地というところで用いているところでございますけれども、  |
| 2:08:16 | 基づく部値を設定しているところでございます。事実関係としては以上です。  |
| 2:08:25 | うん。  |
| 2:08:26 | うん。  |
| 2:08:34 | うん。  |
| 2:08:35 | こちらの方が   |
| 2:08:42 | 逆になっただけという、  |
| 2:08:43 | その点いかがですか。   |
| 2:08:57 | 本件のオガセでございますこれまたちょっと位置付け的な話かもしれないんですけども部分につきましては地盤モデルの設計の工法とかにつきましては、石野さんのおっしゃる通りのところではあるんですがチェックに従うところは従わないしそういった場合、                            |
| 2:09:11 | というところについてはそういう従っているというところに住んでいるところではあります。ただそれを作った地盤モデルがですねそういったところそういった細かい数字の設計ですとか処分地の設定、そういったところも含めたところで音特性がきちんと                              |
| 2:09:26 | もともとが例えば2次元モデルと調和的になってるかとかいうところも含めて4ポツのところですね応答比較をやっているというところがございまして、そういったところで最終的に用いた設定した値が妥当であったというところを説明しているというようなそういった位置付けでの設定になってございます。以上です。 |
| 2:09:47 | 当局の考えです。   |
| 2:09:49 | 4ポツ4、その結論でっていうようなことが言われてましたけど、それって、これは用地を使って結果に基づく考察じゃないかというような気がしたんですけど、すいませんちょっと私聞き間違えてます。   |
| 2:10:05 | 法令のオガセでございます結果といたしましては可溶的な使われている値を用いたことで、最終的には詳細な地盤モデルである直下の情報を入れている地盤モデルであります二次元のところとは調和的な応答になっていることが確認できるつまり、                                  |
| 2:10:20 | 設定した減衰定数等についても妥当であったであろうとそういうようなところの考えの試行でございました以上です。  |



|         |  |
|---------|--|
| 2:10:27 | 説明します。はいおっしゃりたいことわかりました。   |
| 2:10:30 | 結果よければすべてよしみたいな説明になっちゃってるんですけど、本当にそうかなっていうところ。   |
| 2:10:36 | ミックスの時はですね、建屋内の機器配管系っていうのは、  |
| 2:10:40 | 周波数特性によってはその地盤のひずみの成功例   |
| 2:10:47 | 結局整形特性を考慮した検討を求めた経緯もあったかと思います。そういったことを踏まえるとそっちの方が適切なんじゃないか。  |
| 2:10:55 | 思いますので、  |
| 2:10:57 | 今のご回答だと多分そこら辺はあまり考えずに、逆に、  |
| 2:11:01 | 機械的に並べましたというぐらいの確か出てこなさそうなんですけど、当然ながら、そちらに、それが妥当なんですよってというのは結果よければではなくてですね、ちょっと上流側から見ても大丈夫。                    |
| 2:11:12 | 或いはロジックの位置付け等からしても、これの方が適切といった形での整理が必要かと思しますので、今後ご検討いただきたいんですけど、大丈夫そうです。                                       |
| 2:11:22 | 日本原燃のオガセでございます。こちらのサンダーとしているところ単なる運用ではなく、当社の敷地等の敷地ですとか地震とか、そういった特徴を踏まえて科学的にこちらの数字を用いることが妥当であるというところを検証なのか何かしら、 |
| 2:11:36 | 検証を加えることによりまして、妥当性の方を示していきたいと思ます。すちょっと追加の方をさせていただきます。以上です。   |
| 2:11:50 | ちょっと飛び   |
| 2:11:52 | 32 ページをお願いしたい。   |
| 2:11:57 | ここでもうこの人間の   |
| 2:11:59 | モデルが出てきます。   |
| 2:12:02 | いじめモデルの解析条件の説明。  |
| 2:12:13 | そういった説明がない特に物性Gなんかを見ますとですね、これは整数Aに対して収束。   |
| 2:12:20 | 物性値。   |
| 2:12:22 | 用いているのかといったこと。それと、先ほどちょっと類似の質問しましたが、SSAだけでこの妥当性を説明する。  |
| 2:12:31 | 十分なん。  |
| 2:12:33 | といったことについてですね。   |

|         |  |
|---------|--|
| 2:12:35 | こちらについてもちょっと説明必要かと思うんですが、その通り、   |
| 2:12:40 | 目的にとらせて、説明はできますでしょうか。  |
| 2:12:49 | アップの関西電力の秋田でございます。   |
| 2:12:52 | 基本的にこれは相対比較でございます。2次元から何気事業総体となつてございまして、両方ともですね、   |
| 2:13:02 | 音声を仮定すると一つの波でよろしかろうと思います。ただし一部ですねこの  |
| 2:13:08 | 放送とかはですね、ほとんど男性肺炎若干そちらはいるんですけども、1.0何%というふう非常に男性に近いところです。兵頭ではもう、ごく一部、一部、限定的な非常に限られた範囲でして、 |
| 2:13:24 | 危険係数を考慮しても全体的な、そんな特性は変わらない、表題の中では変わらないと思っております。そういった観点もありまして、 $S_s - A$ のすべての周期、         |
| 2:13:34 | 網羅できるスペックは、でやっておけばその相対論は、できるんじゃないかと思っております。以上でございます。                                     |
| 2:13:44 | 規制庁の金です。はい。原電としての考え方はわかったんですけども、   |
| 2:13:50 | どちらかというところであればいいなというような希望に基づいて設定してるように聞こえてまして、例えば前は出なくても                                 |
| 2:13:58 | 何でやっても、  |
| 2:14:00 | 大差ないです、 $S_s - N$ で代表できますといった辺りの現象確認をしているという   |
| 2:14:09 | もちろんですね非線形性が大きく大きなやつですねもうやっておりますそういったものも、  |
| 2:14:16 | 結果、相談に変わりはありません。従って先生でいい、いいというふうに結論づけてございます。   |
| 2:14:23 | 以上でございます。  |
| 2:14:26 | 今のご説明で、先ほど申し上げました、実際にこの地盤モデルを設計に用いる際にはすべてのベースです。それと、1点、                                  |
| 2:14:37 | 例の物性のばらつき係数、   |
| 2:14:39 | にも適用する。  |
| 2:14:42 | それを超えても、この   |
| 2:14:45 | 条件設定で、   |

|         |  |
|---------|--|
| 2:14:47 | 問題ないと判断してるということで、  |
| 2:14:52 | 基本的にす表層地盤の非線形性の大きいやつで検討してございましてそういうところから見ますと、  |
| 2:15:00 | すべての地震動ですね、適用範囲であると考えられます。以上でございます。  |
| 2:15:12 | 地盤にチェック  |
| 2:15:17 | 先ほどの表層地盤   |
| 2:15:23 | うん。  |
| 2:15:30 | このときに、   |
| 2:15:35 | この整理をして、   |
| 2:15:36 | また改めて説明をしていただきたいと思えますけれども、   |
| 2:15:40 | それで準備を進めていただけますでしょうか。  |
| 2:15:44 | 関西電力の秋田でございます承知しました。   |
| 2:15:47 | 以上でございます。  |
| 2:15:52 | 設備キシノです。   |
| 2:15:54 | 続きまして、137 ページをお願いし、  |
| 2:16:03 | 記載で売れるかどうか。  |
| 2:16:07 | ていうのがあるんですけど、  |
| 2:16:09 | 遠くにする理由とか、   |
| 2:16:13 | 倒壊する理由は何でしょう。  |
| 2:16:19 | 1 レベルとか 2 次元、等価にしていけないのに、うん。   |
| 2:16:24 | モデルは等価にするという、  |
| 2:16:26 | 今どういう、   |
| 2:16:29 | 観点での質問。  |
| 2:16:31 | すいませんちょっと質問の趣旨がうまく伝わってないかもしれませんが、ちょっともしもそこだったら、  |
| 2:16:35 | この審査官から願いますんですけど、  |
| 2:16:39 | 伝わりました。  |
| 2:16:45 | 日本原燃のオガセでございます食い違ってたら申し訳ございませんが<br>137 ページの  |
| 2:16:51 | 文章の 5 行目の等価のモデルが作成されていることを示すというところがモデル自体が等価になってるようにして作ったのじゃないかというようなそういうようなご質問だったのでしょうか。 |

|         |  |
|---------|--|
| 2:17:04 | 規制庁神です。137 ページの、この等価なモデルが作成されていることを示すというのはこれ、  |
| 2:17:15 | 何のためって、等価なモデルだったら、一体何なのかっていうところが何かよくわからないなと思って持ってるんですけど、その辺説明してもらいたいなど。  |
| 2:17:27 | はいどうぞ間瀬でございます。ちょっと繰り返になってしまうところもありまして大変恐縮です 132 ページをちょっとご覧いただければと思います。   |
| 2:17:36 | 130 ページにですね一応的に書いているところがございますけれどもこれすいません繰り返しのなるところがございますけれども、今回の検討といたしましては、敷地内の複数の建屋を評価する上で、   |
| 2:17:49 | 岩盤分類に基づく整理というところで2次元的な地下構造のモデルというところをまず設定したというところになってございます。それでし架空伝達関数とかあと地質速度構造の比較なんかをした上で、やっぱりこの中央西東というエリアで、同じような振動性状を見ても問題なさそうだというような判断をしたというところでして、 |
| 2:18:09 | 今年度設計として1事業モデルというところを施工したときに、下にありますように、御社の中央に東という地盤を1次元の地盤に来た等価なものに置き換え置き換えるというんですかね。  |
| 2:18:20 | そういったものとして評価してあげる当社の地盤を評価してあげるというふうな、施工しているところがございます。ですので、   |
| 2:18:27 | 一つお手数ですが振動性状のところ、比較を137 ページで書いているところにつきましては、この実際の地盤の断面を、等価の1次元の簡単な下の方の図に置き換えたというところに関して、   |
| 2:18:40 | どういう評価になってるんですかというところを振動性状の観点で確認をするというような観点で今こちら137 ページの文章を書いているものでございます。以上です。   |
| 2:18:54 | はい。規制庁深見です。  |
| 2:18:58 | 何と何を比較しているのかこのモデルとこのモデルを比較してるんだっというところからちょっと説明してもらえると助かるんですけど、何かページでしたですよ。   |

|         |  |
|---------|--|
| 2:19:09 | はい、5 番植野オオハシでございます確かに言われてみればどのモデルとどのモデルというのがきちんとちょっと書いてなかったです申し訳ございません。今回比較したモデルといたしましては、  |
| 2:19:19 | 131 ページでございます。各エリア内の P S 検層データを平均化して作成した地盤モデル最終的にはこちらの設計に用いるというふうに、  |
| 2:19:31 | 考えてございますけれどもこちらの地盤モデルになってございますが、比較対象といたしましては、二次元地盤モデル A と、   |
| 2:19:40 | P を、   |
| 2:19:43 | かな。  |
| 2:19:45 | 例えば 77 ページとかそういったところに書いてございます一番何だっけこれ。   |
| 2:19:51 | 岩盤区分図に基づき作成した地盤モデルというようになってございますこれとこれを比較したのが、藤スペクトルの方もちょっと見込み推移いたしますけれども、100、  |
| 2:20:02 | 142 ページをご覧いただければと思うんですけれども、  |
| 2:20:08 | はい。こちらで書いております中央地盤モデルといいますが、先ほど申し上げました設計に用いようとしている P S 検層を平均化したモデル、こちらの黒線のところは先ほどお示しして 2 次元のモデルということになっておりましてその比較を行っているというところでございます。 |
| 2:20:24 | 少なくともちょっと資料でその辺がわかりにくいのは適正化いたします。以上です。   |
| 2:20:31 | はい。規制庁深見です。まずは明確にしてもらえればと思いますので、イメージだけでいうと多分 135 ページとかがこれモデルではないですけど、次元の方、   |
| 2:20:44 | 速度構造なんで、そのモデルから作ったコンターだと思えばほぼ、   |
| 2:20:50 | ということだからこの二次元の結果等、一応 C のところとかにありますけどこれは平均 10 番の 1 次元の模擬してるとは思いますけど、これ両方  |
| 2:21:03 | で見てと。  |
| 2:21:05 | その応答をまず比較してますっていうことですね。  |
| 2:21:09 | 日本原燃は先生のおっしゃる通りでございますグループを直接ちょっと今お示ししてしまいました但し神野さんのおっしゃる通り、速度という意味でいきますとこちらの図にあるこの短冊が平均地盤モデルこの                                       |

|         |   |
|---------|---|
| 2:21:21 | バックグラウンドで大きく2次元的になってるのは2次元フルモデルの速度構造ということになりますので、そちらの両者の比較ということになります以上です。 |
| 2:21:30 | はい。規制庁深見です。その辺もちゃんとロジックであったり、介護資料とかでもそうですけどちゃんと示して何と何を、                   |
| 2:21:39 | ということと、   |
| 2:21:42 | どうしても   |
| 2:21:44 | 感じ  |
| 2:21:45 | ほど135ページなんだと速度構造の観点からもう見えますと、   |
| 2:21:52 | これは何か同じであったり、保守的であったりってということで、その妥当性、その1次元モデルの妥当性を、                        |
| 2:22:03 | 判断してるってということだったと思いますけど、   |
| 2:22:06 | 4ポツ、137ページというところだと応答の観点から、補強して説明、補強して妥当性を説明してるんだと、その判断基準が、                |
| 2:22:19 | 何やらその調和的であるということらしいんですけど、あと、これをもって判断してます。                                 |
| 2:22:25 | ということだと思うのでわかるようにちょっと見てもらえればというところですよ。はい。                                 |
| 2:22:31 | はい。日本原燃のオガセでございます先ほどまでいただいたご指摘と同じことだと思っておりますので、そちらは拝承してございます。以上です。        |
| 2:22:40 | すいませんコサクです。ちょっと余計かもしれないんですけど、10日って言葉だったり一応ですっけ。                           |
| 2:22:49 | だったりというのが、何を意味するんだっていう、   |
| 2:22:54 | のをもうちょっとちゃんと整理していただけたらいいかなと思ってまして。  |
| 2:23:01 | 先ほどのモデル図を見てもですね、直下と同じなわけではないわけですよ。  |
| 2:23:09 | 他の場所の影響を受けて平均で違う状態になっていて、   |
| 2:23:15 | 違ってないじゃないかっていう、   |
| 2:23:17 | ふうに見れば、効果ではないわけですよ。   |
| 2:23:22 | だけどっていうところで、どの程度の違いを許容するのかと。  |
| 2:23:28 | ということの考えが示されるといいんじゃないかな。  |

|         |   |
|---------|---|
| 2:23:32 | 思っているんですけど。   |
| 2:23:35 | 何か、   |
| 2:23:37 | ずれてましたかね。   |
| 2:23:45 | 日本原燃のオガセでございます。そちらにつきましては鹿野コサクさんのおっしゃる通り判断基準みたいなところが調和的とか10日とかっていうところで、全部見て、なるべく観点で見て例えば大きいとか小さいとかそういったところかもしれないんですが、 |
| 2:24:01 | その判断基準というところをきちんと明確にしてあげるといのが必要なことだという認識をいたしましたんでそういうところでございますけれども、0といたしましては最終的な確認というところで設計所、                         |
| 2:24:13 | 地盤モデル自体は等価なものというところできちんと地下構造マーチ直下の地下構造みたいなのをきちんと表現できるぐらいのものにはなっているというところは等価なものとして、もしくは調度的なものとして確認しているところでございますが、      |
| 2:24:26 | 150ページの最後でございますように、最後に設計上のチームごとに問題はないだろうかという観点で、  |
| 2:24:34 | この一次固有周期なんかあの場所での比較なんかもしてございまして、その1は同定ないしは保守的というようなところの結果をあわせてお示ししているところでございます。                                       |
| 2:24:44 | ちょっとここは2段階はですね、   |
| 2:24:50 | 結局ですねいろいろ説明してくれてるんですけど、目的がそもそもないんで、   |
| 2:24:56 | どういう目的を、  |
| 2:24:57 | 考えたときにはこういう結論が必要なんです。だから、これだけこのぐらいあってればいいんですみたいな話じゃないですか。   |
| 2:25:05 | 代表の目指す目的がはっきりしないのに、どっかだとか何とかって言葉だけをとっても、どこを目指せばいいのかわかんなかったら結局結論導き出せないですよ。   |
| 2:25:19 | コサクです。そういうことです。で、今岡山様に説明いただいたような、一次固有周期において同等。  |
| 2:25:28 | まだ保守的っていうのを目指すのであれば、  |
| 2:25:31 | その範囲内かで設定することが等価だとかっていうことになるわけで、最初に言葉ありきではなくて、す。  |

|         |   |
|---------|---|
| 2:25:41 | 逆で一次固有周期で云々で後日でこういう周期で入ってればいいのかってのは疑問ですけど、そっちをまず最初にちゃんと言っていた方がいいってことです。   |
| 2:25:54 | 日本原燃のオガセでございます。わかりましたそういったところの判断基準みたいなのも目的から整理されるものというところでちょっとすいません順番が逆だったなというのは自覚いたしました。                         |
| 2:26:06 | そういうところをちょっと考えた上で、はい。資料の方拡充いたします。以上です。  |
| 2:26:13 | はい、古作ですよろしくお願いします。  |
| 2:26:20 | 規制庁岸です。   |
| 2:26:25 | 148 ページ。  |
| 2:26:31 | コサクすみません、そこへ行くとすると、100、   |
| 2:26:35 | 39 ページ  |
| 2:26:40 | 一番応答の比較結果というのがあって、  |
| 2:26:46 | 記載しているのが、部分的には上回るものの、   |
| 2:26:51 | 大きな差ではなくてとか、  |
| 2:26:55 | っていう話になっちゃうんですけど、これ、何で大きな差、上回っても問題ないっていえるのかが、   |
| 2:27:05 | いまいちよくわかんないんですけど。   |
| 2:27:11 | 結局さっきの話でべ。  |
| 2:27:13 | やっぱり目的なり、大事。  |
| 2:27:15 | これを押さえていればって言ったところが説明が十分じゃないかっていうことなのかもしれないんですけど、説明いただけますか。   |
| 2:27:23 | 本郷委員のオガセでございます。おっしゃる通りで先ほどのお話と問題は同じことが今回も同じことだと思っております目的以上を踏まえた時に例えばどの周期に着目してそういう周波数特性を見るか、例えばそういうところが、           |
| 2:27:37 | 例えばピークの山が一緒ですとかそういったところの観点まで書いた舞台上で、記載が必要だと思いますので結果の考察とあわせて判断基準も記載する時にそういったところがはっきりなるように記載する必要があると認識してございます。以上です。 |
| 2:27:54 | はいコサクですよろしくお願いします特に上回ってるところの周期たいって、大事なような気が私はしてたん   |



|         |   |
|---------|---|
| 2:28:02 | ちょっと不安なので、しっかりと整理をしておいてください。  |
| 2:28:07 | よろしくお願いします。   |
| 2:28:09 | 横野オガセですかしこまりました。  |
| 2:28:12 | 規制庁カミデです  |
| 2:28:15 | 効率化のために行っておくと建屋の一次周期だけ見てくればいいでしょうというのはとても同意できないので、ちゃんと申請対象が一体何なのかと。         |
| 2:28:25 | いうこと、皆さんがS s 基準地震動なりてS s に耐えなきゃいけないとしているものは一体何なのかということはちゃんと考えておいてください。以上です。 |
| 2:28:38 | 古作です。神谷さんありがとうございます。私が気にしている周期って言っているのはまさにそういうことで、                          |
| 2:28:44 | 建屋の先に言いますのでよろしくお願いします。  |
| 2:28:52 | 両面合わせまして承知いたしました。   |
| 2:28:59 | よろしければ、148 ページ。   |
| 2:29:06 | の中に、  |
| 2:29:08 | 11 大井東真島にまとめる。  |
| 2:29:13 | それも含めての移動について、  |
| 2:29:17 | 平均時間、   |
| 2:29:19 | この適用することに、  |
| 2:29:21 | うん。   |
| 2:29:22 | 確認ですが、  |
| 2:29:26 | もともとの動機として、延長の長い労働なんかもあるというのがあったかと思えますけど、                                   |
| 2:29:31 | 一応藤堂っていうのは、実用   |
| 2:29:34 | あって、  |
| 2:29:36 | 実はなんかでは普通、  |
| 2:29:38 | 中土木構造物、道路なんかについてですね、地層の3次元的な変化を考慮して、検討断面ごとに地盤モデルを設定するっていうのが通常やられている。        |
| 2:29:48 | 方法かと思えます。   |
| 2:29:49 | これに対して減免では、   |
| 2:29:51 | こういった延長の長い道路についても、すべて一律の地盤モデルを  |

|         |  |
|---------|--|
| 2:29:55 | エリアが跨っているものについては受けるかもしれませんが、それぞれの<br>実の地盤モデルを用いるというのがいい。   |
| 2:30:03 | 説明しようとしていて、  |
| 2:30:05 | そうしたときに、ここで議論している入力地震動の観点だけではなくて<br>ですね、   |
| 2:30:12 | 表層地盤っていうんですか。  |
| 2:30:14 | 尾島。  |
| 2:30:15 | いや、  |
| 2:30:17 | 道路周辺地盤ですかねとか、周辺構造物の取り合いですとか、或いは基<br>礎岩盤  |
| 2:30:24 | との取り合いとこ付け高さの変化、   |
| 2:30:27 | なんかもう、堂本には影響すると。   |
| 2:30:30 | 思われまして、こういったところってというのは別途道路の改良土木構造<br>物を、補足のほうで説明はあると聞いているものも、                                    |
| 2:30:40 | 地盤モデルは、検討ためにかかわらず、一律にするということについ<br>て、  |
| 2:30:47 | それで、現状、正しく表現できるのかと。  |
| 2:30:51 | いうところがちょっと少し引かかると。   |
| 2:30:54 | うん。  |
| 2:30:55 | うん。  |
| 2:30:56 | これ説明するのか、どう説明するのかってのもありますけどやはり地盤<br>モデルの妥当性という意味ではここで説明した方が良いのかなと思うん<br>ですけどそのあたりってというのは、        |
| 2:31:07 | 準備はされていますか、何らか検討というのはしておられるでしょう。   |
| 2:31:13 | ちょっと状況を教えていただけますか。   |
| 2:31:18 | 日本原燃の宇野でございます。こちらで答えてもよろしいですかちょっ<br>と六ヶ所の方対応される方いるかどうかですけど、                                      |
| 2:31:25 | いなければ私の方でございますが、   |
| 2:31:28 | 4行目オオハシです上野さんよろしく申し上げます。今岸野さんがおっ<br>しゃっていただきました、道道につきましてはですね、地盤モデルで用<br>いてるのはですねE L -18 メーターまでが、 |
| 2:31:42 | 西中央東野地盤を用いています。それでですね周辺につきましては、実際<br>には改良地盤改良をしたりですね、あと右左、                                       |

|         |  |
|---------|--|
| 2:31:53 | 江本指導だったりですねそういうふうな状況がありますので、E L ±18メーターから上はですね、2次元で表現してございます。実際にはですね、やはり断面方向がですね一番表産地がきつくなりますので、 |
| 2:32:08 | 断面方向で検討してるというふうな形をとってますので、そういう意味ではですね、今地盤モデルという地盤モデルで、E L -18まで入力が入ってきてそこから上っていうのは、              |
| 2:32:20 | 2次元的な表現で競争の影響検討を入れているということでございます。  |
| 2:32:28 | 規制庁の岸野です。まず、E L -18メートルっていうのは、道道にとって共通のところ付けめ。   |
| 2:32:35 | 入力地震分の入力面であるというふうに考えてよろしいですか。  |
| 2:32:40 | 日本原燃の宇野でございます。同等のですね幅、構造物の大きさからですねそこを境界面にするというふうなことで、モデルを設定してございます。                              |
| 2:32:52 | 出てるんです。2次元モデルの応答、下端境界とを言ってるわけ  |
| 2:32:58 | 日本原燃の宇野でございます。その通りでございます。  |
| 2:33:03 | 規制庁、鶴です。わかりました。で、そこから上は2次元的に表現という意味だよ。   |
| 2:33:08 | 周辺構造物とか、   |
| 2:33:12 | 収益速報地盤の地層線だとかを、2次元的に表現できてますよという意味かと思うんですけど、私が質問したのはその地層線が、そのエリア内では、一律の                           |
| 2:33:23 | 境界線を、  |
| 2:33:26 | てるわけですね。今回の地盤モデルを適用する。   |
| 2:33:29 | で、実際の道路ってのは断面ごとにその地層境界っていうの変化すると思われるんですが、そのあたりの平均は、  |
| 2:33:36 | 望月   |
| 2:33:37 | という趣旨の質問。  |
| 2:33:40 | ご理解、   |
| 2:33:42 | はい。日本原燃の宇野でございます。す。大体実際にはそエリア的にですね堂々というのが存在しますので、今回ですね、そのエリア平均というものがですねできるということであれば、             |

|         |  |
|---------|--|
| 2:33:56 | その平均的なエリアの物性値を、伏字地盤モデルをですね入力するということでは、   |
| 2:34:06 | では大丈夫だというふうに   |
| 2:34:09 | 二次元って言ってるのはですねこれ時刻歴解析の二次元解析をしております、今ですね入力、L-18メートルというのはですね、入力基盤になります。FEMの入力基盤2、                    |
| 2:34:22 | になりましてそこの下が、西垣中央という地盤の入力値が、そこまで上がってきてそこからですね   |
| 2:34:31 | 地震入力地震力といいますかですね2で入力するような格好  |
| 2:34:37 | 規制庁のキシノです。こちらの質問に対する回答として何かずれてるよ<br>うにしか聞こえないんですけども、   |
| 2:34:44 | 二次元モデルでどうモデル化してる。  |
| 2:34:48 | っていうことではなくて、延長の中でどう断面ごとにその地層境界って<br>変わってくるのにそれを一律にしちゃって大丈夫なのってというのが端的<br>な質問。                      |
| 2:34:59 | それは答えられない。   |
| 2:35:01 | 基層境界というのは、鷹架層のことでしょうか。   |
| 2:35:07 | 社長の岸です。鷹架層   |
| 2:35:10 | もありますし、表層地盤も、  |
| 2:35:13 | 道路になりますと、埋戻しだけじゃモリノとか六ヶ所とかいろいろ出て<br>くるのかなと思ってるんですが、  |
| 2:35:22 | 日本原燃の宇野でございますE L-18メートルというのは、全部鷹架層<br>でございます、その鷹架層につきましては今の建屋のですねエリアの<br>考え方を踏襲いたします。              |
| 2:35:34 | それから上につきましてはですね、例えばモリノの境界ですとか、或い<br>は六ヶ所層ですとかそういう境界についてあとは地盤の境界ですとか、<br>あとは岩盤のですね埋め込み深さですとかそういうのは、 |
| 2:35:48 | 一元的に表現いたしたいとしており、  |
| 2:35:51 | 成長の基です。はい。石野ウノさんが時限的に表現してるっておっしゃ<br>ってるのは、   |
| 2:35:57 | つまり、   |

|         |   |
|---------|---|
| 2:35:57 | B L S 18メートルよりも上の角度層の地層境界については、断面断面ごとに、実態に合ったものを設定していて、一律にはしてませんよというそういうご説明だったんです。                                  |
| 2:36:11 | 日本原燃、   |
| 2:36:12 | ございます。その通りでございます。   |
| 2:36:14 | 説明。   |
| 2:36:17 | ちょっと心配はないのかなというふうに受けとめましたけれども、そうするとその辺りってというのは土木側での説明になるのかもしれませんが、現状の説明の中ではそこまで全然読めなくて、                             |
| 2:36:30 | ルート上でもすべて一律の地層境界で、エリア内均一のものにするんだというような説明に読めてしまいますので、そこら辺ってのは今後労働の説明においてですね、ちょっと区別して説明できるように配慮していただければと思います。よろしいですか。 |
| 2:36:44 | 日本原燃の宇野でございます。どうぞの方もですね早いうちに、そちらの方に資料を提出させていただきまして、これからですね細かくご説明させていただきます。よろしく申し上げます。                               |
| 2:36:57 | 瀬戸キシノです。はい、わかりましたよろしく申し上げます   |
| 2:37:01 | ということで、私から最後になりますけれども、150ページのまとめのところなんですが、  |
| 2:37:07 | 結論部分の文章読んでいます。  |
| 2:37:12 | 目的というのを、全体目的というのを、最初に確認させていただいたんですが、  |
| 2:37:18 | 地盤の実態を考慮して地盤モデルっていうふうには、この中で生きてないように思います。   |
| 2:37:26 | 多くの目的に対して自分の実態をこうした地盤モデルになっているというふうに事業者が考えていない。   |
| 2:37:33 | この辺り、   |
| 2:37:35 | 頑張ります。  |
| 2:37:45 | 日本原燃のオガセでございますすみません一部聞き取れなかったところもあったんですが地盤の実態を考慮するした地盤モデルを作成するという   |

|         |   |
|---------|---|
| 2:37:54 | ところに記載しているスローガンの鳥井のまとめになっていないというようなところになっているかと思います。こちらにつきましては今これから記載いたします各検討の目的それは、   |
| 2:38:06 | やはり今回の検討の第目的あと各県等でも出てくる懸案事項とそれを評価なり懸案事項を解決するというようなところをやっていくっていうところでもって、最初に会計の目的として、一番の実態を考慮したモデルとするかっていうところが、おそらくモデル目的のところでも聞いて拾って書く必要があると思います。 |
| 2:38:26 | それに基づく検討ができたってところの構成さしていただいて最後にそこで、その検討内容をまとめて、その上で結論としてそういった地盤の特徴を踏まえ、地盤の実態を踏まえた地盤モデルになっているという結びにしたいというふうに考えているところでございますちょっとすいません、回答の。         |
| 2:38:43 | 字が違うかもしれませんが今の考えを述べさせていただきました。以上です。   |
| 2:38:48 | 規制庁小貫です。はい。   |
| 2:38:54 | ちゃんと整理  |
| 2:38:58 | はい。   |
| 2:38:59 | の中できちんと対応していただければ良いかと思い   |
| 2:39:02 | 私は非常に   |
| 2:39:08 | ですね、継続する。   |
| 2:39:11 | どうぞ、竹田さんどうぞ。大丈夫です。進行しようとしただけなので、お願いします。   |
| 2:39:17 | 規制庁深見です。中身についてはキシノの方から大分言ってもらったんで、あとは、今後どうするかっていう感じだと思いますけど。  |
| 2:39:30 | 事業者は今後どういうふうに、  |
| 2:39:33 | 次の次の会合ですか、2月の会合に向けてっていうことですけど、どういうスケジュール感ですか。   |
| 2:39:44 | はい、富樫でございます。本日、多数コメントをいただきました。2月にやはり会合に、もございますので、この会議資料といったところで、一番今回のコメントの中で、しっかりしておかないといけないのやっぱり目的の意識のところでの                                    |

|         |  |
|---------|--|
| 2:40:02 | 考えているのかというところのロジックの部分だというふうに思っていますので、そういった部分に関しましては、会合の資料を合わせた形のところでまず先行して、                        |
| 2:40:13 | 全体のコメント回答の補足説明資料の直しを考えますと少し時間がかかる場所もございますのでそういったロジック工程のところっていうところを、                                |
| 2:40:24 | 外部資料の中に押し込んだ形のところで、こちらの方さ、1月の最後の週ぐらいには掲示させていただいて、我々の考えている意識を、                                      |
| 2:40:37 | 共有といったところを先にやらしていただいた方がいいのかなというふうに思っていますので、そういったところを位置付けているところを、1月の30の週の早い段階のところで、                 |
| 2:40:48 | ご提示させていただいて今日の部分で認識のところでは共有できなかった部分につきまして図っていききたいというふうに思っています。                                     |
| 2:41:00 | 藤規制庁カミデです。まず、2月に何やるか、どこまでやるかっていう話をしましょうか。今、  |
| 2:41:07 | ロジック食うだけ資料に起こすって言ってましたけど、  |
| 2:41:11 | ロジックだけ審査会合でやるわけじゃないですよ、どこまでですか。  |
| 2:41:19 | 2月の会合の段階としましては今日たくさんくせいただいているところがございますけども、ロジックを含めて、当社としてどういうふうに考えてきたのかっていったところでの規模、説明資料の内容を整理したものを |
| 2:41:36 | もうその会議の方には、意識としてお出ししたいというふうに考えているところでございます。  |
| 2:41:44 | はい。規制庁上出です。そうすると、入力地震動策定モデル、1次元のモデルが成果物でそこまでをどう  |
| 2:41:56 | の話として、話をする、できた入力地震動は、出さないってことなんですか。その辺は追ってでもいいかと思えます。  |
| 2:42:08 | どんなイメージですか。  |
| 2:42:13 | 今、ございます。   |
| 2:42:17 | 今の位置付けとしましては入力地震、ごめんなさい。一番上の策定と合わせたところです。一番上のところでいただきます。   |
| 2:42:31 | はい、わかりました。という方2月の説明はこのモデルで入力地震動を作っていきます作っていきますとか作ってますけど、こういうモデル。                                   |

|         |   |
|---------|---|
| 2:42:40 | あとは、地震動をつくるだけですかっていう感じなのかなと思いましたけど、   |
| 2:42:46 | それにしてもロジックだけで、30の週っていうのはちょっと遅いんじゃないかなと思いますけど一式まとめて、話聞いてないですか。                     |
| 2:43:09 | 宮地委員、土橋でございます   |
| 2:43:15 | ちょっと  |
| 2:43:17 | 押田一修の松浦。  |
| 2:43:20 | 浦部にですね資料の方はちょっとお出しできるような形の方でちょっと関係者と調整しながら進めていきたいというふうに思ってます。以上です。                |
| 2:43:31 | 規制庁上津私が言った意図は30の元だとしてもロジックだけではなくて、先ほど言った、2月の会合の最後、地盤モデル、                          |
| 2:43:41 | て言ってましたけどそのモデルまで含めた形で、出せないかっていうことを聞いたんですけど。                                       |
| 2:43:48 | よろしゅうございます商品でいきますと2月の開放の全体イメージといったところで、1月の末をターゲットとして、資本作りの方を実施していきたいというふうに思います。   |
| 2:44:02 | はい。規制庁カミデです。それで、次の会合が2月の21辺りかなと思ってるんで、  |
| 2:44:12 | 31で、  |
| 2:44:15 | 74最低2回はヒアリングできるし、   |
| 2:44:19 | 2回できるのかな。   |
| 2:44:21 | ちょっとあれですね資料の確認事項を踏まえるとちょっと微妙ではありますが、その辺そちらがもう何回かヒアリングしないでしょうか、                    |
| 2:44:32 | この含めてなるべく早めということだと思います。で、補足説明が、   |
| 2:44:38 | 遅れるにしてもじゃあどれぐらいですかっていう感じなんですけど、いかがですか。  |
| 2:44:45 | うん。トガシでございます。少し会食のところを踏まえて考えないといけない、何ともかなというふうに思ってるところがございますので、今補足説明資料としましてはちょっと、 |
| 2:44:59 | 縮まるようなところあるのかもしれませんが、2月、2位、1度、  |
| 2:45:11 | 出していきたいというふうに思っております。以上です。  |
| 2:45:17 | はい。規制庁深見です。わかりました。はい。   |



|         |  |
|---------|--|
| 2:45:21 | 特にはないですけどね。会合資料については、今回  |
| 2:45:25 | あまりそちらの考えを   |
| 2:45:29 | こうだろうみたいなことは当然言っていないですし思ってることをちゃんと表現してください的のところであまり追加検討もないのかなと思いますんで、    |
| 2:45:40 | とは言っても、  |
| 2:45:42 | あれですね、30の週ぐらい。   |
| 2:45:45 | いうことでまずはわかりました。  |
| 2:45:48 | はい。  |
| 2:45:50 | あと言ったのは、これ、建物系も他もそうなんですけど、会合にかけるに当たって、もう、                                |
| 2:45:59 | とりあえずアオコだけ直さなきゃっていうのは、補足説明か全然出てなくて会合の何日か前に補足説明                           |
| 2:46:07 | 中身も、ちゃんとエビデンス確認できないのも会合っていう姿が、何かもう見え始めてって、そうならないような、しっかり                 |
| 2:46:18 | 対応いただきたいと思います。私の方からは以上です。  |
| 2:46:25 | 三つ以上タケダ t h i s その他規制庁側から確認ございますでしょうか。                                   |
| 2:46:33 | よろしいでしょうか。一応、建物08年は以上となりますが、本日はその他にも予定をしていた議題はあるんですけど、とげにはどこまでやりたいでしょうか。 |
| 2:46:47 | やめますかね。  |
| 2:46:55 | 本田保科です。2番目の議題のところですけども、  |
| 2:47:02 | 先週ですねヒアリングを受けて、この資料の目的としては、前回いただいたご指摘を踏まえた我々の修正内容、                       |
| 2:47:11 | を示しすることでした。我々の理解に不足等があれば、議論させていただきたいと思っておりましたが、                          |
| 2:47:21 | うん。  |
| 2:47:21 | すいません。規制庁深見です。   |
| 2:47:24 | 他にもメニューがあって、全体どうしたかっていうことを聞いてるんで、  |
| 2:47:30 | インターでいいです。日本原燃石田でございます。今回ほかに2件ですね資料出しているメニューがございます。                      |

|         |  |
|---------|--|
| 2:47:40 | それぞれ、まだ完成形になっていない、また我々としての   |
| 2:47:46 | 作業として完了していないもので、途中経過に近いものでもありますので、別途ヒアリングを組ませていただきます資料を修正した上でお出ししてヒアリングを別途組ませていただきますので、      |
| 2:47:58 | 本日、案件からは外させていただきたいと思います。以上です。  |
| 2:48:04 | はい、規制庁化技術、わかりましたというか、規制庁側でちょっとその各条の関係で待機してる方本当申し訳ないっていう感じなんですけど。                             |
| 2:48:13 | そういうことなら、来週早いうちに、別にその日分けずに、月曜会合ですから、月曜でも医師会でもいいしっていうところですけど発信と思います。                          |
| 2:48:30 | 資料はこのままにしますか何か苦情の関係は、今日の午前中の花C棟アンカー耐震で作ってる資料のテンションが大分違うような感じもして、もうちょっと丁寧に行って、                |
| 2:48:42 | 言うだけのヒアリングなっちゃいそうなんですけど、どうですか。はい。日本原燃石田でございます。おっしゃっていただいている通り目指してた姿とちょっと大分頭が違います午前中の話もありますし、 |
| 2:48:56 | それぞれの条文例のキャッチアップ飛ばす時、どういうものを飛ばしているのか、どういうものを受けて、どこで展開してるのかどういう展開をするのかっていうのが、                 |
| 2:49:06 | ちゃんと紐付けがですねわかるような状態に、資料をブラッシュアップさせていただきます。   |
| 2:49:13 | というのが各条のリンクの話なので、それも来週、早いうちにもお出しをしますので、それで別途ヒアリングを設定させていただきたいと思ってます。以上です。                    |
| 2:49:25 | はい、規制庁か水よろしく申し上げますで修正法人の方はちょっと話をしないとそちらの、  |
| 2:49:34 | そこの方の仕事にも影響するのかもしれないんで、それに、それが早くできるように各場の資料のスピード感を持ってってということが望ましいとは思いますが、どうしても別っていうのであれば、    |
| 2:49:47 | それはそれでっていう感じもしますので検討お願いします。  |
| 2:49:52 | はい。弓削西田でございます。全体の減り方と、いつまでっていうスピード感、優先順位含めて、調整をして、ご連絡をさせていただきます。以上です。                        |

|         |   |
|---------|---|
| 2:50:04 | はい、規制庁今です。困ってるのが、   |
| 2:50:08 | 来週何やるのっていう話で、私の腹づもりでは、もう 00 資料を見ていくという、浅井氏については、  |
| 2:50:19 | 今後、会合でどういうところを触っていくのかとか、審査全体の進め方も含めて、こういうところがポイントだねっていう意識を合わせたいなと思っていたのですが、   |
| 2:50:32 | まだその資料を持ってきてないのかな、今日出てくるのか、そもそも 00 がないみたいな状況なんですけど、どうしたらいいですか。  |
| 2:50:49 | 日本エリアでございます。00 は、ごめんなさい六ヶ所で答えられます今日出ているようなですね、0 シリーズ提出しております。   |
| 2:51:04 | 地震関係の   |
| 2:51:10 | はい。コンビニエンスで、  |
| 2:51:11 | 終わりですか。はい。弓削西田でございます。はい。今日お出しをしたものを元に、ヒアリングのスケジュールをちょっと早急に組んでどういう順番でいつやるかと。   |
| 2:51:26 | 来週、何もない今状態ですけどそういうことを 1 個やらせていただきたいと思ってますので、私はあの審査会合の資料でも言っている 1 ポツの話がまさしく 00 で進めなきゃいけないので  |
| 2:51:39 | 火曜日水曜日、というヒアリングのスケジュールも含めて組まさせていただきます、ちょっと金曜日のこの時間ですので月曜日の時点でご連絡をさせていただきたいと思います。以上です。   |
| 2:51:53 | はい。規制庁、上出です。また連絡っていうことでそれはあれですか   |
| 2:51:59 | 耐震だけじゃなくて他の条文も今スケジュールがない状態なんですけど、月曜日には、   |
| 2:52:06 | はい、日本石田でございます。  |
| 2:52:09 | まず、すいません 1 点は全体のスケジュールという意味では、今日午前中のヒアリングで宣言をさせていただいた全体のスキームも含めて整理をして、  |
| 2:52:20 | お出しをするということが必要になりますけども、大変恐縮でござい、直近でやらしていただきたいもの、なぜそれがそのタイミングで来るのかっていうのを考え方を付した上で、そのスケジュールを調整させていただくというのを月曜日にやらせていただきたいと思います。以上です。 |

|         |   |
|---------|---|
| 2:52:39 | やっぱり、規制庁カミデスはわかりましたというか、なかなか前と多段なんだなあと思ってますけど、とはいえ、耐震で何するかっていうことは                                     |
| 2:52:51 | まず確認したいところとしては、第1回の冷却水とあとはMOXの建屋ですね、聞いてないところ、まずどんなところですか。   |
| 2:53:04 | ていうところが、聞いてないところやってないし、違いみたいなのが、方針でも経産省上でもどんなところにあるかっていうのをまず聞ければ、                                     |
| 2:53:16 | それをもって、具体的にどう進めますかっていうのが00の結構不適なところをやりたいなと思ってますので、そういう意味では、それぐらいだったら、ずるずる長いですけど、1回のヒアリングで何とかなるのかなと。   |
| 2:53:31 | あらかじめそのスケジュールをもう少し先をするには次はこの辺でぐらいまでかは、考えておいてもらってもいいんですけど、まずはそういう話が、来週でも耐震ではできればと。                     |
| 2:53:46 | 思っていますので、ちょっとそれを念頭に検討いただければと思います。   |
| 2:53:51 | はい、日本石田でございます承知いたしました。  |
| 2:53:58 | はい、規制庁上末等、  |
| 2:54:01 | 私の方から以上というか、あれですかね、一応不振替とはいえ、みたいな感じですか。竹田さんお願いします。  |
| 2:54:08 | はい。規制庁の竹田です。はい。それではスケジュールの確認できたところで、ちょっと本日私館野08Gについてモノサシましたけれど、                                       |
| 2:54:19 | これの振り返りと、修正の方針ですね今後どう進めていくか等説明をお願いします。  |
| 2:54:30 | はい移動してございます建物08に関しましては、基本的に一番大きいところの話のポイントとしましてやはり位置付けていたところが国各ポイントのところで記載するといったところだというふうに思っております。特に、 |
| 2:54:45 | 最初のロードの部分のところの位置付けていったところ、第1回を踏まえて第2回といったところはこういったところが違うのかといったところもあった上でその位置付けたところをしっかりと書くといったところと、    |

|         |   |
|---------|---|
| 2:54:58 | 第2回の部分で、人を登場させているといったところもございますのでそれを登場させているところの位置付けといったところをしっかりと計画的に記載していくといったところだというふうに思っております。       |
| 2:55:10 | それぞれ各経営事項として、またそういうところいただいておりますのでそれに関しましては、一つ一つ特に説明しないといけないところもございまして、そういうところをしっかりと資料のピークを見込んだ形のところで、 |
| 2:55:24 | ご説明してもこれ再度、2月の1回のくらいをですね出させていただきますというふうに思っております。  |
| 2:55:32 | 黒江曾我氏で全体的にその会合港に向けた会合及び資料といったところを、先ほどの位置付けのところを明確にした上で、結果も踏まえたところで一覧の方が、                              |
| 2:55:43 | できるようなものを1月末の方に準備させていただきたいというふうに思っております。以上でございます。   |
| 2:55:51 | 規制庁竹田です。ありがとうございます。今の説明で、何か形状がバラコメントはございますでしょうか。  |
| 2:56:02 | と規制庁カミデです特段ないんですけど、一応念のためというか   |
| 2:56:08 | 一応、今日の資料、今日のその資料というか、の、   |
| 2:56:15 | 言われた考え方の骨格っていうのはこの資料と、今日のやりとりの中での説明とっていうのは基本的に骨格的には一緒に、   |
| 2:56:26 | まずは、3ポツ域で一番どんな構造かと、そのあと速度構造を見て、伝達関数を見、モデルを作ってみます。最終的にはその  |
| 2:56:40 | 二次元モデルと、  |
| 2:56:44 | 期平均モデルの応答を比較しますという骨格は一緒だと思うんですけど、もし、その資料を直していく中でですね、  |
| 2:56:57 | そもそも骨格からちょっと見直したいなみたいなことにもしなれば、それは資料を1末とかいう話ではなく、   |
| 2:57:07 | 状況変わったということで適宜連絡をもらって早めに話しかければと思いますので、おそらくないと思いますが、念のためお伝えしておきます。                                     |
| 2:57:18 | 4年トガシでございます今金谷さんのおっしゃられたところを踏まえつつもし何かあればその部分を早めのタイミングのところでご連絡させて                                      |

|         |   |
|---------|---|
|         | いただいてしっかり一緒とかで1名とさせていただきたいというふうに思います以上です。 |
| 2:57:37 | はい。規制庁武田です。その他規制庁側から何かございますでしょうか。         |
| 2:57:44 | 元の方は何かございますでしょうか。                         |
| 2:57:50 | はい、事務局の中浜です。はい。こちら特にございません。ありがとうございました。   |
| 2:57:54 | はい。それでは本日のヒアリングは以上で終了とさせていただきます。お疲れ様でした。  |
| 2:58:02 | ありがとうございました。                              |
| 2:58:03 | でしたら、                                     |
| 2:58:04 | これ様です。                                    |
| 2:58:05 | 6分します。                                    |